平 成 30 年 度

新居浜市の教育

平成30年度の計　画

平成29年度のあゆみ

新居浜市教育委員会

望ましき市民像

○　文化を尊重し、そのために貢献する創造的で教養ある市民

○　すべての人々を敬愛するとともに、真理と正義にたって行動する市民

○　科学精神を身につけ、生活の合理化を図り、勤労にいそしむ市民

○　健康明朗で強い精神力を持ち、情操豊かな市民

○　社会の改良、公共の福祉に参加して、郷土の発展に努める市民

（市の教育方針として昭和29年４月教育委員会が策定）

めざす都市像

第五次新居浜市長期総合計画では、将来都市像を「── あかがねのまち、笑顔輝く ──　産業・環境共生都市」と定め、次の４つの理念を基本にまちづくりを推進しています。

１　市民が安全・安心を実感できるまちづくり

２　市民、団体、事業者と行政が一体となったまちづくり

３　市民が郷土に誇りと愛着を持てるまちづくり

４　子どもたちの未来に責任が持てるまちづくり

目　　次

平成30年度の計画 …… 1

新居浜市教育大綱 …… 3
教育委員会の沿革 …… 4
教育長、教育委員、歴代教育委員 …… 8
教育委員会事務局組織図、職員数 …… 10
事務局事務分掌 …… 11
教育費歳出予算（目別、平成29・30年度当初予算） …… 13
年度別教育費歳出決算（目別、平成24～29年度） …… 14

社会教育課
1　最重要課題、重点事項（取組方針）、主な事業、別子ハイツ自然学習館 …… 15
2　社会教育委員名簿 …… 17
3　公民館等一覧表 …… 18
4　公民館事業計画 …… 19

青少年センター
1　重点目標、重点事項 …… 37
2　施設状況、地区別少年補導委員の状況 …… 38

生涯学習センター
1　重点目標、重点事項、施設状況 …… 39

高齢者生きがい創造学園
1　重点目標、重点事項、施設状況 …… 40

学校教育課
1　最重要課題、重点事項（取組方針）、主な事業 …… 41
2　新居浜市教育研究所の概要 …… 44
3　学校教育計画資料 …… 46
4　平成30年度児童・生徒・園児・教職員数 …… 48
5　学校等一覧 …… 52
6　放課後児童クラブ一覧表 …… 55
7　通学区域 …… 56
8　園児・児童・生徒数の推移（平成25～34年度） …… 58
9　中学校卒業者の進路状況 …… 59

発達支援課
1　最重要課題、重点事項（取組方針）、主な事業 …… 60
2　発達支援システムイメージ図 …… 62

学校給食課
1　最重要課題、重点事項（取組方針）、施設状況 …… 63
2　学校給食運営組織図 …… 65
3　新居浜市学校給食の推移 …… 66

スポーツ振興課
1　最重要課題、重点事項（取組方針）、主な事業 …… 67
2　体育施設一覧表 、教育施設一覧表 …… 69

文化振興課
1　最重要課題、重点事項（取組方針）、主な事業 70
2　文化施設 72
3　国指定文化財、県指定文化財、市指定文化財、登録有形文化財 73
4　広瀬歴史記念館 76
5　総合文化施設（あかがねミュージアム） 77

図書館
1　最重要課題、重点事項（取組方針）、主な事業、施設状況 78
2　蔵書冊数 80

平成29年度のあゆみ 81

教育委員会の主な施策と実績 83
1　平成29年度決算額 83
2　主な施設の建設及び環境整備事業 87

社会教育課の主な施策と実績 88
1　地域教育力向上プロジェクト推進事業 88
2　別子ハイツ自然学習館の利用状況 88
3　学校体育施設開放の利用状況 89
4　公民館事業報告 90
新居浜公民館 90
口屋跡記念公民館 92
地域交流センター 94
金栄公民館 96
高津公民館 98
浮島公民館 100
惣開公民館 102
若宮公民館 104
垣生公民館 106
神郷公民館 108
多喜浜公民館 110
大島交流センター 112
泉川公民館 114
中萩公民館 116
船木公民館 118
大生院公民館 120
角野公民館 122
別子山公民館 124

青少年センターの主な施策と実績 126
1　運営協議会 126
2　街頭補導 126
3　相談活動 126
4　関係機関・団体との連絡連携 127
5　青少年善行表彰 127
6　青少年健全育成の活動状況 127

生涯学習センターの主な施策と実績 …… 128
1　生涯学習センター事業報告 …… 128
2　生涯学習大学の開設 …… 128

高齢者生きがい創造学園の主な施策と実績 …… 129
1　高齢者生きがい創造学園事業報告 …… 129

学校教育課の主な施策と実績 …… 130
1　教職員研修の推進 …… 131
2　教育研究所の歩み …… 133
3　適応指導教室（あすなろ教室）の歩み …… 133
4　教育における国際化への対応 …… 134
5　中学生による国際交流事業 …… 135
6　奨学金等 …… 136
7　新居浜市寺尾音楽教育振興基金 …… 139
8　新居浜市工藤交通災害遺児修学基金 …… 139
9　就学援助費 …… 140
10　特別支援教育就学奨励費 …… 141
11　幼稚園就園奨励事業 …… 141
12　私学助成 …… 142
13　学校保健 …… 142
14　学校体育活動の推進 …… 144
15　人権・同和教育実践の状況 …… 145

発達支援課の主な施策と実績 …… 146
1　特別支援教育支援員の配置状況 …… 146
2　教育支援委員会の開催状況 …… 146
3　新居浜市地域発達支援協議会の開催状況 …… 147
4　総合相談の実施状況 …… 147
5　巡回相談の実施状況 …… 148
6　聴覚障がい児相談事業の実施状況 …… 148
7　発達検査の実施状況 …… 148
8　早期療育通園事業（親子通園事業）の実施状況 …… 149
9　５歳児発音検査の実施状況 …… 149
10　ペアレントトレーニングの実施状況 …… 149
11　研修会などの開催状況 …… 149
12　自閉症・情緒障がい学級通学費補助の状況 …… 151
13　私立幼稚園等特別支援教育事業費補助の状況 …… 151
14　ソーシャルスキル支援事業の実施状況 …… 151

学校給食課の主な施策と実績 …… 152
1　学校給食の意義 …… 152
2　学校給食の運営等 …… 152
3　学校給食の充実等 …… 152
4　主な行事等 …… 152
5　給食の状況 …… 152

スポーツ振興課の主な施策と実績 …… 153
1　市民体育・スポーツの振興 …… 153
2　市民体育振興事業 …… 153
3　競技力向上事業 …… 153
4　講習会・研修会事業 …… 153
5　野外活動施設整備と運営 …… 153
6　体育施設の充実 …… 154
7　体育施設建設基金 …… 154
8　総合型地域スポーツクラブ設立 …… 154
9　市制施行80周年記念事業の開催 …… 154
10　銅山の里自然の家利用状況 …… 154
11　体育施設年度別利用状況 …… 155
12　平成29年度体育施設月別利用状況 …… 156

文化振興課の主な施策と実績 …… 158
1　芸術文化活動 …… 158
2　文化財の保存活用 …… 158
3　文化施設の活用 …… 158
4　文化振興基金 …… 158
5　（公財）新居浜市文化体育振興事業団 …… 158
6　文化施設年度別利用状況 …… 159
7　平成29年度月別利用状況（市民文化センター・ふるさと館） …… 160

広瀬歴史記念館の主な施策と実績 …… 162
1　展示内容等 …… 162
2　資料の収集状況 …… 162
3　平成29年度事業実績 …… 162
4　平成29年度月別観覧者内訳 …… 162

総合文化施設（あかがねミュージアム）の主な施策と実績 …… 163
1　月別入館者数 …… 163
2　平成29年度美術館展覧会開催実績 …… 163
3　平成29年度の主なイベント …… 164
4　教育普及事業、ワークショップ …… 164
5　新居浜市美術品購入基金 …… 164

図書館の主な施策と実績 …… 165
1　図書館の利用状況 …… 165
2　主な事業 …… 166

平成３０年度の計画

新　居　浜　市　教　育　大　綱

～市民の力が育まれ、次世代へ継承される社会の実現～

施策	望ましい姿	基本計画
１学習活動の充実	誰もが学べる環境をつくります	１　生涯学習機会の内容充実 ２　生涯学習関連施設・機能の充実 ３　高等教育機関との連携充実 ４　図書館機能の充実
２地域づくりの推進	住民主体の地域づくりを推進します	１　地域課題を解決する住民活動の推進 ２　地域を担う人材の育成 ３　郷土愛を育むための活動の推進
３家庭、地域の教育力の向上	社会全体で子どもを育てる体制をつくります	１　子育て世代に対する家庭教育の充実 ２　学社融合の推進 ３　青少年健全育成の推進
４学校教育の充実	生きる力を育みます	１　地域に開かれた特色ある学校づくり ２　社会変化に対応した多様な教育の推進 ３　児童・生徒の健全育成 ４　教育施設・教育環境の整備充実 ５　幼児教育の推進
５特別支援教育の充実	個々に適した支援を行います	１　早期からの教育相談・支援の充実 ２　特別支援教育の充実・体制の整備 ３　地域生活における自立に向けた支援体制の整備
６芸術文化の振興	芸術文化の香りを未来に伝えます	１　芸術文化活動の推進 ２　芸術文化施設の整備・充実 ３　文化財の保護と活用
７スポーツの振興と競技力の向上	いつでもどこでも誰でもスポーツを楽しむことができます	１　社会体育の推進 ２　競技スポーツの振興 ３　施設環境の整備
８近代化産業遺産の保存・活用の充実	生きた博物館都市を目指します	１　別子銅山の近代化に携わった人々に学び、伝承・発信を促進 ２　別子銅山近代化産業遺産のネットワークの促進 ３　別子銅山近代化産業遺産の保存・整備の推進 ４　あかがね基金の育成 ５　多喜浜塩田文化の保存・継承
９人権の尊重	人権尊重のまちづくりを推進します	１　社会における人権・同和教育及び啓発の推進 ２　学校における人権・同和教育の推進 ３　人権擁護体制の充実

教　育　委　員　会　の　沿　革

27年 4月　市庁舎落成
8月　「義務教育費国庫負担法」 公布
11月　新居浜市教育委員会設置　新居浜市教育委員会事務局設置
28年 5月　神郷村・垣生村・多喜浜村・大島村合併
7月　「青少年問題協議会設置法」 公布
12月　市営野球場設置
29年 6月　「へき地教育振興法」 「学校給食法」 公布
30年 3月　泉川町・中萩町・船木村・大生院村合併
泉川公民館・船木公民館設置
4月　社会教育委員会設置
6月　青年学級開校
31年 2月　大島公民館・惣開公民館設置
3月　「就学奨励援助法」 公布
6月　「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」 公布
7月　「文化財保護条例」 制定
12月　「幼稚園設置基準」 告示　多喜浜公民館設置
32年 6月　川東支所開所
33年 4月　神郷公民館・高津公民館設置　教育研究所設置
「義務教育学校施設費国庫負担法」 「学校保健法」 公布
5月　「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」 公布
34年 4月　郷土館設置　角野町合併　王子幼稚園・神郷幼稚園設置
12月　「日本学校安全会法」 公布
35年 4月　市立商業高等学校設置
10月　上部支所開所
36年 6月　「スポーツ振興法」 公布
9月　大島地域・離島振興法適用
10月　中学校全国一斉学力テスト実施
37年 3月　「教科書無償法」 公布
11月　市民文化センター設置　中央公民館設置
39年 1月　東予新産業都市指定
4月　記念会館設置　重量挙練習場設置　弓道場設置　武徳殿設置
「奨学資金貸付基金条例」 制定
7月　青少年問題協議会設置　少年補導センター設置
40年 5月　勤労青少年ホーム設置
42年 3月　市樹クスノキ　市花ツツジ 制定
44年 7月　「同和対策事業特別措置法」 公布
45年 4月　「入学準備金貸付基金条例」 制定
10月　第１回市民体育祭開催 （以後毎年開催）　口屋跡記念公民館設置
12月　山根市民グラウンド設置
46年 5月　「義務教育教員給与特別措置法」 公布
7月　第１回憲法を暮らしに生かす市民の集い開催
10月　テニスコート設置
12月　「特別奨学基金条例」 制定　スポーツ振興審議会設置
47年 4月　川東中学校開校 （神郷中・垣生中・多喜浜中・大島中統合）
市民プール開設　体育施設建設基金設置　第一次長期総合計画策定
6月　社会教育指導員設置
11月　市民憲章 制定
48年 4月　桃山学院短期大学開校　別子銅山休山
49年 2月　「教員人材確保法」 公布
5月　市立学校体育施設開放

8月　市民福祉会館設置
50年 4月　金子公民館設置　心身障害児就学指導委員会設置
7月　「私立学校振興助成法」 公布
8月　市立商業高校夏の高校野球で準優勝
51年 3月　泉川公民館新築
9月　身体障害者福祉センター設置
12月　「青野記念奨学基金条例」 制定
52年 7月　市民体育館設置
54年 2月　中央児童センター設置
6月　滝の宮トリム公園設置　角野公民館新築
55年 3月　新庁舎落成　惣開公民館・船木公民館新築
4月　第二次長期総合計画策定　生徒指導推進事務局設置　新設校推進臨時事務局設置
10月　郷土美術館設置
56年 3月　大島公民館新築
4月　金栄公民館設置
57年 4月　豊かな心を育てる施策推進モデル指定　若宮公民館・浮島公民館設置
58年 4月　新居浜公民館設置
59年 4月　青少年健全育成推進事務局設置
12月　美術館建設推進臨時事務局設置
60年 3月　新居浜市文化振興基金条例制定
東中・中萩小・船木小校舎増改築
中萩中プール増改築
6月　市営野球場改築
61年 2月　重量挙練習場改築　中萩小プール増改築
3月　神郷公民館新築　生徒指導推進事務局廃止
8月　財団法人新居浜市文化体育振興事業団設立
62年 1月　中学校柔剣道場新築 （～元年度）
2月　新居浜小学校改築　東中体育館増改築
3月　山根総合体育館設置　多喜浜公民館増改築
63年 3月　船木中・泉川中・北中校舎改築　宮西小プール増改築
10月　山根屋内プール完成
11月　銅山の里自然の家新築
元年 1月　角野中校舎増築
3月　若宮小校舎改築　南中体育館増改築
10月　「寺尾音楽教育振興基金条例」 制定
２年 2月　部室整備 （中萩中・大生院中）　大生院中体育館増改築
3月　プール増改築 （新居浜小・惣開小）　垣生公民館新築
桃山学院短期大学閉校　市立商業高校県立移管
4月　第三次長期総合計画策定
３年 3月　船木中体育館増改築　泉川中体育館、屋上プール増新築
部室整備 （船木中・泉川中）　中萩公民館増改築　大島教育集会所新築
4月　生涯学習センター設置
12月　パソコン教室設置（西・南・北中）
４年 2月　川東中部室整備
3月　金栄小体育館増改築　金子小プール増改築　口屋跡記念公民館改修
銅山の里自然の家集会所棟新築　別子銅山記念図書館住友より寄贈
4月　広瀬記念邸設置
５年 3月　大生院公民館増改築　文化振興会館改築
北中プール増改築　北中部室整備
パソコン教室設置（川東・東・船木・泉川・角野・中萩・大生院中）
4月　高齢者生きがい創造学園設置
６年 3月　部室整備（東中・西中・南中・角野中）
高津小プール増改築

７年	3月	高津公民館増改築
		多喜浜小屋内運動場改築
		泉川小プール増改築
		船木小運動場造成
	9月	小学校パソコン教室設置
８年	3月	若宮小プール改築
		川東中屋内運動場大規模改造
９年	3月	広瀬歴史記念館完成
		神郷小屋内運動場大規模改造
		大島小プール新築
	9月	生涯学習都市宣言制定
10年	2月	高津小北校舎大規模改造
	10月	東中完全給食開始
11年	1月	心の教室整備（東中）
	7月	市営サッカー場（グリーンフィールド新居浜）　完成
	8月	心の教室整備（中萩中、川東中）
	10月	泉幸吉文庫開設（別子銅山記念図書館）
12年	3月	西中北校舎棟改築
		男女共同参画都市宣言制定
	4月	地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律　（地方分権一括法）　施行
	9月	心の教室整備（北中、泉川中）
13年	3月	学校給食センター完成
	4月	西・南・北・船木・泉川・角野・中萩・川東中学校完全給食実施
		船木小学校わかば分教室開設
		船木中学校ひびき分校開校
	6月	第四次長期総合計画策定
	10月	心の教室整備（南中・角野中）
	11月	西中南校舎棟外改築
14年	4月	学校週５日制の完全実施
15年	1月	心の教室整備（船木中・大生院中）
	3月	垣生小学校プール改築
	4月	別子山村との合併により別子小学校、別子中学校、教職員住宅、別子山公民館、別子山ふるさと館、別子山市民プール、別子山市民グラウンドが加わる
		総務課を廃止、同課の業務を社会教育課と学校教育課に移管
		同和教育課を廃止、同課の業務と大島教育集会所を人権擁護課に移管
		生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園を市民活動推進課に移管
		多喜浜体育館（旧勤労者体育センター）を商工観光課から体育文化課に移管
		新設校推進臨時事務局廃止
		視聴覚ライブラリー廃止
		教職員住宅保土野寮Ｂ棟焼失
	6月	旧広瀬家住宅が国の重要文化財に指定
	7月	泉川公民館新築
16年		台風の被害、避難所の設置
	3月	武徳殿　国の登録有形文化財登録
17年	1月	子ども見守り隊結成
	3月	角野小学校プール改築
18年		耐震補強工事
		（角野小・宮西小・高津小・若宮小・泉川小・惣開小・中萩小・浮島小）　体育館
	3月	新居浜市伝える力を育てる教育特区（英語で話そう科・表現科）認定
	9月	新居浜市こども夢未来基金創設
19年		耐震補強工事の実施（金子小・大生院小・西中・川東中）　体育館
		（船木小・金子小・泉川小・中萩中）　校舎
20年		耐震補強工事の実施（金栄小・中萩小・高津小・垣生小・東中）　校舎

	4月	発達支援準備室設置
		新居浜・西条地区広域市町村圏事務組合の解散により、同組合の施設 「別子ハイツ自然学習館」 が新居浜市に帰属
		地域主導型公民館へ移行（金子・惣開・若宮・泉川公民館）
21年		耐震補強工事の実施（角野小・神郷小・大生院小・惣開小・角野中・船木中・泉川中）校舎
	4月	発達支援課設置
		地域主導型公民館へ移行（新居浜・金栄公民館）
22年		大規模改造工事の実施 （神郷小・中萩小・角野小・別子小中・川東中） 校舎
		太陽光発電設備設置工事 （新居浜小外26校）
	4月	新居浜市地域交流センター設置 （金子公民館廃止）
		地域主導型公民館へ移行 （口屋跡記念・高津・浮島・垣生・神郷・多喜浜・船木・大生院公民館）
	10月	こども発達支援センター開所
23年	3月	北中学校体育館改築
	4月	生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園が市民活動推進課から移管
		放課後児童健全育成事業が児童福祉課から移管
		地域主導型公民館へ移行 （中萩・角野公民館）
		第五次長期総合計画策定
		体育文化課を廃止、スポーツ文化課設置
		耐震補強工事 （多喜浜小・北中・角野中） 校舎
24年	3月	新居浜市神郷学習館及び垣生学習館を廃止
		大規模改造工事の実施 （角野小） 校舎
		耐震補強工事の実施 （宮西小・浮島小・南中） 校舎
25年		アセットマネジメントにより、公民館施設環境整備事業で、公民館の外壁塗装 （惣開・若宮・大生院公民館）、公民館の屋上防水（神郷・大生院公民館体育館）等を実施
		金栄小学校プール建設
		多喜浜体育館防水外壁改修
	3月	神郷公民館駐車場を拡張
27年	4月	大島小学校（廃校）を利用して大島交流センターを新設 （大島公民館は廃止）
		学校図書館支援センターを学校教育課内に設置
	5月	多喜浜公民館耐震補強及び大規模改修
	7月	新居浜市総合文化施設・美術館開館
		口屋跡記念公民館耐震補強及び大規模改修
	11月	多目的ホール天井落下対策工事（新居浜小・西中）
28年	3月	新居浜市立郷土美術館閉館
		体育館天井落下対策工事（金栄小・泉川中）
	5月	市民体育館耐震補強工事
	8月	武道場屋根改修工事（北中・西中・川東中・南中・泉川中・角野中・中萩中）
	9月	市営サッカー場アップ場増設
		小中学校体育館照明落下対策工事（新居浜小　外15校）
29年	3月	東雲市民プール幼児用プール増設
		長寿命化改修工事（泉川小）南校舎
	4月	スポーツ文化課をスポーツ振興課と文化振興課に分課
	5月	角野公民館耐震補強工事
	12月	大生院小学校プール改築
30年	2月	旧広瀬氏庭園が国の名勝に指定
	3月	別子中学校寄宿舎　落成
	4月	若宮小学校（閉校）を利用して生涯学習センター若宮学習館を新設

教　育　長

職　名	氏　名	就任年月日	備　考
教育長	関　福生	平成28年 4月 1日	

教　育　委　員

職　名	氏　名	就任年月日	備　考
教育委員	伊藤嘉秀	平成22年12月24日	
教育委員	宮内文久	平成23年12月24日	
教育委員	近藤智佳	平成29年 6月27日	
教育委員	本田郁代	平成30年 4月 1日	

歴　代　教　育　委　員

公選された教育委員

氏　名	就任年月日	離任年月日	備　考
小野基道	昭和 27年11月 1日	昭和 31年 9月30日	初代教育委員長
大場英雄	〃 27年11月 1日	〃 31年 9月30日	二、三代教育委員長
村上精逸	〃 27年11月 1日	〃 31年 9月30日	四代教育委員長
加藤長次	〃 27年11月 1日	〃 30年 4月22日	
青野重馬	〃 27年11月 1日	〃 30年 4月22日	議会選出
黒川　晋	〃 30年 5月 2日	〃 31年 9月30日	
高須賀佐太郎	〃 30年 5月 2日	〃 31年 9月30日	議会選出

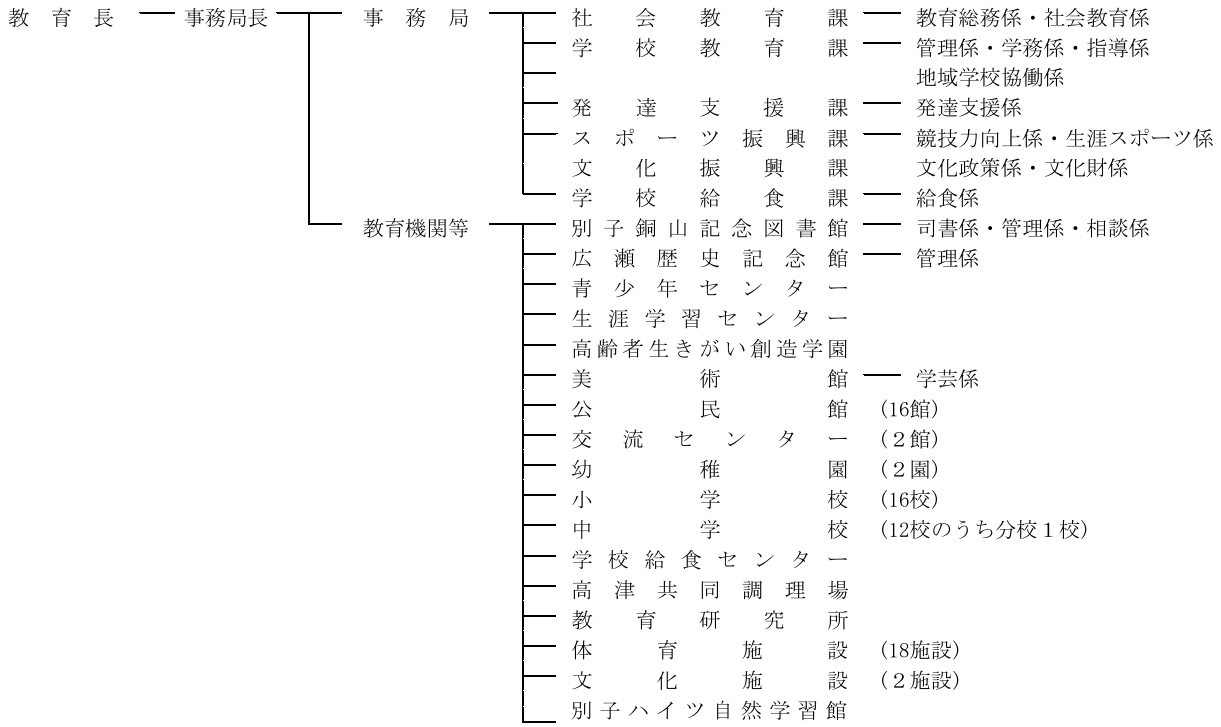
任命された教育委員

氏　名	就任年月日	離任年月日	備　考
大場英雄	昭和 31年10月 1日	昭和 32年 9月30日	五代教育委員長
久門英雄	〃 31年10月 1日	〃 33年 9月30日	六代教育委員長
黒川　晋	〃 31年10月 1日	〃 34年 9月30日	七代教育委員長
三浦義一	〃 31年10月 1日	〃 35年 9月30日	八代教育委員長
加藤　実	〃 31年10月 1日	〃 35年 9月30日	教育長を兼ねる
三野　担	〃 32年10月 1日	〃 34年 4月 3日	
高橋玉置	〃 33年10月 1日	〃 37年 9月30日	九代教育委員長
永井伊三郎	〃 34年 5月30日	〃 36年 9月30日	
山下桂太郎	〃 34年10月 8日	〃 38年10月 7日	十代教育委員長
久米　申	〃 35年10月 1日	〃 38年12月13日	十一代教育委員長
加藤　実	〃 35年10月 1日	〃 39年 9月30日	教育長を兼ねる
亀井清太郎	〃 36年10月30日	〃 40年10月29日	十二代教育委員長
神野一郎	〃 37年10月12日	〃 41年10月11日	十三、四代教育委員
山下桂太郎	〃 38年10月 8日	〃 42年10月 7日	十六代教育委員長
岡本悦良	〃 39年 3月25日	〃 39年 9月30日	
岡本悦良	〃 39年10月 1日	〃 43年 9月30日	十五、七代教育委員
岡　虎義	〃 40年12月 4日	〃 44年12月 3日	
神野一郎	〃 41年10月12日	〃 45年 6月13日	十八代教育委員長
栗原利得喜	〃 42年 4月 1日	〃 46年 3月31日	教育長を兼ねる
藤田秀朋	〃 42年12月22日	〃 46年12月21日	十九代教育委員長
近藤続行	〃 43年12月22日	〃 47年 2月21日	
斉藤　一	〃 45年 7月 4日	〃 49年 7月 3日	二十、二十一代教育委員長
岡　虎義	〃 45年 7月 4日	〃 45年10月11日	
岡　虎義	〃 45年12月21日	〃 49年12月20日	二十二代教育委員長
村上哲亮	〃 46年 8月 1日	〃 50年 7月31日	教育長を兼ねる
藤田秀朋	〃 46年12月24日	〃 50年12月23日	二十三代教育委員長
神野忠利	〃 48年 4月 2日	〃 52年 4月 1日	二十四代教育委員長
藤田図南夫	〃 49年12月24日	〃 53年12月23日	二十五代教育委員長
藤田秀朋	〃 50年12月24日	〃 54年12月23日	二十六代教育委員長
村上哲亮	〃 51年 3月18日	〃 55年 3月17日	教育長を兼ねる
神野忠利	〃 52年 4月 2日	〃 56年 4月 1日	二十七代教育委員長

氏　名	就任年月日	離任年月日	備　考
堀越和衛	昭和　53年12月24日	昭和　53年12月24日	二十八代教育委員長
印南忠一	〃　54年12月24日	〃　58年12月23日	二十九代教育委員長
坂口勲	〃　54年12月24日	〃　58年12月23日	三十代教育委員長
伊達孝	〃　55年 3月26日	〃　59年 3月25日	教育長を兼ねる
大西博臣	〃　56年 6月 6日	〃　60年 6月 5日	三十一代教育委員長
堀越和衛	〃　57年12月24日	〃　61年12月23日	三十二代教育委員長
印南忠一	〃　58年12月24日	〃　62年12月23日	三十三代教育委員長
坂口勲	〃　58年12月24日	〃　62年12月23日	三十四代教育委員長
伊達孝	〃　59年 3月26日	〃　63年 3月25日	教育長を兼ねる
篠原利光	〃　60年 6月 6日	平成　元年 6月 5日	三十五代教育委員長
守谷照男	〃　61年12月24日	〃　2年12月23日	三十六代教育委員長
千葉文政	〃　62年12月24日	〃　3年12月23日	三十七代教育委員長
田坂冨美子	〃　62年12月24日	〃　3年12月23日	三十八代教育委員長
伊達孝	〃　63年 3月26日	〃　4年 3月25日	教育長を兼ねる
篠原利光	平成　元年 6月27日	〃　5年 6月26日	三十九代教育委員長
真鍋栄	〃　2年12月24日	〃　6年12月23日	四十代教育委員長
天野征郎	〃　3年12月24日	〃　7年12月23日	四十一代教育委員長
田坂冨美子	〃　3年12月24日	〃　7年12月23日	四十二代教育委員長
渡邉健	〃　4年 4月 1日	〃　8年 3月31日	教育長を兼ねる
近藤求	〃　5年 6月27日	〃　9年 6月26日	四十三代教育委員長
千葉昭夫	〃　6年12月24日	〃　10年12月23日	四十四代教育委員長
千葉陽三	〃　7年12月24日	〃　11年12月23日	四十五代教育委員長
小野トヨミ	〃　7年12月24日	〃　11年12月23日	四十六代教育委員長
西原洋昌	〃　8年 4月 1日	〃　12年 3月31日	教育長を兼ねる
一色康範	〃　9年 6月27日	〃　13年 6月26日	四十七代教育委員長
加藤信一	〃　10年12月24日	〃　14年12月23日	四十八代教育委員長
千葉陽三	〃　11年12月24日	〃　15年12月23日	四十九代教育委員長
小野トヨミ	〃　11年12月24日	〃　15年12月23日	五十代教育委員長
西原洋昌	〃　12年 4月 1日	〃　14年 3月31日	教育長を兼ねる
栗田敬子	〃　13年 6月27日	〃　17年 6月26日	五十一代教育委員長
阿部義澄	〃　14年 4月 1日	〃　16年 3月31日	教育長を兼ねる
小野正師	〃　14年12月24日	〃　18年12月23日	五十二代教育委員長
宇野征一	〃　15年12月24日	〃　19年12月23日	五十三代教育委員長
太田恵理子	〃　15年12月24日	〃　19年12月23日	五十四代教育委員長
阿部義澄	〃　16年 4月 1日	〃　20年 3月31日	教育長を兼ねる
栗田敬子	〃　17年 6月27日	〃　21年 6月26日	五十五代教育委員長
小野正師	〃　18年12月24日	〃　22年12月23日	五十六代教育委員長
宇野征一	〃　19年12月24日	〃　23年12月23日	五十七代教育委員長
太田恵理子	〃　19年12月24日	〃　23年12月23日	五十八代教育委員長
阿部義澄	〃　20年 4月 1日	〃　24年 3月31日	教育長を兼ねる
三木由紀子	〃　21年 6月27日	〃　25年 6月26日	五十九代教育委員長
伊藤嘉秀	〃　22年12月24日	〃　26年12月23日	六十代教育委員長
宮内文久	〃　23年12月24日	〃　27年12月23日	六十一代教育委員長
長野美和子	〃　23年12月24日	〃　27年12月23日	六十二代教育委員長
阿部義澄	〃　24年 4月 1日	〃　28年 3月31日	教育長を兼ねる
三木由紀子	〃　25年 6月27日	〃　29年 6月26日	六十三代教育委員長
長野美和子	〃　27年12月24日	〃　30年 3月31日	
伊藤嘉秀	〃　26年12月24日		
宮内文久	〃　27年12月24日		
近藤智佳	〃　29年 6月27日		
本田郁代	〃　30年 4月 1日		

組　　織　　図

（平成30年５月１日 現在）



職　　員　　数

（平成30年５月１日 現在）

	定数	現員
事務局	45	45
教育機関	64	48

	課所別	職員	臨時職員	非常勤職員	委託職員	短時間再任用職員	計
事務局	社会教育課	10	1		2		13
	学校教育課	19	2	80			101
	発達支援課	6	1	22			29
	スポーツ振興課	5	2				7
	文化振興課	4	1				5
	学校給食課	1	1				2
教育機関	別子銅山記念図書館	7	10	3			20
	広瀬歴史記念館	2		4			6
	青少年センター		2				2
	生涯学習センター・高齢者生きがい創造学園		2	12			14
	美術館	4	1	2			7
	公民館	1		62			63
	交流センター			8			8
	幼稚園	7	1	5			13
	小学校（県費教職員を除く。）	21	9	178			208
	中学校（県費教職員を除く。）			73			73
	学校給食センター	1	13	30			44
	高津共同調理場	5		11			16
	教育研究所			1			1
	計	93	46	491	2		632

事　務　局　事　務　分　掌

課	事　　務
社会教育課	教育委員会の会議及び庶務に関すること。 教育長及び教育委員会委員の報酬、費用弁償、請求、支払、儀式及び交際に関すること。 職員(県費負担教職員を除く)の任免、給与、分限、褒賞、懲戒、服務、福利及び厚生並びに定数配置に関すること。 公印の管守に関すること。 教育委員会の規則及び規程の制定及び改廃並びに規則の公布に関すること。 情報公開の調整に関すること。 個人情報保護の調整に関すること。 事務局の庶務に関すること。 予算経理の指導助言に関すること。 社会教育施設の設置及び廃止に関すること。 社会教育施設の管理、営繕及び保全に関すること。 社会教育委員会の庶務に関すること。 成人教育の学級、教室、講座等の開設事務、運営指導及び調整に関すること。 社会教育指導者の育成及び社会教育関係団体の育成指導に関すること。 公民館、交流センター、生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園、図書館、別子ハイツ自然学習館及び青少年センターに関すること。 青少年健全育成の推進に関すること。 青少年団体指導者の育成に関すること。 家庭教育の学級、教室、講座等の開設事務、運営指導及び調整に関すること。 関係機関及び団体との連絡調整に関すること。 学校及び生涯学習センター若宮学習館の体育施設開放の事務及び運営指導に関すること。 学校及び生涯学習センター若宮学習館の体育施設開放に伴う使用許可及び使用料収納に関すること。
学校教育課	学校及び幼稚園の設置及び廃止に関すること。 学校敷地及び建物の設置及び変更に関すること。 学校施設及び幼稚園施設の管理、営繕及び保安に関すること。 学校及び幼稚園の管理運営の指導に関すること。 学校休業日の決定に関すること。 学校行事等の調整、指導及び承認に関すること。 教育団体関係事務に関すること。 児童・生徒の就学事務に関すること。 通学区域の設定変更事務に関すること。 学級編成関係事務に関すること。 教科書関係事務に関すること。 県費負担教職員の人事、給与、福利及び厚生事務に関すること。 就学援助事務に関すること。 奨学資金事務に関すること。 教育課程及び教育内容の編成に関すること。 教科用図書の採択に関すること。 学校及び幼稚園の教育指導に関すること。 教員の現職教育研修に関すること。 児童・生徒活動の指導に関すること。 教育研究所事務に関すること。 就園奨励関係事務に関すること。 中学生等の国際交流に関すること。 児童・生徒の生活指導に関すること。 学校体育に関すること。 就学時の健康診断事務に関すること。 児童・生徒及び学校職員の健康診断事務に関すること。 学校保健に関すること。 学校安全に関すること。 放課後児童健全育成事業等の実施に関すること。 地域、学校及び家庭の協働及び連携に関すること。 共同調理場の建設に関すること。

課	事　　務
スポーツ振興課	体育施設の設置及び廃止に関すること。 体育施設の管理、営繕及び保安に関すること。 市民スポーツの振興に関すること。 スポーツ推進審議会の庶務に関すること。 スポーツ推進委員に関すること。 スポーツの指導者等の養成及び資質の向上並びにその活用に関すること。 体育及びスポーツの行事の企画、運営及び指導に関すること。 市民体育関係団体の育成に関すること。 体育施設の使用許可及び使用料収納に関すること。 関係機関及び団体との連絡調整に関すること。
文化振興課	文化施設の設置及び廃止に関すること。 文化施設の管理、営繕及び保安に関すること。 芸術文化の振興に関すること。 文化財保護委員会の庶務に関すること。 文化財の保存活用に関すること。 新居浜市美術館及び広瀬歴史記念館に関すること。 文化施設の使用許可及び使用料収納に関すること。 関係機関及び団体との連絡調整に関すること。 公益財団法人新居浜市文化体育振興事業団に関すること。
学校給食課	学校給食に関すること。 共同調理場に関すること。
発達支援課	特別支援教育に関すること。 発達支援に関すること。

教育費歳出予算（目別、平成２９・３０年度当初予算）

※企画部分含む（単位：千円）

区分	平成２９年度 当初予算		平成３０年度 当初予算		前年度比較
費目	金額	構成比	金額	構成比	
教育総務費	873,229	19.2%	898,875	23.0%	102.9%
教育委員会費	6,445	0.1%	6,457	0.2%	100.2%
事務局費	434,339	9.5%	478,870	12.3%	110.3%
諸費	432,445	9.5%	413,548	10.6%	95.6%
小学校費	648,894	14.2%	673,730	17.3%	103.8%
学校管理費	405,929	8.9%	403,400	10.3%	99.4%
教育振興費	242,965	5.3%	253,806	6.5%	104.5%
学校建設費	－	－	16,524	0.4%	－
中学校費	664,011	14.6%	413,086	10.6%	62.2%
学校管理費	263,843	5.8%	291,237	7.5%	110.4%
教育振興費	117,400	2.6%	121,849	3.1%	103.8%
学校建設費	282,768	6.2%	-	-	-
幼稚園費	196,470	4.3%	205,552	5.3%	104.6%
幼稚園費	196,470	4.3%	205,552	5.3%	104.6%
社会教育費	866,716	19.0%	741,120	19.0%	85.5%
社会教育総務費	224,919	4.9%	199,921	5.1%	88.9%
公民館費	227,129	5.0%	180,621	4.6%	79.5%
図書館費	87,646	1.9%	92,471	2.4%	105.5%
青少年教育費	406	0.0%	243	0.0%	59.9%
青少年センター費	4,151	0.1%	3,768	0.1%	90.8%
広瀬歴史記念館費	66,784	1.5%	36,962	0.9%	55.3%
総合文化施設費	255,681	5.6%	227,134	5.8%	88.8%
美術品購入基金費	－	－	－	－	－
保健体育費	1,306,626	28.7%	968,232	24.8%	74.1%
保健体育総務費	460,701	10.1%	48,283	1.2%	10.5%
保健体育施設管理費	28,455	0.6%	24,989	0.6%	87.8%
体育施設費	294,639	6.5%	311,301	8.0%	105.7%
学校給食費	522,831	11.5%	583,659	15.0%	111.6%
合計	4,555,946	100%	3,900,595	100%	85.6%
一般会計総額	49,678,353		48,784,936		98.2%
教育費の割合	9.2%		8.0%		△1.2Ｐ

放課後児童対策費等（民生費　児童福祉費　児童福祉総務費）172,747 千円

高齢者生きがい創造学園講座事業費（介護保険事業特別会計　地域支援事業費　一般介護予防事業費）

8,401 千円

年度別教育費歳出決算（目別、平成２４～２９年度）

（単位：千円）

費目＼年度	２４年度	２５年度	２６年度	２７年度	２８年度	２９年度
教育総務費	637,705	727,921	925,950	820,190	907,040	898,526
教育委員会費	6,551	6,535	6,355	6,614	6,300	6,297
事務局費	372,420	373,111	401,945	451,324	458,097	464,648
諸費	258,734	348,275	517,650	362,252	442,643	427,581
小学校費	1,042,661	797,032	641,832	632,369	1,406,237	824,868
学校管理費	388,962	442,470	406,769	378,597	377,209	438,972
教育振興費	136,421	155,305	173,584	210,302	215,470	228,380
学校建設費	517,278	199,257	61,479	43,470	813,558	157,516
中学校費	410,134	348,481	349,654	448,644	467,931	634,784
学校管理費	253,306	266,679	217,698	220,626	217,216	237,737
教育振興費	90,640	81,802	81,800	97,655	116,130	116,394
学校建設費	66,188	0	50,156	130,363	134,585	280,653
幼稚園費	106,067	105,056	109,034	154,444	161,509	182,565
幼稚園費	106,067	105,056	109,034	154,444	161,509	182,565 （うち32,805は福祉部）
社会教育費	501,533	630,153	918,834	918,910	792,381	905,260
社会教育総務費	170,010	175,329	276,175	203,150	193,949	253,830
公民館費	184,339	199,360	278,573	344,634	195,753	243,246
図書館費	87,732	203,809	97,687	83,516	97,686	87,846
郷土美術館費	21,304	14,139	12,036	11,274	－	－
青少年教育費	1,037	298	350	344	378	388
青少年センター費	3,163	3,084	3,194	3,186	3,266	3,402
広瀬歴史記念館費	33,948	34,134	54,567	53,834	58,312	65,100
総合文化施設費	0	0	83,752 （企画部）	218,955	243,023	251,439
美術品購入基金費	0	0	112,500 （企画部）	17	14	9
保健体育費	866,887	1,133,849	1,086,096	1,044,303	1,221,997	1,138,172
保健体育総務費	33,170	35,133	39,679 （うち5,110は企画部）	62,505 （うち26,186は企画部）	209,615 （うち170,719は企画部）	338,196 （うち295,812は企画部）
保健体育施設管理費	42,140	233,388	64,117	57,434	35,548	21,526
体育施設費	299,494	383,841	470,785 （うち179,246は企画部）	421,629 （うち52,855は企画部）	464,188 （うち63,720は企画部）	288,040
学校給食費	492,083	481,487	511,515	502,735	512,646	490,410
合計	3,564,987	3,742,492	4,031,400	4,018,860	4,957,095	4,584,175

ただし、繰越分含む。

平成29年度放課後児童対策費決算額（民生費　児童福祉費　児童福祉総務費）106,715千円

平成29年度高齢者生きがい創造学園講座事業費決算額（介護保険事業特別会計　地域支援事業費
一般介護予防事業費）8,186千円

社　会　教　育　課

第１　最重要課題

誰もが幸せを実感できる地域社会づくりに貢献する社会教育の実現

第２　重点事項（取組方針）

１　地域課題解決型の社会教育の推進

（１）地域住民主導型の公民館活動の推進
- ア　地域課題を解決するための学習活動の推進
- イ　活動を支える公民館運営協議会等の地域自主組織の結成・強化
- ウ　地域住民主体の地域課題ワークショップへの協力（暮らしの問題を共有し解決策を考える活動等）
- エ　地域課題把握のための関係各課と連携した市政講座の開催（介護・子育て・健康・環境・都市計画・道路整備等）
- オ　まちづくりにつながる人づくりを促進する学習活動の推進
- カ　地域住民主体の主体的参画を促すための楽しい仕掛けづくり

（２）地域版シビックプライド醸成のための地域住民主体の取組の推進
- ア　地域に対する愛着と誇りの醸成につながる学習活動の推進
- イ　学校と連携した取組の展開

２　家庭・地域の教育力向上のための取組の推進

（１）きめ細かい家庭教育支援活動への取組
- ア　学校、関係課と連携した子育て支援施策の学習・情報提供
- イ　必要な課題、必要としている親に対応した多様な学習機会・情報の提供
- ウ　親同士の交流や気軽に集まれる場の提供など、講座形式にとらわれない学習・支援活動の展開

（２）地域全体で子どもを育てる意識の醸成と体制の充実
- ア　学校支援地域本部・地域学校協働本部との連携（コミュニティ・スクール）
- イ　地域住民の参画による子どもの居場所づくりの推進
- ウ　子どもが地域で安心して過ごせる環境づくり

３　地域活動を支える人材育成の推進

（１）公民館職員研修等の充実
- ア　館長会、主事会を活用した研修の実施
- イ　ファシリテーター技能等の研修会の開催

（２）校区のまちづくり人材の育成
- ア　地域づくりの担い手となる人材の発掘・育成への取組

４　社会教育関連施設・機能の充実

（１）公民館施設環境整備事業
（２）生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園の機能の見直し

５　公民館機能の見直し

（１）公民館の役割の再定義（自治会との関係性等）
（２）必要な職員体制への見直し
（３）首長部局との連携・協働

第３　主な事業

１　地域教育力向上プロジェクト推進事業（9,982千円）

地域ごとに実情・課題は様々であるため、“つどう”（生活のなかで気軽に人々が集うことができる場）、“まなぶ”（自らの興味関心に基づいて、また社会の要請にこたえるための知識や技術を学ぶための場）を事業の柱とし、学びを活かして地域の課題解決を目指していく。

２　公民館施設環境整備事業（16,948千円）

住民の地域づくりの拠点として、利用者により安全快適な施設環境を提供するために、必要な整備・維持管理を実施している。

第４　別子ハイツ自然学習館

市民に豊かな自然環境の中での学習や研修の場を有料で提供し、青少年の健全な育成と社会教育活動の推進を図るため、設置している。

施設状況

所　在　地	設立年月日	構　　造	敷地面積（㎡）	建物延面積（　㎡　）	電　　話
立川町1番地1	平成20.4.1	鉄筋コンクリート造２階建	3,207.00	566.50	４１－０４４３

社　会　教　育　委　員　名　簿

（平成 30 年７月１日現在）
（50 音順）

氏　　名	性 別	備　　考
安　藤　進　一	男	スポーツ協会代表
小笠原　忠　彦	男	中学校校長会代表
加　藤　すみれ	女	女性連合協議会代表
久　保　弥　生	女	公民館連絡協議会代表
篠　原　雅　士	男	文化協会代表
永　井　和　弘	男	小学校校長会代表
中　山　恵　二	男	医師会代表
秦　　榮　子	女	ボランティア連絡協議会代表
日　野　幸　彦	男	連合自治会代表
藤　田　誠　一	男	市議会福祉教育委員長
藤　本　　毅	男	愛媛新聞社東予支社長
三　木　悠　司	男	青年会議所代表
渡　邊　郁　雄	男	高等学校校長会代表
渡　邊　誠　一	男	ＰＴＡ連合会代表
渡　邉　大　輔	男	企業代表

任期　平成 29 年７月１日　～　平成 31 年６月 30 日

公　民　館　等　一　覧　表

（平成30年５月１日 現在）

施設名	所在地	開　設 年月日	新改築 年度	人口 30.3.31	世帯数 30.3.31	構　造	建物面積 （㎡）	敷地面積 （㎡）	施設長氏名
新　居　浜 32-8312	新居浜市新須賀町 三丁目２番17号	昭和 58.4.1	昭57年度 新築	4,420	2,267	鉄　筋 ２階建	535.50	1,586.00	高田　実
口屋跡記念 32-8430	新居浜市西町 ６番２号	昭和 45.10.3	平27年度 改築	4,954	2,600	鉄　筋 ３階建	970.65	2,214.87	高田　憲二
地域交流センター 34-6320	新居浜市庄内町 一丁目14番７号	平成 22.4.1	平21年度 新築	11,371	5,399	鉄　筋 ２階建	945.02	2,021.40	越智　保二
金　　栄 33-3212	新居浜市高木町 ６番25号	昭和 56.4.1	昭55年度 新築	5,976	2,758	鉄　筋 ２階建	456.00	1,758.00	塩見　進
高　　津 32-3320	新居浜市沢津町 二丁目３番30号	昭和 33.4.1	平７年度 改築	11,608	5,625	鉄　筋 ２階建	987.25	2,220.77	小野　健治
浮　　島 34-7617	新居浜市八幡 二丁目６番52号	昭和 57.4.1	昭56年度 新築	3,597	1,659	鉄　筋 ２階建	456.00	1,480.48	小西　優
惣　　開 33-1031	新居浜市王子町 １番３号	昭和 31.2.24	昭54年度 新築	4,164	1,985	鉄　筋 ２階建	456.00	1,130.81	久石　保
若　　宮 34-7612	新居浜市新田町 一丁目８番37号	昭和 57.4.1	昭56年度 新築	1,718	969	鉄　筋 ２階建	456.00	1,124.96	久保　弥生
垣　　生 45-0024	新居浜市垣生 二丁目12番26号	昭和 24.12.1	平元年度 新築	4,364	1,943	鉄　筋 平屋建	483.00	1,985.80	加藤　久勝
神　　郷 46-1181	新居浜市郷 三丁目７番20号	昭和 33.4.1	昭60年度 新築	9,982	4,556	鉄　筋 ２階建	624.00	1,803.58	柴田　誠治
多　喜　浜 45-0014	新居浜市多喜浜 五丁目７番27号	昭和 31.12.27	平27年度 改築	3,825	1,931	鉄　筋 ２階建	545.63	1,245.00	今村　美鈴
大島交流センター 45-1006	新居浜市大島 甲589番地	平成 27.4.1	平27年度 移転	200	132	鉄　筋 ３階建	交流センター 942.02 体育館 634.05 プール 80.05	交流センター 4,671.32 プール 610.00	近藤　徹雄
泉　　川 41-6463	新居浜市瀬戸町 12番34号	昭和 30.3.31	平15年度 新築	11,673	5,803	木　造 平屋建	公民館 693.00 体育館 286.00	2,966.00	真鍋　智明
中　　萩 41-6735	新居浜市萩生 740番地の１	昭和 22.11.1	平２年度 改築	19,471	9,016	鉄　筋 ２階建	984.00	2,024.02	衣川　裕二
船　　木 41-6003	新居浜市船木 2579番地の１	昭和 24.9.14	昭54年度 新築	7,241	3,361	鉄　筋 ２階建	456.00	1,917.99	篠原　元久
大　生　院 41-6604	新居浜市大生院 1063番地の１	昭和 25.9.28	平４年度 改築	3,915	1,852	鉄　筋 ２階建	公民館 562.70 体育館 233.20	4,324.28	松本　彰
角　　野 41-6224	新居浜市中筋町 二丁目４番24号	昭和 23.11.3	昭54年度 新築	11,722	5,517	鉄　筋 ２階建	864.00	2,963.24	横山　泰茂
別　子　山 64-2211	新居浜市別子山 甲347番地の１	昭和 59.4.1	昭59年度 新築	150	88	鉄　筋 ２階建	631.00	821.54	和田　仲吉
合計				120,351	57,461				

※　改築は、増築・大規模改修等とする。

公　民　館　事　業　計　画

新 居 浜 公 民 館

公民館重点目標	～夢・ロマン・感動を求めて～ １　ボランティア活動の推進 ２　学校・家庭・地域を結ぶ青少年育成と見守り隊の推進 ３　生涯学習の活性化と推進 ４　三世代交流を活かした地域文化の伝承活動とリーダーの育成 ５　小学生・中学生の居場所づくりと交流
事　業　名	事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
女性講座	多種多様な講座を開催し、文化教養を高める。（年８回） 健康教室、手芸教室、料理教室
シニアネットワーク	団塊世代の方が中心となり、豊かな技能や技術を発揮し、健康で生きがいのある人生を送ることのできる学習の機会や他世代との交流を促進する。
小・中学生料理教室	地域の方が講師となり、新たな交流関係を生み出し、料理を学ぶことにより家庭での仕事を体験し、理解できるよう取り組む。（各年２回）
家庭教育事業	学期終了後、心の相談室の専門講師を迎えて、思春期の子どもたちの接し方、学校生活での悩みを相談できるようにし、校区の子どもたちが楽しく過ごせるようにする。
地域づくり推進事業「活き生きセミナー」	地域の声や意見を把握し、地域発信の地域づくりを推進し、地域住民が楽しく、元気になれる場所づくりや、伝統的な食文化や装飾などを活かして、地域が一体となって取り組む。
地域活性化事業	新居浜小学校でビオトープ環境整備とスポーツ教室で健康、体力増進を図り、魅力ある地域づくりを行う。
三世代交流事業	餅つき、しめ縄づくり、凧づくり、七草がゆ行事を各種団体が共同で実施し、伝統的文化・技術の継承を行い、各世代間交流と親睦を深める。
三世代交流健康ウォークラリー	健康づくりと三世代交流活動の一環として、新居浜校区を散策する。
放課後子ども教室推進事業	
浜っ子教室	地域の方々の参画を得て、学習や様々な体験・交流活動、スポーツ・文化活動等の機会を提供する。

公　民　館　事　業　計　画

口屋跡記念公民館

公民館重点目標	～心触れ合う、住みよい地域づくりをめざして～ １　豊かな心を育てる生涯学習の充実 ２　青少年の健全育成 ３　社会教育関係団体相互の連携・交流 ４　人権・同和教育の推進 ５　生涯スポーツの振興、生活文化活動の育成
事　業　名	事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
家庭教育講座	親子で楽しめる講座や母親同士の交流の場、父親も参加できる講座を実施する。 親子料理教室、フィットネス等身体を動かす教室など
女性講座	多岐にわたる講座を開催する。また、子どもたちに郷土芸能を継承する。 防災講話、軽スポーツ（口屋音頭の伝承）、フィットネス等身体を動かす教室、ひな祭りを祝う講座など
高齢者講座	一日研修や奉仕活動（年２回）、軽スポーツ（年２回）、園児との交流、防災教室、交通安全教室等の講座を開催する。
高齢者・女性合同講座	人権・同和教育を学ぶ。（年１回）
生活文化講座	愛護班が中心になり、一日研修を行う。（年１回）
男の料理教室	料理の知識、楽しさを知ってもらうための講座（年２回）
宮西サロン	高齢者や地域の方の居場所作り。購入した健康器具を利用した健康講座や脳トレ、筋トレ等の体操を盛り込む。身体の中から元気になるための食事改善方法を学ぶ講座。乳幼児をもつママの居場所づくり。
北中校区子ども絵画展	子どもたちの文化的な活動を後押しし、心を癒し育む。地域の元美術の先生を中心として、子どもたち（宮西小・新居浜小・北中学生）から絵を募集して展示・審査・表彰式の後、指導教室を開催する。
スポーツ健康教室	子どもたちに体を動かすことや知らないスポーツの楽しさを体験してもらう。子どもたちとの交流を深める シャフルボード、ペタンク、ダーツ等
三世代交流講座	七草粥講座を実施し、七草の由来や種類を学び女性部と一緒に作り食べる事で異世代交流と文化の伝承につなげる。 「読み聞かせ」や昔の遊びの指導を通して知的好奇心を育む。
三世代交流ふれあい交流会	小学６年生、ＰＴＡ，老人会、自治会等でもちをつき、女性部による赤飯作りを実施する。地域の独居老人宅に民生児童委員と児童が、赤飯に手紙を添えて訪問する。 また、６年生はたまごとダエンの積木を使用した講座を実施し、創造力の育成を図る。
口屋あかがねプロジェクト事業 （口屋あかがねの会・くちやあゆみの会）	「口屋あかがねの会」「くちやあゆみの会」を中心として、次世代に残していきたい口屋の歴史を後世に語り継いでいく。 立川仲宿を通して、角野公民館との交流事業を実施する。 幅広い方に新居浜市の歴史文化を広めていくための資料マップを増刷して広く口屋の歴史を後世に残していく（1,000 部）
地域の未来を考えるプロジェクト事業	小中学生や高校生とのディスカッションを実施する。公民館を「小さな拠点」と捉え、誰もが自由に参加し、自分たちの地域を自分たちでつくるためのワークショップを実施する。ファシリテーター養成講座を実施する。
放課後子ども教室推進事業	
地域の方々の参画を得て、学習や様々な体験・交流活動、スポーツ・文化活動等の機会を提供する。	

交　流　セ　ン　タ　ー　事　業　計　画

地域交流センター

交流センター重点目標	～笑顔あふれる地域交流センター～ １　地域ふるさとづくりの推進 ２　生涯学習・スポーツの推進 ３　各種団体との連携・協力体制の強化 ４　地域が一体となった青少年の健全育成 ５　自主防災組織の充実と意識の向上
事　業　名	事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
高齢者講座	高齢者の健康と活力を高めるとともに、学習を通じて親睦交流、仲間づくりと教養を高める講座を実施する。 高齢者を狙う悪徳商法、グランドゴルフ大会、ダーツ大会、料理教室、手芸教室、人権研修、昔の遊び、奉仕活動等
家庭教育講座	金子小学校ＰＴＡを中心とした、学習と親子で楽しむ講座を実施する。 親子陶芸教室、救急法、プリザーブドフラワー、トールペイント、親子科学実験教室、人権同和教育研修
スポーツ健康教室	校区住民を対象に、スポーツを通じて 世代間交流を図り健康づくりをする。 カローリング・ウォーキングなど
文化教養講座	金子校区に伝わる踊りや歴史文化を学習する。 小女郎たぬき踊りの練習、ふるさと探訪
宿泊合宿	「おやじの会」を中心に、保護者の連携と子どもとのかかわりを大切にし、みんなで協力して様々なことに挑戦する。
まちづくり事業	自治会及び各種団体の連携を図りながら、熟議に取り組み、自主防災組織の強化と災害時においての対策と訓練を実施する。 防災運動会 入間市金子公民館との文化交流俳句作品の交換、文化祭作品の交換を通じて、姉妹館の交流を深める。
三世代交流	参加者がふれあいながら、四季を感じられる講座を実施する。 いもたき会、しめ縄作り、凧作り、七草を知る会
地域活動を支える人材育成	地域づくりの担い手となる人材の発掘と育成を行う。各種校区行事に関わり、子どもへの指導などを行う。

公　民　館　事　業　計　画

金　栄　公　民　館

公民館重点目標	～地域と共に歩む公民館を目指して～ １　安全・安心のまちづくりの推進 ２　青少年健全育成の推進 ３　公民館活動への住民の参画促進及び各種団体との連携強化 ４　自主防災組織の更なる充実と地域住民の防災意識の向上
事　業　名	事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
婦人講座	人権同和教育、手芸教室、料理教室、交通安全教室、踊り教室、干支作り等
高齢者講座	人権同和教育、軽スポーツ教室、昔の遊び、料理教室等
家庭教育講座	人権同和教育、小物作り等
ふれあい文化講座	趣味を広げ、教養を高めながら豊かな人づくりを行う。
子育て支援	ママとベビーの３Ｂ体操、親子でふれあい遊び、料理教室、ひなまつり等
金栄まちづくり事業	防犯防災部会（地域パトロール）、防災熟議
三世代交流事業	親子のつどい、芸能発表会、金栄ふれあいの集い
金栄盆踊り	夏の交流の場として盆踊りや模擬店を行う。
ドリームツリー 「金栄ふれあい広場」	金栄校区の冬の風物詩であるドリームツリーの点灯式･アトラクション等を開催する。
放課後子ども教室推進事業	
かるがもクラブ	地域の方々の参画を得て、学習や様々な体験・交流活動、スポーツ・文化活動等の機会を提供する。

公　民　館　事　業　計　画

高 津 公 民 館

公民館重点目標	～安心と安全のまち「たかつ」～ １【住民交流】隣近所が支え合い、助け合って「みんなが明るく住みやすい」町等 ２【育児】親、子どもが自由に集まって、ふれ合い、遊び、子どもたちが元気に「健やかに育つ」町等 ３【高齢者】高齢者同士が交流し、地域の子どもたちと触れ合って「明るく生き生きと生活する」町等 ４【障がい者】障がい者や障がいを正しく理解し、障がい者から真に求められる「手助けをする」町等 ５【青少年健全育成】子どもたちが友達や仲間たちとふれ合い、助け合い、理解し合って「共に成長する」町等 ６【環境】一人一人が気を配り、みんなの力で実現する「清潔で美しい」町等 ７【防災】想定される災害を正しく理解し、災害に備える「災害に強い」町等

事　業　名	事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
高齢者講座	高齢者の健康な心と身体をつくり、充実した生活を送ること、また、次の世代への教養の伝達のため、社会的知識の習得の為の講座を実施する。 人権講座、生活安全、健康講座、介護予防、講演等【１０回】
女性セミナー	女性としての豊かな資質の形成と相互の交流を図る為の各講座を実施する。 人権学習、手芸教室、美容健康講座、健康体操講座、食育講座、講演等【９回】
たんぽぽ・ふわり講座	乳幼児を持つ核家族の母親が家に引き込もらないよう、気軽に悩みを相談できるような託児付きの講座を実施、居場所づくりに取り組む。
家庭教育講座	親子関係が希薄になり児童虐待等の家庭問題が頻発している昨今、子どもへの教育だけでなく、その親への教育も重要視されている。そこで、子どもを持つ親へ講演会を実施する。
たかつの史跡めぐり	地域についての史跡を学び、地域への関心を育むと同時に、地域の人々の親睦・交流を深める。
文化部発表会	公民館利用サークルの発表の場を設け、サークル間の情報交換や技術向上を目的とする。
健康講座	健康づくり及び世代間の交流を図るため歩け歩け大会を実施する。
スポーツ健康教室	日頃スポーツ活動を行いたいが出来ない人に対して、スポーツ活動に必要な施設、指導者等を用意し、生活の中にスポーツ活動を定着化させることを目的として、スポーツ健康教室を開設する。【４回】１、２回目は専門のスポーツ講師に依頼、３、４回目はカローリングやスマイルボウリング、シャフルボードなどを体験、最終日は大会を開催する。
たかつ花あふれるまちづくり	年間を通しての地域各所での花作りを通じて、地域の問題点を見つめ話し合う中で住民一人一人が環境美化を考えボランティア精神を醸成する。
れんげ祭り	農業振興地域内の農用地区域に幅広く指定され、農業が盛んに営まれている高津校区。自然体験の少ない子ども達のために農地を借り上げ、れんげ畑を整備し、れんげを使った花輪作りや、ネイチャーゲーム、昔遊び、防災、交通安全教室等を行う。自然体験により心豊かな子ども達を育てるとともに、三世代の交流を図る。
たかつ納涼夏祭り	校区の夏のイベントとして子どもからお年寄りまで皆が楽しめる夏祭りを実施する。盆踊り、各種模擬店、迷路、ゲーム大会などの催しを行い、地域住民の交流の輪を広げる。

公　民　館　事　業　計　画

浮 島 公 民 館

公民館重点目標	～明るく元気な浮島校区の構築～ １　青少年の健全育成を地域の課題として取り組む。 ２　高齢者も児童も気軽に参加できる事業の推進 ３　「安全・安心」の地域の拠点としてのレベルアップ
事　業　名	事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
総合講座	人権同和教育・健康・環境・一般教養などに関する講座を開催する。
男性料理教室	季節の食材を使った料理や、一人で手軽にできる料理を作る。（年間１０回）
家庭教育講座	家庭教育力を高めるため講座を開催する。 親子ふれあい教室、心肺蘇生等（年間８回程度）
女性講座	興味のある教室・講座を開催し、交流を深める。 人権・料理教室等（年間８回程度）
高齢者講座	学ぶ・体験する講座を開催する。 軽スポーツ大会、海岸清掃等（年間６回程度）
子ども教室	学ぶ・体験する講座を開催する。 理科教室、輪投げ大会等（年間６回）
軽スポーツ教室	手軽で、健康に良い軽スポーツと健康教室を開催し、交流を深める。 （年間２回）
ふたごクラブ	双子の親子の交流の場をつくる。
伝統を伝える講座	七草粥や児童としめ縄作りを行う。

公　民　館　事　業　計　画

惣　開　公　民　館

公民館重点目標	～地域と共に歩む活気ある公民館づくりを目指して～ １　事業の企画・運営への住民の参画促進と人材の育成・発掘を図る。 ２　地域資源を活かしたまちづくり ３　地域住民に親しまれる公民館づくり
事　業　名	事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
乳幼児学級	家庭教育の向上と教養の幅を広げ、親同士のふれあいを深める。
生活文化講座	子育て世代を対象に、同世代の交流を深めながら教養を高め、家庭教育の向上を目指す。夏休みお楽しみ会も開催する。（計７回）
遊ｙｏｕセミナー	地域の男性・女性を対象とし、多種多様なセミナーを開催し、魅力ある地域づくりを行う。（計１０回） 人権同和教育、健康教室、男女共同参画、手作り教室、料理教室、 マナー教室、社会科見学
シニア教室	三世代交流を深め、高齢者の交流、健康づくり、生きがいを感じる場をつくる。（計５回）
三世代交流事業	校区住民の交流と伝統文化の継承を行い、各世代間交流と親睦を深める。 昔のあそび、園児もちつき大会、もちつき大会
まちづくり事業	伝統文化の継承や地域の歴史・文化を掘り起こし、まちづくりにつなげる。 夕涼み会、観月会、ふれあいウォーク、七草がゆ、どろまみれｉｎ田園、 ＥＳＤ（ふじばかまを育てよう）
放課後子ども教室推進事業	
プリンス＆プリンセス講座	地域の方々の参画を得て、学習や様々な体験・交流活動、スポーツ・文化活動等の機会を提供する。

公　民　館　事　業　計　画

若 宮 公 民 館

公民館重点目標	～「地域とともに歩み育つ公民館」をスローガンとして家庭・学校・地域の連携をはかり、安全・安心で住みよい若宮地域づくりを目指す～
事　業　名	事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
高齢者が安心して暮らせるまちづくり	高齢者が引きこもりにならないように、外に出る機会を提供する。 お笑い、歌、健康体操、ビデオシアター鑑賞、知って・得するシニア講座など
趣味と教養	文学や一般教養を学び、生活の知恵や趣味の世界を広げることによって、生活の潤いを図る。
環境にやさしいまちづくり	環境意識の高揚と実践や美しい地域づくりを行う。 花いっぱい運動、地域一斉清掃、環境に関する講座など
安全・安心なまちづくり	地域防災活動への支援と防災意識の高揚を図る。 避難訓練、防災訓練、防災まち歩き、避難所や防災資機材の管理など
地域の伝統・歴史の伝承	年中行事の伝承や昔の遊びを子どもたちと一緒に実施する。 昔遊び、紙ひこうき教室、紙芝居作りなど
スポーツと健康	スポーツを通しての健康増進を図る。 地域スポーツ大会、健康ウォーキングなど
地域づくり	若宮を元気にする会による小学校廃校後の地域の活性化を図る。 小学校跡地での活動についての勉強会、地域ネットワークづくり
放課後子ども教室推進事業	
わかっ子こども教室	地域の方々の参画を得て、学習や様々な体験・交流活動、スポーツ・文化活動等の機会を提供する。

公　民　館　事　業　計　画

垣　生　公　民　館

公民館重点目標	～地域と共に歩む公民館～ １　地域住民に親しまれ支えられる公民館づくり ２　自ら学ぶ生涯学習の推進 ３　各種団体・機関との連携強化 ４　生活文化活動の振興 ５　安全で住みたい垣生づくり
事　業　名	事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
高齢者講座	輪投げ大会、健康教室、防災教室、交通安全教室、人権講座、コーラスなど
婦人講座	観月会、七草がゆ、人権学習、環境学習、手芸教室など
家庭教育講座	世代交流を行う。 救急救命教室、親子料理教室、うどん作り、お菓子作り教室、エコクラフトなど
成人講座	地域のニーズにあった事業を実施する。 男性の料理教室（３回)、参禅、人権講座、健康ウオーキング
垣生山遊歩道めぐり	校区のシンボルである垣生山を中心にめぐり、地域の良さを再認識し次世代に継承していく。
スポーツ健康教室	校区社会体育振興会の指導員を講師として軽スポーツを行い、日ごろの運動不足を解消し、日常の中でも健康のために運動をする意識付けができるように活動をする。
ふるさと文化講座	垣生の郷土芸能・郷土料理を伝承するために実施する。小学生に郷土芸能である『じょうさ節』の踊りを受け伝え運動会などで披露する。 しめ縄づくり
子育て支援	子育て中の母親に交流の場を提供する。 地域交流親子大運動会、フラワーアレジメントなど
垣生っ子ランド	新しい交流の場を作り、幅広い年齢層が楽しめて、他の校区活動にもつながる活動にする。
緑のカーテン運動	緑のカーテンの普及に努める。
三世代交流軽スポーツ大会	小学生最後の思い出作りに６年生親子と地域の方々でグラウンドゴルフ大会を実施する。
垣生環境美化事業	えひめＡＩ－２・ボカシを作り、地域住民に配布し環境美化に努める。
イルミネーションファンタジー	公民館と垣生山の一部を年末年始にかけて電飾で飾り、イベントを行う。

公　民　館　事　業　計　画

神　郷　公　民　館

公民館重点目標	家庭・学校・地域の連帯強化を図り、一人ひとりが大切にされる、安心・安全で住みよいまちづくりを目指す。 １　青少年の健全育成 ２　地域の安全と安心の推進 ３　地域福祉の拡充 ４　生涯学習の推進と各サークル活動の支援 ５　スポーツの推進と健康づくりの推進 ６　お茶の間懇談会の拡充・強化 ７　自主防災組織作りの拡充・強化 ８　地域の環境美化の推進
事　業　名	事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
高齢者講座	高齢者が生き生きと生活し、互いに交流する。 認知症サポーター養成講座、懐かしの歌、研修旅行、頭の体操、男の料理、史跡探訪など、計１０回
いきいきセミナー	各人の教養・技能を高めて生活に活かせる内容とし、交流を深める。 史跡巡り、コース料理教室、干支作り、草木染など
ママ友講座	地域の老人クラブ、婦人会を講師に迎え、郷土料理、手芸等の教室を開催し、教養を高めるとともに、異世代交流をする。計６回
乳幼児期家庭づくり講座	情報交換、交流の場、子育て支援
三世代交流事業	伝統文化を次世代に伝えるとともに、三世代交流と青少年の健全育成を図る。 三世代交流ウォーキング２回、おはよう体操、凧作り、野菜作りなど、計８回
夏祭り事業	三世代交流の場として地域の活性化を図る。
いきいきクラブ事業	地域住民の交流の場を作るため、郷土食の芋炊きや七草がゆで季節感を味わう。また、ピザ窯を有効活用し、校区内外からの人を受け入れ、地域の活性化を図る。
放課後子ども教室推進事業	
わくわくクラブ	地域の方々の参画を得て、学習や様々な体験・交流活動、スポーツ・文化活動等の機会を提供する。

公　民　館　事　業　計　画

多喜浜公民館

公民館重点目標	～笑顔にあふれ、元気の出る公民館を目指して～ １　潤いと生きがいのある安全・安心なふるさとづくりの推進 ２　世代間の交流、人材の発掘 ３　学校・家庭・地域が一体となった青少年の健全育成 ４　郷土の伝統文化・塩田歴史文化・「かしょい」精神の継承 ５　人権・同和教育の推進
事　業　名	事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
スクール多喜浜	新しい人も公民館に足を運ぶような魅力ある講座を実施する。 スポーツ健康教室、講演会、婦人講座、子育て講座、親育ち講座
高齢者大学	交通安全教室、健康問題、スポーツ大会
三世代交流事業	地域の三世代が協力しながら取り組み、心のふれあう交流を行う。 多喜浜焼き教室（小学６年生）、しめ縄つくり（小学６年生）、お手玉教室（小学５年生）、少年の日を祝う会（中学２年生）
塩田文化バンク	郷土の近代産業である塩の文化を後世に伝える。 塩田ウォーク、たきはま写真館、夏休み教室（塩田学習）
環境講座	環境美化活動を通して自分の住む地域により関心を持ってもらう。 ごみパトロールと植栽活動、ＡＩ－２の作成と広報、環境会議
まちづくり講座	地域全体で取り組む事業をプロデュースする。 子ども防災教室、防災クイズ大会、塩田カルタ大会
放課後子ども教室推進事業	
ボンデン広場	地域の方々の参画を得て、学習や様々な体験・交流活動、スポーツ・文化活動等の機会を提供する。

交　流　セ　ン　タ　ー　事　業　計　画

大島交流センター

交流センター重点目標	～地域住民に親しまれるセンターづくり～ １　高齢者が楽しみながら健康維持できる推進事業 ２　歴史と自然を守り伝統文化の伝承 ３　住民どうしのつながりと安全・安心なまちづくり
事　業　名	事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
教養講座	個々の教養を高めながら、参加者同士の親睦を深める。 男の(女の人も）料理教室、絵手紙教室、手芸教室
高齢者講座	高齢者の健康と活力を高めるとともに、学習を通じて親睦と教養を高める。 人権学習、健康体操、いきいきウォーキング、施設見学と買い物ツアー、輪投げ
伝統文化の継承	古来より伝わっている「念仏踊り」を次世代に継承するとともに、大島の史跡を知る講座を通して、島おこしを図る。 念仏踊り（口説き）の練習、大島史跡巡り、七夕
防災教室	自治会との連携で熟議に取り組み、災害時においての対策と訓練を、防災運動会を通じて学ぶ。 防災運動会、防災訓練

公　民　館　事　業　計　画

泉 川 公 民 館

公民館重点目標	～新しい発見、気づこう、まちづくりの魅力～ １　再発見事業 ２　住民が総参加の事業展開 ３　まちづくりの醸成
事　業　名	事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
ふるさと塾	地域住民が主体的に取り組むことができる地域づくりや地域の課題解決に取り組む。
なんでも楽習会	公民館までは少し遠いし、用事もあって、夜出かけるのはちょっと、近くの自治会館だったら気軽に参加できるのに等々、自治会館での学習の機会を開設する。 健康寿命延伸についての講座など
星原市	まちづくりの中心に子どもを位置づけるために、子どもたちの活躍する場を設けたり、地域の大人とのコミュニケーションを図る。また、「星原市」の由来についても知らせる機会とする。
伝統行事を伝える	核家族化が深刻化しているため、繋げていきたい伝統行事を体験する機会が少なくなっているので、高齢者・地域・児童と三世代での交流を深め、伝統行事を継承していくよう実施する。
泉川年輪のつどい	金婚式該当者や喜寿対象者、その年にまちづくりで活躍された方、また団体などを招聘し、讃える日を設け、式典やアトラクションで祝い、地域活動を次年度に繋げていく。
環境講座	廃棄していた生ごみからたい肥を作り、学校と連携しながら花壇の肥料として再利用する。そして、子どもが関わることで住民に環境問題に関心を持ってもらえるよう実施する。
放課後子ども教室推進事業	
大好き泉川っ子	地域の方々の参画を得て、学習や様々な体験・交流活動、スポーツ・文化活動等の機会を提供する。

公　民　館　事　業　計　画

中　萩　公　民　館

公民館重点目標	～地域力の向上による住民主役の開かれた民主的な公民館運営を目指す～ 「目指せ!!住み良い町・住みたい町・行ってみたい町　日本一の中萩」 １　生涯学習・生涯スポーツ活動の推進 ２　青少年健全育成の推進 ３　社会福祉活動の推進 ４　人権・同和教育の推進 ５　安心・安全な地域づくりの推進
事　業　名	事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
中萩セミナー	教養や趣味を高め、地域へのボランティア活動などを視野に入れた講座内容を実施する。
高齢者セミナー	軽スポーツ競技、小学生との触れ合い活動、伝統文化の継承、健康講座、交通安全教室を通じて、高齢者の生きがいづくりを推進する。
健康セミナー	各種軽スポーツの実施や健康についての講座などを開催し、地域住民の健康づくりを推進する。
福祉セミナー	これから迎える「超高齢化社会」をできる限り安らかに有意義な生活を過ごせるように、様々な福祉制度について理解を深める。
十河信二を知り学ぶ活動	十河信二についての講演、十河信二の通学路を歩く会、偲ぶ会、十河信二展（写真、遺作展、図書等）等の活動を通して、十河信二氏を中萩校区出身の偉人として、地域の絆を深める。
スポレク祭	地区単位で分かれて、スポーツで汗を流し、郷土愛と地域での絆を深める。
中萩三世代交流事業	地域の子どもたちに伝統や文化を継承していくための事業を実施し、三世代の交流と絆を深める。 昔遊び、凧づくり、門松づくりなど
環境改善事業	自然保護のために、家庭排水などの浄化を図る活動を推進する。また、花を育てるなど環境整備活動を推進する。
まちづくり推進事業	地域に活力をもたらす様々なことや地域の問題を話し合い、集うことで、解決策を探り、地域力を養い、今後の公民館・地域の方向性を探る場となることを目指す。
放課後子ども教室推進事業	
はぎっ子テン	地域の方々の参画を得て、学習や様々な体験・交流活動、スポーツ・文化活動等の機会を提供する。

公　民　館　事　業　計　画

船　木　公　民　館

公民館重点目標	～安全で安心して快適に暮らせるまちづくり～ １　学校・家庭・地域の連携強化による青少年の健全育成 ２　心豊かな福祉のまちづくりの推進 ３　一人ひとりの学ぶ心を大切にする生涯学習の推進 ４　人権・同和学習の推進 ５　地域に根ざした親しまれる公民館づくり
事　業　名	事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
人権講座	人権について、講話を聴き、共に考える場を持つ。
環境講座	地域の人と協力しながら花作りをし、かつボランティア精神を育てる。 グリーンカーテンをつくろう、花いっぱい運動
健康講座	健康づくり・安全な生活に関心を持ち、健康寿命を延ばす。 健康体操講座
伝統文化講座	伝統文化の継承を行い、三世代交流と親睦を図る。 七夕教室、盆踊り教室、芸能祭、昔の遊び教室、七草教室、とうどまつり、仏教に学ぶ
こども講座	夏休みを中心に開催し、親子参加を募り、親子で学んだり、楽しんだりする機会を設ける。 理科教室、電気を学ぼう、絵手紙教室、毛糸ポンポン教室、子どもスポーツ教室
ＨＡＰＰＹクッキング講座	料理作りを通して、異文化に触れたり、親子の連帯感を育てる。 韓国料理教室、三世代親子クッキング教室、メンズキッチン教室
趣味講座	物作りを通じて新しい世界や知識に触れ、交流の場を作る。 エコクラフト教室３回、陶芸教室、プリザーブドフラワー教室、マフラーづくり教室、ビーズ教室
地域づくり講座	校区の子どもたちが、将来戻ってきたいまちづくり・地域づくりのために、訓練や講座を行う。 防災関係（防災訓練)、交通安全教室、高齢者教室
三世代交流事業	地域の三世代が集い、ソーメン流し等を行う。同じ目的に向かってそれぞれの得意分野で力を発揮し、連帯感を養う。

公　民　館　事　業　計　画

大 生 院 公 民 館

公民館重点目標	～地域住民が集まり、共に進む公民館～ １　事業の企画・運営への住民の参画促進 ２　地域資源(自然)を生かした特色ある事業の推進 ３　自主防災組織の更なる充実と意識の向上 ４　子どもの居場所づくりと交流
事　業　名	事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
高齢者いきいきセミナー	健康づくりや学習を通じて、仲間づくりができるような場の提供をする。
くらしのセミナー	文化教養を深めるため、多種多様な講座を開設し、仲間づくりができるような場を提供する。
子育て支援セミナー	心と身体をリフレッシュすることで子育てのストレスを軽減発散することで明日への活力を養う。また、情報交換・収集・交流の場として子育て支援を行う。
郷土の歴史と文化	大生院校区について、史跡や歴史、偉人について学び、地域への関心を育む。
スポーツ健康教室	軽スポーツ（スマイルボウリング、シャッフルボード、カローリング）やウォーキングを通じて、各世代間交流や健康増進を図る。
三世代交流事業	地域の大人が、子どもに伝統文化を継承し、学びながら交流を図り親睦を深める。
大野山プロジェクト	大生院のたくさんの自然と触れ合い、地域のことをより知り、大人から子どもまで楽しめる行事を行う。 歩いてゆく大野山ツアー
放課後子ども教室推進事業	
でこぼこクラブ	地域の方々の参画を得て、学習や様々な体験・交流活動、スポーツ・文化活動等の機会を提供する。

公　民　館　事　業　計　画

角　野　公　民　館

公民館重点目標	～共に学び・話し・喜び合える地域づくりを目指して～ １　思いやる心を育てる生涯学習を推進し将来を見据えた地域づくり ２　伝統文化の継承と郷土愛を育てる地域づくり ３　学社融合で青少年健全育成、安全で安心の地域づくり ４　自分達で命を守る防災組織の確立を図る地域づくり ５　三世代交流や人と自然の調和、健康で笑顔あふれる地域づくり
事　業　名	事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
手作りセミナー	文化教養を高める講座を企画し新たな自分と出会える場にする。 多肉植物寄せ植え、ハーバリューム体験してみよう、みそ作りに挑戦、干支づくり、日本の文化体験
家庭教育セミナー	子どもたちの健全育成のために、親子関係そして、地域の大人とのコミュニケーションを深める。社会の担い手を育成する。 夏休み子ども教室、住友化学理科教室、防災サバイバルキャンプ、音楽を楽しむ、ママの健康講座
未来まちづくりプラン	地域づくりに関わる将来の担い手を呼び込むため、小・中学校と連携を強化する。 防災訓練教育、環境に配慮した環境緑化推進事業（みどりのカーテン栽培、花の栽培）
いき生き生活セミナー	高齢者を中心に、情報交換の場を提供する。健康で生き生きとした生活をおくり高め合い、地域に必要とされる高齢者になることを目的としよりよい仲間づくりへと進展させる。 いどばた会議に集まろう！、魚をさばいてみよう、からだのメンテナンス、お悩み相談室、１品持ちよりパーティー
合同セミナー	異世代交流を目的とし、各種団体の協力を得て、子どもたちが、地域の人々との交流をはかり、より良い人間関係・地域関係を築きコミュニティーを深める。 講演会、地域の産業遺産を巡る「ウォークラリー」、おはようラジオ体操３回、三世代交流もちつき大会、しめ縄づくり教室、七草がゆ
スポーツ健康教室	各種スポーツを通じ放課後子ども教室と連携をはかり、地域で支える。 カローリングなど
伝統文化プラン	地域と学校が連携し、地域に残る近代化産業遺産や身近な歴史を深く知り学ぶ事を目標とし次世代に托す。 ちびっこ相撲、記録を繋ぐ、とうどおくり、口屋跡記念公民館との共催事業（第３弾口屋と角野の歴史を伝え合う） 地域、高校生、中学生を交え様々に触れ合う機会を作り、経験を積み重ねる。また、他校区間の交流も含め摸索する。

公　民　館　事　業　計　画

別 子 山 公 民 館

公民館重点目標	～地域づくりの拠点として、暖かくぬくもりのある公民館を目指して～ １　学校・地域との連携を図り、地域活性化に繋げる ２　伝統文化の継承と郷土愛の醸成を図る ３　人権・同和教育の推進 ４　青少年の健全育成を図る ５　世代間交流の充実強化
事　業　名	事　業　内　容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	
地域環境講座	別子山の澄んだ星空を眺めながら、天体望遠鏡によって宇宙の旅に出る。専門の講師の説明を聞きながら天体観測の体験をする。 自然いっぱいの山野で植物に触れながら、身近で食べられる植物などを採取、料理方法まで学習する。
地域文化の伝承	人口減少と高齢化により地域文化の伝承が難しくなっているため、写真・映像や文字にして残す。
ふれあい体験学習	登山を実施し、心身のリフレッシュを行う。さらに、地域の独居高齢者に、豊かで想いのこもった年始を迎えてもらうため、餅つきを実施して配布する。
健康づくり教室	地域住民の高齢化に伴い、地域力の底上げを行うため、体力づくり及び地域内を散策することで、現状の再認識と体力の向上に結び付ける。
まちづくり支援事業	まちづくりは、地域を知ることから始まると考え、市の天然記念物に指定された桜の周辺整備を行い、守り育てることの大切さを肌で感じ、保全管理によって地域の重要なシンボルとする。さらに、地域おこしの一環として、冬場のメインイベントである雪合戦大会を一層盛り上げるため、四国最大規模で行われる大会を視察研修することで地元開催にあたり、審判力及び選手力の強化に結び付ける。
いきいきまちづくり	学校の小規模化に伴い、単独での実施は難しいこともあり、校区住民と学校が一体となって運動会を実施する。今年度も、地域全体で学校を盛り上げていこうという機運の高まりもあり、地域住民の体力の向上と連帯感の育成を行い、地域内外との人的交流を図る。

青　少　年　セ　ン　タ　ー

重点目標

１　「見せる補導」を徹底し、非行の未然防止に努める。
２　学校周辺を巡回し、児童生徒の安全確保に努める。
３　安全情報ネットワークの整備に努める。

重点事項

１　健全育成活動の推進
（１）青少年の非行・被害防止全国強調月間　（７月）、子ども・若者育成支援強調月間　（11月）　の推進
（２）青少年善行表彰

２　相談活動の推進
（１）相談業務の周知徹底、積極的な相談活動
（２）適切な資料提供並びに専門機関への紹介

３　少年補導委員による補導活動の充実
（１）地域に密着した昼夜の街頭補導
（２）夏祭り、花火大会、年末等における特別街頭補導
（３）支部長による広域補導

４　環境浄化活動の推進
（１）危険箇所、非行集団等のたまり場の早期発見と指導
（２）未成年者喫煙、飲酒防止の推進

５　情報収集と啓発活動の充実
（１）青少年健全育成入選標語の広報による周知、啓発
（２）ホームページによる情報発信
（３）センターだよりの発行

６　研修活動
（１）少年補導委員研修大会の実施
（２）各種研修会への派遣

７　関係機関・団体・学校等との連携強化
（１）学校・警察・児童相談所等との相互情報交換並びに連携の推進
（２）少年補導委員会議等（支部長会）の開催
（３）青少年健全育成、非行防止に関する各種会合等への積極的な参加

施設状況

所　在　地	開　設 年月日	構　　造	敷地面積 (㎡)	建物延面積 (　㎡　)	電　話	所長氏名
繁本町８番６５号	昭和 39.7.16	鉄筋コンクリート造 ２階建	403.68	403.68	３３－４１５２	藤田秀喜

地区別少年補導委員の状況

（平成30年４月１日現在）

地　区　別	補　導　委　員　数		
	男（人）	女（人）	計（人）
川　西　地　区	42	19	61
川　東　地　区	32	22	54
上　部　地　区	47	28	75
計	121	69	190

生　涯　学　習　セ　ン　タ　ー

重点目標

　生涯学習を広く市民に啓発し、自らの意思で学習に取り組むことができるための条件を整備するとともに、人材の発掘育成をすすめ、市民一人ひとりが主役となる生涯学習ネットワークづくりを目指す。

重点事項

１　生涯学習大学事業の推進

（１）大学、工業高等専門学校等の高等教育機関等との連携を図り、日本文学講座、松山大学公開講座、新居浜高専市民講座等、各種講座を開設する。
（２）市民のニーズ、時代の変化に対応した講座や必要課題に関する講座を開設する。
（３）市民への幅広いＰＲにより新たな層の参加を図るとともに、生涯学習大学の自主的運営を促進する。
（４）生涯学習推進員制度を設け、市民のニーズを反映した各種講座の企画・運営に努める。

２　生涯学習情報の収集・提供及び学習体制の充実

（１）県生涯学習情報システムの有効活用を図る。
（２）生涯学習に関する情報を収集するとともに、「悠游たより」等により情報の提供及び交換を行う。
（３）生涯学習の情報網を整備し、学習体制を充実させる。

３　生涯学習を推進するネットワークの促進

（１）公民館との連携を密にするとともに、市社会教育課をはじめ市内の生涯学習関連機関、施設、事業所等との協力のもと、生涯学習センターを核とした生涯学習ネットワークの構築に努める。
（２）社会教育団体をはじめとする生涯学習に関連する団体との連携の強化に努め、各種事業を展開する。
（３）市内の人材の掘り起こしを進め、リーダーバンクの有効活用を図る。

４　生涯学習に関連する指導者の育成と生涯学習のまちづくりの推進

（１）対象別の指導者養成講座の開設を図る。
（２）生涯学習スタッフを設置し、学習の企画立案・運営手法に習熟した人材の育成に努める。
（３）生涯学習ボランティアの実践活動をとおしてリーダー育成を目指す。

５　視聴覚ライブラリー機能の整備と有効活用

（１）自主教材の製作をすすめ、教材としての活用を図る。
（２）視聴覚指導者の育成を図る。

施設状況

所　在　地	開　設 年月日	構　　造	敷地面積 （㎡）	建物延面積 （　㎡　）	電　話	所長氏名
繁本町８番６５号	平成 3.4.1	鉄筋コンクリート造 (市民文化センター本館2階)	―	―	３３－２９９１	浦江　賢治

高　齢　者　生　き　が　い　創　造　学　園

重点目標

高齢化が急速に進展する社会の中で、ボランティア活動を行い、共に学ぶ喜びを共有することによって、生きがいを見つける学習機会を提供する。

重点事項

１　講座の開設

概ね60歳以上の方を対象に、講座を開設して高齢者の要望に応え、高齢者の基本的要求である健康維持と、生活上の諸問題をテーマとする講座と講義や実技を通して学習を楽しみ、生きがいの創造をテーマとする講座を設ける。

２　サークル活動

（１）講座終了者が、自主的で幅広い活動ができるようにする。
（２）週１回程度活動し、学習の深化・発展を図り、自由に積極的に学習する機会を提供する。
（３）サークルごとに会員登録を行い、代表者を中心に年間計画を立てて自主的な運営を図るとともに、学園の全体活動への積極的な参加を促進する。

３　代表者会活動

学園の事業に積極的に参加し、その健全な発展を図る。 代表者会は、学園の各講座受講者とサークル会員の互選により選出された代表者で構成され、総務・広報・体育・文化・音楽のいずれかの委員会に属する。

４　ボランティア活動の推進

高齢者の豊かな経験と知識・技能を広く社会に還元できるよう学習をうながし、それによって自らの生きがい発見の場とさせる。
（１）受講者のボランティア活動について啓発を図る。
（２）その活動を通して仲間作りに発展するように努める。
（３）関係諸団体との連絡を密にして、現地研修、講師を招いての学習をすすめることによってボランティア活動の推進を図る。

５　生き方の啓発や学習情報の提供

高齢者にとっての必要な情報を把握し、その提供に努める。
（１）学園月刊紙「生きがい」を発行し、学園の全体的な学習活動を中心とした情報の提供や生き方の啓発に努める。
（２）アンケート調査やその他の方法によって受講者の要望を把握するとともに、掲示や学習資料・チラシ等を通してその期待に応えるようにする。

６　関係機関との連携

庁内関係各課はもちろん、各公民館・老人センターその他の関係機関との連携を密にし、協力する。
講座編成については、他機関のものとの重複を避け、講座の設置目的を明確にする。

施設状況

所　在　地	開　設 年月日	構　　造	敷地面積 (㎡)	建物延面積 (　㎡　)	電　話	所長氏名
上原二丁目８番１号	平成 5.4.1	鉄筋コンクリート造 ２階建	18,684.23	3,759.85	４４－４８２６	一色　明繁

学　校　教　育　課

第１　最重要課題

子どもたちの豊かな学びを支える教育の充実

第２　重点事項（取組方針）

１　持続可能な開発のための教育と特色ある学校づくりの推進

（１）小中学校のＥＳＤ推進

持続可能な社会の担い手を育てるため、学校と地域が連携して自主的に創意工夫を凝らした教育活動を展開する。また、それらの教育活動がどのＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）達成に向けたものなのかを明確にすることで、より深化した学びの場となるよう努める。

ア　ＥＳＤフェスティバルの開催

イ　ふるさと学習の充実［ふるさと学習奨励賞］［新居浜ものしり検定］

ウ　国際理解教育の充実【中学生海外派遣事業】

エ　環境教育の充実【学校環境教育支援活動事業】

オ　道徳教育の充実【特色ある道徳教育推進事業】

（２）特色ある学校づくり

学校・地域の特色を生かし、児童生徒が自立して社会で生きていく力を身に付けるための教育を推進する学校づくりに努める。

ア　別子中学校学び創生事業

イ　「いのちの授業」開催事業

ウ　「誕生学プログラム」開催事業

２　不登校・いじめ対策の推進

不登校やいじめに起因する学校や社会への適応が難しい児童生徒の学校復帰と社会的自立を目指し、学校、家庭と関係機関の連携を進めながら、訪問活動や相談活動等に取り組む。また、学校における学級経営改善を図るとともに、いじめ・不登校の未然防止と早期対応を強化する。

（１）小中連携の取組

（２）「絆アンケート」の実施と情報分析・実態把握

（３）Ｑ－Ｕの実施による問題行動等の未然防止と学級経営改善

（４）あすなろ教室における相談・指導（ＳＳＷの配置）

（５）スクールカウンセラー・ハートなんでも相談員・中一ギャップ対応

職員を配置した相談体制の確立

（６）「新居浜市不登校対策検討委員会」による調査研究と情報提供

（７）「いじめ問題対策連絡協議会」による調査研究と情報提供

３　学力向上に向けた事業推進

標準学力調査等の結果をもとに検証改善を行い、確かな学力の定着と向上を図るための学習指導の改善に努める。主体的に学ぶ力を身に付けるとともに、基礎的知識や技能を習得させ、課題解決能力を育てる学習の充実を推進する。

（１）英語力の向上【生きた英語教育推進事業 － ＡＬＴ】

（２）標準学力調査の実施

（３）教育研究所研究所員による教育課題のテーマ研究

（４）放課後まなび塾の拡充

（５）学校図書館支援センターの学校司書派遣による授業支援

（６）中学生英語キャンプの開催

（７）あかがね算数数学コンテストの開催

（８）小中学生科学奨励賞事業の開催

（９）中学生弁論大会の開催
(10) 中学生英語スピーチコンテストの開催

４　コミュニティ・スクール導入の推進

コミュニティ・スクールの導入により、地域と学校が公式のパートナーとして、共に子どもたちを育て共に地域をつくる「地域とともにある学校づくり」を推進する。

（１）コミュニティ・スクール推進事業
（２）コミュニティ・スクールに係る研修会の開催
（３）学校支援地域本部から地域学校協働本部への事業転換

５　学校における業務改善の推進

次世代の学校指導体制にふさわしい教職員の在り方と業務改善のためのタスクフォースに基づき学校の業務改善を推進する。

（１）学校業務改善研修会、業務改善検討会の開催
（２）「ボイスシャワー」「人のことを大切にして聞く」の実践
（３）地域人材を活用した部活動指導の検討
（４）ＩＣＴを活用した校務支援システムの研究
（５）学校の業務改善に対する学校事務職員の積極的参加
（６）学校組織マネジメント機能の強化
（７）専門スタッフによる支援等【学校現場における業務改善加速事業】

６　放課後対策にかかる一体的運営の推進

放課後における子どもの安全な居場所づくりとともに、子どもたちの健全育成に取り組むため、放課後対策の一体的な運営を検討しながら事業の充実を推進する。

（１）放課後児童クラブの充実
（２）放課後子ども教室、放課後まなび塾の拡充
（３）放課後児童クラブ、放課後子ども教室、放課後まなび塾の一体的な運営の検討

７　小規模校の統廃合と学校施設の適正規模・適正配置の方針検討

少子化の進展に伴う児童生徒数の減少を踏まえ、「 新居浜市今後の学校の在り方に関する検討委員会 」において、今後における幼稚園、小中学校の適正規模・適正配置及び学校運営のあり方に関する方針の検討を進める。

（１）統廃合も含めた公立幼稚園の今後の方針の決定

８　学校施設の長寿命化計画と教育環境（ＩＣＴ・トイレ・エアコン）の改善計画の策定

学校施設は、校舎の大部分が築後 30 年以上を経過していることをはじめ各施設も老朽化が進んでいる現状の中、長寿命化にかかる中長期的な計画を策定するとともに、快適な教育環境の整備にかかる改善計画を策定する。

（１）公立学校施設にかかる長寿命化計画の策定
（２）主体的・対話的で深い学びのための ICT 整備計画の策定
（３）トイレの洋式化に関する改善計画の策定
（４）熱中症等対策に資するエアコン整備計画の策定

９　学校施設環境整備工事の実施

老朽化が進んでいる学校施設について、危険性が高い箇所の改修工事を実施することにより、安全で快適な教育環境を確保する。

第３　主な事業

１　別子中学校学び創生事業（別子中学校寄宿舎管理運営費 34,274 千円）

平成 30 年４月から寄宿舎を備えた全寮制の中学校として、英語や数学など学力を重視した「グローバル・ジュニア・ハイスクール」として学校運営を行う。

２　生きた英語教育推進事業（67,306 千円）

文部科学省では、「生徒の英語力向上推進プラン」を策定し、英語教育を強化されている中、小学校高学年での英語の教科化など次期学習指導要領も見据えて、平成 28 年度からＡＬＴを増員している。平成 30 年度においても、その積極的活用により英語力の向上を図る。

３　持続可能な開発のための教育推進事業（3,381 千円）

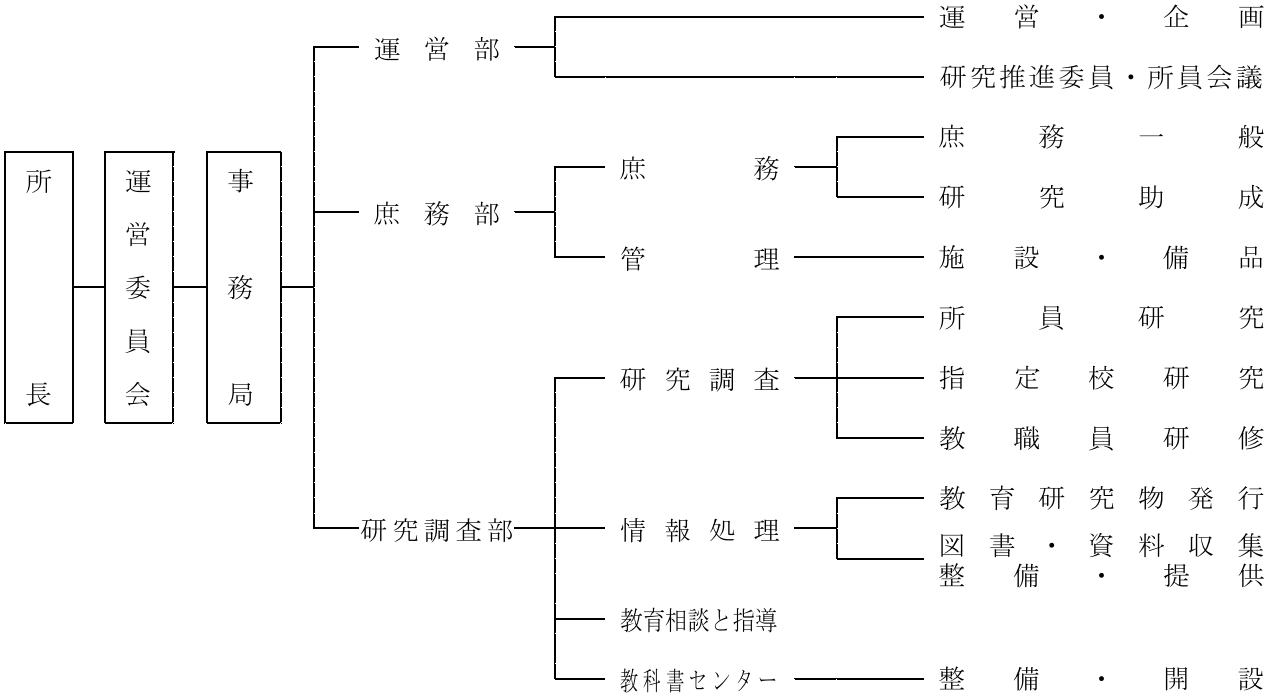
現代社会の様々な課題を自らの問題として捉え、身近なところから取組み、ＳＤＧｓ 達成に向けて、実践していこうとする人材の育成を目的とし、将来にわたって持続可能な社会を構築する担い手を育むＥＳＤを推進する。

新居浜市教育研究所の概要

１　沿革の概要

昭和33年３月31日　新居浜市教育研究所設置条例に基づき、新居浜市教育研究所を置く。
昭和46年６月　教育会館の２階に教育研究室を設ける。
平成28年度　第21期新居浜市教育研究所の発足
平成30年度　第22期新居浜市教育研究所の発足

２　機構・組織



３　事業内容

（１）教育に関する専門的、技術的事項の研究
　ア　研究所員10名による「テーマ研究」
　イ　研究指定校との連携による　「共同研究」
　ウ　第22期新居浜市教育研究所
　エ　新居浜市学力向上推進委員会
（２）教育に関する調査及び各種教育資料の作成及び共有（データ）
　ア　教育研究物の発行
　　●３・４年生用社会科副読本　　●特別支援教育ハンドブック
　　●研究紀要　　●所報
　イ　教育に関する調査と資料の作成
　　●ふるさと学習
（３）教育関係職員の研修
　　教科研修等
（４）教育図書・資料及び教科書センターの経営
　ア　図書の整備、閲覧、貸出し
　イ　各種資料の収集、整理、提供
　ウ　教科書センターの整備と開設

４　研究のあゆみと歴代研究所長

氏　　名	就任年月日	離任年月日	研究期・研究主題等
藤田弥一郎	昭和33年４月１日	昭和37年３月31日	第１期 第２期　科学技術教育研究会
河野　　貫	昭和37年４月１日	昭和40年３月31日	第３期　授業の分析
岡田　信秋	昭和40年４月１日	昭和43年３月31日	第４期　授業の分析
尾崎健次郎	昭和43年４月１日	昭和46年３月31日	第５期　個性能力に応ずる教育の研究
神野　忠利	昭和46年４月１日	相和48年３月31日	第６期　学習指導の近代化
印南　忠一	昭和48年４月１日	昭和52年３月31日	第７期　学習指導の近代化
大西　博臣	昭和52年４月１日	昭和56年３月31日	第８期　自ら学ぶ力を育てる指導
村上　好央	昭和56年４月１日	昭和58年３月31日	第９期　自ら学ぶ力を育てる指導
永井　　弘	昭和58年４月１日	昭和59年３月31日	第９期　自ら学ぶ力を育てる指導
久米　　浩	昭和59年４月１日	昭和60年３月31日	第10期　授業の質的改善の研究
加藤　勝見	昭和60年４月１日	昭和61年３月31日	第10期　授業の質的改善の研究
廣川　地彦	昭和61年４月１日	昭和62年３月31日	第10期　授業の質的改善の研究
宮﨑　　弘	昭和62年４月１日	昭和63年３月31日	第11期　個人差に応じる学習指導
廣川　地彦	昭和63年４月１日	平成元年３月31日	第11期　個人差に応じる学習指導
渡邉　　健	平成元年４月１日	平成３年３月31日	第12期　自己教育力の育成を図る学習指導
宮﨑　　弘	平成３年４月１日	平成５年３月31日	第12期　自己教育力の育成を図る学習指導
一色　康範	平成５年４月１日	平成７年３月31日	第13期　子どもの可能性を招く学習指導と評価の研究
鴻上　政士	平成７年４月１日	平成９年３月31日	第14期　主体的な学習の仕方を身につける学習指導と評価の研究
合田　　正	平成９年４月１日	平成10年３月31日	第14期　主体的な学習の仕方を身につける学習指導と評価の研究
合田　　正	平成10年４月１日	平成11年３月31日	第15期　生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
山本　光博	平成11年４月１日	平成12年３月31日	第15期　生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
河野　義隆	平成12年４月１日	平成14年３月31日	第15期 第16期　生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
藤本　博文	平成14年４月１日	平成16年３月31日	第16期　生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
三浦　孝信	平成16年４月１日	平成18年３月31日	第17期　「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむ指導と評価の研究
佐藤弘美子	平成18年４月１日	平成19年３月31日	第17期　「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむ指導と評価の研究
真鍋　智明	平成19年４月１日	平成21年３月31日	第18期　基礎基本の定着と確かな学力の向上
秋本　　司	平成21年４月１日	平成23年３月31日	第18期　基礎基本の定着と確かな学力の向上 第19期　学力の向上を図る実践研究
坪本　道夫	平成23年４月１日	平成25年３月31日	第19期　学力の向上を図る実践研究 ふるさと学習の研究
横井　敏行	平成25年４月１日	平成27年３月31日	第20期　確かな学力を育むための実践研究 ふるさと学習の研究
高橋　良光	平成27年４月１日	平成30年３月31日	第20期　確かな学力を育むための実践研究 第21期　ふるさと学習の研究
田中利季	平成30年４月１日		第22期　未来を生き抜く力を育む実践研究

学　校　教　育　計　画　資　料

１　研究指定校（発表校）・訪問指導校・研修会開場等予定校

	学校名	内　　容		指定年度	
小学校	新居浜小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		30
		県	ハートなんでも相談員設置事業		30
		市	フッ化物洗口事業		30
	宮西小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		30
		県	ハートなんでも相談員設置事業		30
		市	フッ化物洗口事業		30
	金子小学校	県	ハートなんでも相談員設置事業		30
		市	誕生学プログラム		30
		市	市人権・同和教育研究大会		30
		市	フッ化物洗口事業		30
	金栄小学校	県	ハートなんでも相談員設置事業		30
		市	市人権・同和教育研究大会		30
		市	フッ化物洗口事業		30
	高津小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		30
		県	ハートなんでも相談員設置事業		30
		市	誕生学プログラム		30
		国	特色ある道徳教育推進事業	29	30
		市	フッ化物洗口事業		30
	浮島小学校	県	ハートなんでも相談員設置事業		30
		市	フッ化物洗口事業		30
	惣開小学校	県	ハートなんでも相談員設置事業		30
		市	誕生学プログラム		30
		市	フッ化物洗口事業		30
	垣生小学校	県	小学校体育専科教員配置校	28・29	30
		市	フッ化物洗口事業		30
		市	ハートなんでも相談員設置事業		30
	神郷小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		30
		県	東予地区人権・同和教育研究協議会		30
		県	ハートなんでも相談員設置事業		30
		市	フッ化物洗口事業		30
	多喜浜小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		30
		県	ハートなんでも相談員設置事業		30
		市	フッ化物洗口事業		30
	泉川小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		30
		県	ハートなんでも相談員設置事業		30
		訪問	フォローアップ研修（教科の授業）		30
		市	市人権・同和教育研究大会		30
		市	フッ化物洗口事業		30
	船木小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		30
		県	ハートなんでも相談員設置事業		30
		市	フッ化物洗口事業		30
	中萩小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		30
		県・市	ハートなんでも相談員設置事業		30
		市	フッ化物洗口事業		30
	大生院小学校	国	スクールカウンセラー活用事業対象校		30
		市	誕生学プログラム		30
		市	フッ化物洗口事業		30
	角野小学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業		30
		訪問	フォローアップ研修（道徳の授業）		30
		市	フッ化物洗口事業		30
	別子小学校	国	スクールヘルスリーダー派遣事業		30
		市	フッ化物洗口事業		30

	学校名	内　　容		指定年度	
中学校	東中学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業		30
		市	ものづくり体験講座		30
	西中学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業		30
		市	新聞制作体験学習事業		30
	南中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校		30
		訪問	フォローアップ研修（道徳の授業）		30
	北中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校		30
		訪問	フォローアップ研修（教科の授業）		30
		市	いのちの授業開催事業		30
	泉川中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校		30
		訪問	フォローアップ研修（道徳の授業）		30
		市	市人権・同和教育研究大会		30
	船木中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校		30
		訪問	フォローアップ研修（教科の授業）		30
		市	学校保健研究大会		30
	船木中（ひびき分校）				
	中萩中学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業		30
		県	免許外教科担任教員研修会（授業研究）		30
	大生院中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校		30
		県	ＮＩＥ実践指定校		30
	角野中学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業		30
		市	いのちの授業開催事業		30
		市	市人権・同和教育研究大会		30
	川東中学校	国	スクールカウンセラー活用事業拠点校		30
		県	東予地区人権・同和教育研究協議会		30
	別子中学校				

※全小中学校において、持続可能な開発のための教育（ＥＳＤ）をめざす学校づくりを推進する。

２　学校教育における人権・同和教育研究会

行　　事	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備　考
新居浜市人権・同和教育研究大会									小中合同 ４日（火）				小学校 ３校 中学校 ３校
愛媛県人権・同和教育研究大会								８日（木）					松山市
四国地区人権教育研究大会				5日(木) ～ 6日(金)									香川県
全国人権・同和教育研究大会								17日(土) 18日(日)					滋賀県

平成３０年度　児童・生徒・園児・教職員数

小 学 校

学校名＼学年・性別		1 学 年			2 学 年			3 学 年			4 学 年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
新居浜小学校	児童数	12	18	30	13	22	35	25	10	35	13	22	35
	学級数	1			1			1			1		
宮西小学校	児童数	29	14	43	19	14	33	15	21	36	20	28	48
	学級数	2			1			2			2		
金子小学校	児童数	52	41	93	61	64	125	53	50	103	61	43	104
	学級数	3			4			3			3		
金栄小学校	児童数	32	23	55	38	37	75	45	34	79	30	37	67
	学級数	2			3			3			2		
高津小学校	児童数	54	38	92	49	62	111	55	61	116	57	50	107
	学級数	3			4			4			4		
浮島小学校	児童数	13	4	17	11	11	22	14	11	25	10	13	23
	学級数	1			1			1			1		
惣開小学校	児童数	26	35	61	29	16	45	29	32	61	32	28	60
	学級数	2			2			2			2		
垣生小学校	児童数	25	23	48	18	24	42	17	24	41	30	12	42
	学級数	2			2			2			2		
神郷小学校	児童数	45	48	93	47	43	90	46	47	93	51	42	93
	学級数	3			3			3			3		
多喜浜小学校	児童数	16	12	28	10	11	21	12	9	21	17	9	26
	学級数	1			1			1			1		
泉川小学校	児童数	47	43	90	70	44	114	34	45	79	46	50	96
	学級数	3			4			3			3		
船木小学校	児童数	34	32	66	27	28	55	35	35	70	25	35	60
	学級数	2			2			2			2		
中萩小学校	児童数	72	70	142	82	70	152	67	84	151	83	83	166
	学級数	4			5			5			5		
大生院小学校	児童数	20	19	39	26	23	49	21	23	44	17	26	43
	学級数	2			2			2			2		
角野小学校	児童数	49	52	101	55	54	109	57	45	102	52	58	110
	学級数	3			3			3			4		
別子小学校	児童数	1	1	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	学級数	1			0			0			0		
計	児童数	527	473	1000	555	524	1079	525	531	1056	544	536	1080
	学級数	35			38			37			37		

※大島小学校…H25.3.31 廃校　　若宮小学校…H30.3.31 廃校

船木小学校…児童数にわかば分教室を含む

（平成３０年５月１日現在）

５ 学 年			６ 学 年			計			学 級 数			教員数	職員数
男	女	計	男	女	計	男	女	計	通常	特別支援	計		
18	21	39	18	20	38	99	113	212	6	3	9	14	8
1			1			6							
12	17	29	22	16	38	117	110	227	9	3	12	19	9
1			1			9							
65	47	112	42	45	87	334	290	624	20	4	24	35	12
4			3			20							
29	28	57	25	27	52	199	186	385	14	2	16	22	9
2			2			14							
68	62	130	60	63	123	343	336	679	23	4	27	38	3
4			4			23							
11	12	23	14	6	20	73	57	130	6	4	10	15	7
1			1			6							
30	28	58	34	26	60	180	165	345	12	3	15	22	10
2			2			12							
21	20	41	21	28	49	132	131	263	12	2	14	21	9
2			2			12							
63	43	106	54	35	89	306	258	564	18	4	22	31	11
3			3			18							
11	6	17	15	9	24	81	56	137	6	1	7	12	8
1			1			6							
56	46	102	43	48	91	296	276	572	19	3	22	28	5
3			3			19							
35	33	68	19	29	48	175	192	367	12	4	16	24	10
2			2			12							
95	71	166	82	62	144	481	440	921	28	5	33	46	13
5			4			28							
23	19	42	22	18	40	129	128	257	11	3	14	19	10
2			1			11							
62	55	117	56	47	103	331	311	642	20	5	25	34	11
4			3			20							
0	0	0	1	0	1	2	2	4	1	1	2	2	0
0			0			1							
599	508	1107	528	479	1007	3278	3051	6329	217	51	268	382	135
37			33			217							

中 学 校

学校名＼学年・性別		1 学 年			2 学 年			3 学 年	
		男	女	計	男	女	計	男	女
東 中 学 校	生徒数	51	63	114	59	72	131	73	62
	学級数	3			4			4	
西 中 学 校	生徒数	40	38	78	41	34	75	34	39
	学級数	2			2			2	
南 中 学 校	生徒数	90	67	157	68	72	140	87	69
	学級数	4			4			4	
北 中 学 校	生徒数	33	34	67	33	28	61	45	32
	学級数	2			2			2	
泉川中学校	生徒数	38	25	63	41	40	81	37	35
	学級数	2			3			2	
船木中学校	生徒数	29	35	64	28	26	54	30	32
	学級数	2			2			2	
船木中学校ひびき分校	生徒数	1	0	1	2	0	2	5	0
	学級数	1			1			1	
中萩中学校	生徒数	86	76	162	75	87	162	90	87
	学級数	4			4			5	
大生院中学校	生徒数	18	22	40	16	21	37	20	16
	学級数	1			1			1	
角野中学校	生徒数	46	52	98	62	52	114	51	58
	学級数	3			3			3	
川東中学校	生徒数	92	81	173	87	79	166	107	84
	学級数	5			5			5	
別子中学校	生徒数	2	3	5	3	3	6	4	2
	学級数	1			1			1	
計	生徒数	526	496	1,022	515	514	1,029	583	516
	学級数	30			32			32	

幼 稚 園

幼稚園名＼年齢・性別		4 歳 児			5 歳 児			
		男	女	計	男	女	計	
王子幼稚園	園児数	11	14	25	16	10	26	
	学級数	1			1			
神郷幼稚園	園児数	12	15	27	14	10	24	
	学級数	1			1			
計	園児数	23	29	52	30	20	50	
	学級数	2			2			

（平成３０年５月１日現在）

計	計			学級数			教員数	職員数
計	男	女	計	通常	特別支援	計		
135	183	197	380	11	3	14	28	3
	11							
73	115	111	226	6	2	8	17	3
	6							
156	245	208	453	12	2	14	28	3
	12							
77	111	94	205	6	2	8	18	3
	6							
72	116	100	216	7	2	9	22	3
	7							
62	87	93	180	6	1	7	17	2
	6							
5	8	0	8	3	0	3	7	1
	3							
177	251	250	501	13	3	16	31	3
	13							
36	54	59	113	3	2	5	12	2
	3							
109	159	162	321	9	2	11	22	2
	9							
191	286	244	530	15	2	17	33	3
	15							
6	9	8	17	3	1	4	11	0
	3							
1,099	1,624	1,526	3,150	94	22	116	246	28
	94							

（平成３０年５月１日現在）

	計				教　員　数
	男	女	計		
	27	24	51		4
	2				
	26	25	51		4
	2				
	53	49	102		8
	4				

学　校　等　一　覧

幼 稚 園

園　名	所　在　地	電 話 （ＦＡＸ）	園　長　氏　名
王　子	王子町２番２号	32-4815 (32-4815)	小　野　美　恵　子
神　郷	郷三丁目８番 16 号	45-0170 (45-0170)	木　下　直　子
合　計			

小 学 校

学　校　名	所　在　地	電 話 （ＦＡＸ）	校 長 氏 名	教 頭 氏 名
新　居　浜	新須賀町三丁目１番 58 号	37-3061 (37-3062)	篠　原　直　樹	山　﨑　雄　史
宮　西	宮西町５番 56 号	33-8940 (33-8941)	星　川　孝　徳	川　﨑　文　一
金　子	久保田町一丁目３番 57 号	37-2221 (37-2302)	中　野　久	山　本　千　明
金　栄	西の土居町一丁目５番１号	37-2313 (37-2120)	今　村　信	篠　﨑　孝
高　津	宇高町二丁目 13 番７号	37-3754 (37-3854)	荒　井　正　隆	近 藤 美 智 男
浮　島	八幡二丁目２番 65 号	33-1020 (33-1021)	髙 須 賀　哲	森　田　典　子
惣　開	王子町１番３号	37-3401 (37-3402)	井　上　美　樹	畑　野　一　恵
垣　生	垣生一丁目５番 38 号	45-0186 (45-0195)	永　井　和　弘	井　川　昭　二
神　郷	神郷一丁目１番１号	45-0082 (45-0493)	髙 須 賀　洋	小　野　英　雄
多　喜　浜	多喜浜五丁目７番 34 号	45-0142 (45-0035)	永 井 奈 保 子	曽　我　亨
泉　川	岸の上町一丁目 13 番 68 号	43-4145 (43-4146)	西　原　泰　介	青　野　浩　之
船　木	船木 4299 番地の１	41-6260 (41-6362)	菅　知　子	青　野　俊　児
わかば分教室	船木甲 2971 番地の１	31-7645 (31-7646)		
中　萩	中萩町６番 61 号	41-6225 (41-6265)	横　井　敏　行	加　藤　茂　樹
大　生　院	大生院 1070 番地の１	41-6627 (41-6694)	福　岡　靖　二	秦　竜　吾
角　野	中筋町二丁目７番 10 号	43-7141 (43-7142)	濱　田　英　稔	岸　泰　典
別　子	別子山甲 358 番地	64-2117 (64-2321)	別子中と兼務	別子中と兼務
合　計				

※　大島小学校……H25.3.31 廃校

※　若宮小学校……H30.3.31 廃校

（平成30年５月１日現在）

教室数		園舎面積	校地面積			遊戯場面積	プール水面積
普通	特別		運動場	その他	計		
5	—	1,237	1,008	1,130	2,138	185	37
3	—	965	1,037	1,705	2,742	144	29
8	—	2,202	2,045	2,835	4,880	329	66

（平成30年５月１日現在）

教室数		校舎面積	校地面積			屋内運動場面積	プール水面積
普通	特別		運動場	その他	計		
9	12	3,757	10,990	7,154	18,144	831	375
12	8	3,795	11,274	10,274	21,548	807	425
24	9	5,640	10,358	10,852	21,210	1,033	425
16	10	3,616	14,565	7,001	21,566	919	425
27	21	6,706	9,664	13,325	22,989	1,196	475
10	10	3,434	8,591	9,449	18,040	807	400
15	11	4,088	8,010	12,235	20,245	807	425
14	9	2,778	7,646	4,884	12,530	807	425
22	15	5,560	9,400	8,283	17,683	894	400
7	12	2,944	6,664	7,138	13,802	919	400
22	18	6,181	12,800	10,197	22,997	1,023	475
16	12	3,975	9,811	9,034	18,845	807	400
0	—	—	—	—	—	—	—
33	15	7,669	10,383	16,268	26,651	1,239	425
14	9	3,087	9,537	7,095	16,632	807	425
25	15	6,137	15,797	13,079	28,876	1,033	425
2	0	58	2,899	500	3,399	551	—
268	186	69,425	158,389	146,768	305,157	14,480	6,325

中 学 校

学 校 名	所 在 地	電 話 （ＦＡＸ）	校長氏名	教頭氏名
東	東雲町一丁目４番 23 号	37-1294 (37-1038)	神 野 剛	守 谷 憲 二
西	江口町７番１号	37-2021 (37-2023)	河 合 秀 和	鴨 田 洋 吾
南	庄内町二丁目４番 47 号	37-0310 (37-5392)	山 田 浩 司	近 藤 栄 一
北	宮西町５番 81 号	33-9135 (33-9136)	小笠原 忠 彦	藤 原 正 治
泉 川	星原町７番８号	43-5800 (43-5821)	稲 見 武 仁	篠 原 和 彦
船 木	船木甲 3754 番地の１	41-6347 (41-6364)	神 野 康 一	古 見 総 一 郎
船 木 ひびき分校	船木甲 2971 番地の１	31-7645 (31-7646)		縄 村 俊 邦
中 萩	中萩町 13 番 31 号	43-5131 (43-5132)	高 橋 良 光	大 西 誠
大 生 院	大生院 1070 番地の２	41-6927 (41-6229)	森 正 男	丸 山 泰 浩
角 野	宮原町 11 番 51 号	43-6108 (43-6109)	大久保 浩	神 尾 宏 之
川 東	神郷二丁目４番１号	45-0180 (45-0144)	佐々木 篤 志	河 村 公 寿
別 子	別子山甲 358 番地	64-2115 (64-2321)	上 林 正 佳	近 藤 鈴 代
合 計				

（平成 30 年５月１日現在）

教室数		校舎面積	校地面積			屋内運動場面積	プール水面積
普通	特別		運動場	その他	計		
14	14	4,533	10,200	6,596	16,796	1,388	400
8	14	4,830	13,504	11,456	24,960	816	400
14	13	4,731	12,699	7,811	20,510	981	375
8	13	4,005	15,880	9,628	25,508	1,138	425
9	19	4,256	14,451	6,942	21,393	981	425
7	12	3,401	10,679	11,108	21,787	1,014	400
3	9	1,036	6,171	1,681	7,852	428	150
16	18	4,865	16,838	11,641	28,479	1,031	425
5	15	3,210	8,987	6,299	15,286	830	－
11	15	4,814	10,934	11,018	21,952	1,031	375
17	19	5,768	13,997	20,673	34,670	1,055	400
4	6	856	881	882	1,763	145	－
116	167	46,305	135,221	105,735	240,956	10,838	3,775

放課後児童クラブ一覧表

（平成 30 年５月１日現在）

クラブ名称	設置場所	クラブ名称	設置場所
たねっこクラブ１	高津小学校	あひるクラブ１	神郷小学校
たねっこクラブ２	同上	あひるクラブ２	同上
ひかりクラブ１	中萩小学校	すみれクラブ	宮西小学校
ひかりクラブ２	同上	ひまわりクラブ	垣生小学校
ひかりクラブ３	同上	のぞみクラブ	惣開小学校
なかよしクラブ	新居浜小学校	あじさいクラブ	多喜浜小学校
たんぽぽクラブ１	金栄小学校	ぱんだクラブ１	泉川小学校
たんぽぽクラブ２	同上	ぱんだクラブ２	同上
こばとクラブ１	角野小学校	かがやきクラブ１	金子小学校
こばとクラブ２	同上	かがやきクラブ２	同上
こばとクラブ３	同上	きりんクラブ	上部児童センター
うずいクラブ	大生院小学校	ぴかっこクラブ	川東児童センター
かぶとクラブ１	船木小学校	ともだちパーク	コミュニティハウス三恵
かぶとクラブ２	同上		

通　学　区　域

小学校名	通　学　区　域
新居浜	大江町、港町、若水町一丁目、若水町二丁目、菊本町一丁目、菊本町二丁目、新須賀町一丁目、新須賀町二丁目、新須賀町三丁目、新須賀町四丁目
宮西	西町、中須賀町一丁目、中須賀町二丁目、西原町一丁目、西原町二丁目、西原町三丁目、泉池町、泉宮町、宮西町、徳常町、繁本町
金子	一宮町一丁目、一宮町二丁目、久保田町一丁目、久保田町二丁目、久保田町三丁目（１番から９番まで）、八雲町、平形町、田所町、庄内町一丁目、庄内町二丁目、庄内町三丁目、庄内町四丁目（１番から３番まで、５番 30 号から 39 号まで）、庄内町五丁目、庄内町六丁目、江口町（１番から３番まで、５番、６番、８番から 17 番まで）、北新町（１番、２番、４番、５番）、城下町（１番から６番まで）
金栄	滝の宮町、西の土居町一丁目、西の土居町二丁目（１番から７番まで、９番から 17 番まで）、高木町、政枝町一丁目、政枝町二丁目、政枝町三丁目、久保田町三丁目（10 番、11 番）、庄内町四丁目（４番、５番（金子小学校の区域を除く。）、６番、７番）、坂井町一丁目、坂井町二丁目、金子丙（１番地から 30 番地まで）
高津	宇高町一丁目、宇高町二丁目、宇高町三丁目、宇高町五丁目（１番から９番まで、12 番、13 番）、沢津町一丁目、沢津町二丁目、沢津町三丁目、東雲町一丁目、東雲町二丁目、東雲町三丁目（１番から８番まで）、松の木町（１番）、高津町、清水町、南小松原町、桜木町、郷一丁目（１番、７番）、郷五丁目（２番）、高田二丁目（１番、６番）、田の上四丁目（６番から９番まで）
浮島	松の木町（２番から 13 番まで）、宇高町四丁目、宇高町五丁目（10 番、11 番、14 番、15 番）、垣生六丁目（１番、15 番）、八幡一丁目（９番から 21 番まで）、八幡二丁目、八幡三丁目（１番、４番４号から 18 号まで・36 号・40 号・43 号、５番から８番まで、９番３号・39 号から 54 号まで、10 番 38 号から 48 号まで）
惣開	星越町、前田町、王子町、河内町、北新町（３番、６番から 13 番まで）、西の土居町二丁目（８番）、磯浦町、江口町（４番、７番、18 番）、金子丙（金栄小学校の区域を除く。）、惣開町、新田町一丁目、新田町二丁目、新田町三丁目、新居浜乙
垣生	垣生一丁目、垣生二丁目、垣生三丁目、垣生四丁目、垣生五丁目、垣生六丁目（２番から 14 番まで）、八幡一丁目（１番から８番まで）、八幡三丁目（２番、３番、４番（浮島小学校の区域を除く。）、９番（浮島小学校の区域を除く。）、10 番（浮島小学校の区域を除く。））、長岩町、垣生
神郷	郷一丁目（２番から６番まで、８番から 16 番まで）、郷二丁目、郷三丁目、郷四丁目、郷五丁目（１番、３番から９番まで）、東雲町三丁目（９番）、清住町、落神町、又野一丁目、又野二丁目、又野三丁目、高田一丁目、高田二丁目（２番から５番まで）、田の上一丁目、田の上二丁目、田の上三丁目、田の上四丁目（１番から５番まで、10 番から 12 番まで）、松神子一丁目、松神子二丁目、松神子三丁目、松神子四丁目、神郷一丁目、神郷二丁目、楠崎一丁目（１番、３番、４番 33 号から 46 号まで・60 号から 62 号まで・65 号・66 号、５番から８番まで）、楠崎二丁目、多喜浜一丁目（８番１号から 16 号まで・56 号から 89 号まで）、多喜浜四丁目（８番１号から 11 号まで・28 号から 53 号まで、９番、10 番）、多喜浜五丁目（10 番１号から８号まで）、郷、郷乙
多喜浜	楠崎一丁目（２番、４番（神郷小学校の区域を除く。））、多喜浜一丁目（１番から７番まで、８番（神郷小学校の区域を除く。）、９番、10 番）、多喜浜二丁目、多喜浜三丁目、多喜浜四丁目（１番から７番まで、８番（神郷小学校の区域を除く。）、11 番、12 番）、多喜浜五丁目（１番から９番まで、10 番（神郷小学校の区域を除く。）、11 番、12 番）、多喜浜六丁目、阿島一丁目、阿島二丁目、阿島三丁目、阿島四丁目、阿島、荷内町、黒島一丁目、黒島二丁目、黒島、大島

小学校名	通　　学　　区　　域
泉　　川	松木町、西喜光地町、喜光地町一丁目、松原町、坂井町三丁目、瀬戸町、寿町、星原町、上泉町、外山町、岸の上町一丁目、岸の上町二丁目、城下町（７番）、下泉町一丁目、下泉町二丁目、観音原町、東田一丁目、東田二丁目、東田三丁目、国領一丁目、光明寺一丁目、光明寺二丁目
船　　木	船木、七宝台町
中　　萩	萩生、横水町、本郷一丁目、本郷二丁目、本郷三丁目、中萩町、上原一丁目、上原二丁目、上原三丁目、上原四丁目、中村一丁目、中村二丁目（１番から15番まで）、中村三丁目（３番から11番まで）、中村四丁目（３番から９番まで、11番、15番から18番まで）、御蔵町（２番、３番）、中村松木一丁目、中村松木二丁目、土橋一丁目、土橋二丁目（１番から10番まで、13番、14番）、大永山（出口、小味池）
大 生 院	大生院
角　　野	土橋二丁目（11番、12番、15番から17番まで）、中村二丁目（16番）、中村三丁目（１番、２番）、中村四丁目（１番、２番、10番、12番から14番まで）、御蔵町（１番、４番から13番まで）、喜光地町二丁目、西泉町、西連寺町一丁目、西連寺町二丁目、篠場町、山田町、山根町、中西町、宮原町、中筋町一丁目、中筋町二丁目、北内町一丁目、北内町二丁目、北内町三丁目、北内町四丁目、吉岡町、角野新田町一丁目、角野新田町二丁目、角野新田町三丁目、種子川町、角野、大永山（出口・小味池を除く。）、立川町、種子川山
別　　子	別子山

中学校名	通　　学　　区　　域
東	高津小学校区、松の木町、宇高町四丁目
西	惣開小学校区、江口町、北新町
南	金子小学校区（北中学校区、西中学校区を除く。）、金栄小学校区
北	新居浜小学校区、宮西小学校区、一宮町二丁目（２番18号から42号まで・100号から末号まで、３番から５番まで、６番32号から67号まで・100号から末号まで）
泉　　川	泉川小学校区
船　　木	船木小学校区
中　　萩	中萩小学校区
大 生 院	大生院小学校区
角　　野	角野小学校区
川　　東	垣生小学校区、神郷小学校区、多喜浜小学校区、浮島小学校区（東中学校区を除く。）
別　　子	別子小学校区

園児・児童・生徒数の推移（平成２５～３４年度）

（毎年度５月１日現在）

学校＼年度	25	26	27	28	29	30	31（見込）	32（見込）	33（見込）	34（見込）
新居浜小学校	234	215	218	204	218	212	198	190	195	191
宮西小学校	260	248	243	235	223	227	233	232	219	226
金子小学校	681	673	649	624	644	624	651	643	642	639
金栄小学校	351	334	346	382	388	385	408	411	402	393
高津小学校	722	725	706	706	698	679	657	622	612	579
浮島小学校	110	107	112	117	119	130	141	148	158	158
惣開小学校	300	301	302	319	317	345	346	349	359	370
若宮小学校	83	78	66	51	37	－	－	－	－	－
垣生小学校	272	284	285	266	270	263	254	250	253	235
神郷小学校	548	565	582	579	572	564	561	544	525	506
多喜浜小学校	196	164	158	142	133	137	132	140	126	137
大島小学校	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
泉川小学校	485	505	505	515	545	572	585	595	601	625
船木小学校	384	366	362	363	362	367	380	364	350	321
中萩小学校	1,000	973	977	943	941	921	910	888	885	856
大生院小学校	242	241	249	253	263	257	243	239	231	213
角野小学校	649	653	653	646	647	642	631	623	606	587
別子小学校	2	3	4	3	3	4	4	4	6	6
小学校計	**6,519**	**6,435**	**6,417**	**6,348**	**6,380**	**6,329**	**6,334**	**6,242**	**6,170**	**6,042**
東中学校	397	400	415	410	409	380	373	371	367	352
西中学校	302	294	271	258	234	226	207	194	177	186
南中学校	467	459	458	444	450	453	437	470	478	526
北中学校	244	255	233	246	215	205	203	209	224	217
泉川中学校	265	254	255	243	244	216	238	260	302	283
船木中学校	211	218	208	198	174	180	164	177	176	191
船木中学校ひびき分校	6	9	5	10	10	8	0	0	0	0
中萩中学校	551	543	514	517	491	501	480	505	506	514
大生院中学校	146	141	142	127	112	113	113	117	115	120
角野中学校	329	330	313	309	320	321	317	313	315	319
川東中学校	543	569	550	545	518	530	536	550	574	564
別子中学校	0	1	1	8	12	17	17	16	16	16
中学校計	**3,461**	**3,473**	**3,365**	**3,315**	**3,189**	**3,150**	**3,085**	**3,182**	**3,250**	**3,288**
王子幼稚園	120	120	104	86	54	51	－	－	－	－
神郷幼稚園	79	71	61	64	56	51	－	－	－	－
幼稚園計	**199**	**191**	**165**	**150**	**110**	**102**	－	－	－	－

※大島小学校……H25.3.31 廃校　若宮小学校…H30.3.31 廃校

中学校卒業者の進路状況

（　）卒業者に対する百分率

	卒業者数	進学者数	就職者数			公共職業能力開発施設等入学者	その他自己就職家事手伝等
			県内	県外	総数		
29	1,051	1,030 (98.0)	10 (1.0)	0 (0.0)	10 (1.0)	0 (0.0)	11 (1.0)
28	1,157	1,124 (97.1)	11 (1.0)	0 (0.0)	11 (1.0)	0 (0.0)	22 (1.9)
27	1,147	1,128 (98.3)	7 (0.6)	0 (0.0)	7 (0.6)	0 (0.0)	12 (1.0)
26	1,177	1,152 (97.9)	13 (1.1)	0 (0.0)	13 (1.1)	0 (0.0)	12 (1.0)
25	1,153	1,129 (97.9)	7 (0.6)	2 (0.2)	9 (0.8)	0 (0.0)	15 (1.3)
24	1,200	1,179 (98.3)	9 (0.8)	0 (0.0)	9 (0.8)	0 (0.0)	12 (1.0)
23	1,194	1,166 (97.7)	15 (1.3)	0 (0.0)	15 (1.3)	0 (0.0)	13 (1.1)
22	1,123	1,096 (97.6)	12 (1.1)	0 (0.0)	12 (1.1)	3 (0.3)	12 (1.1)
21	1,163	1,121 (96.4)	24 (2.1)	0 (0.0)	24 (2.1)	2 (0.2)	16 (1.4)
20	1,093	1,067 (97.6)	11 (1.0)	0 (0.0)	11 (1.0)	1 (0.1)	14 (1.3)
19	1,131	1,101 (97.3)	15 (1.3)	0 (0.0)	15 (1.3)	1 (0.1)	14 (1.2)
18	1,138	1,101 (96.7)	16 (1.4)	0 (0.0)	16 (1.4)	3 (0.3)	18 (1.6)
17	1,139	1,106 (97.1)	13 (1.1)	0 (0.0)	13 (1.1)	2 (0.2)	18 (1.6)
16	1,231	1,194 (97.0)	5 (0.4)	0 (0.0)	5 (0.4)	2 (0.2)	30 (2.4)
15	1,274	1,235 (96.9)	1 (0.1)	0 (0.0)	1 (0.1)	1 (0.1)	37 (2.9)
14	1,319	1,274 (96.6)	3 (0.2)	0 (0.0)	3 (0.2)	0 (0.0)	42 (3.2)
13	1,376	1,321 (96.0)	2 (0.1)	0 (0.0)	2 (0.1)	1 (0.1)	52 (3.8)
12	1,410	1,362 (96.6)	4 (0.3)	1 (0.1)	5 (0.4)	1 (0.1)	42 (3.0)
11	1,469	1,429 (97.3)	9 (0.6)	0 (0.0)	9 (0.6)	1 (0.1)	30 (2.0)
10	1,473	1,428 (96.9)	5 (0.3)	0 (0.0)	5 (0.3)	0 (0.0)	40 (2.7)

※平成 28 年度については、定時制・通信制高等学校への進学と同時に就職している者は就職者数に計上する。（対象生徒２名）（学校基本調査による）

発　達　支　援　課

第１　最重要課題

障がいや発達課題のある子どもへの生涯にわたる一貫した支援

第２　重点事項（取組方針）

１　早期からの発達支援体制の再構築

（１）保育園・幼稚園への巡回相談の充実

ア　29 年度神郷幼稚園をモデル園として実施した支援方策を検証し、一番身近な保育現場においてできる「気になる子」への支援を図る。

イ　保護者の育児不安や親としての関わり方等について、助言を行う。

（２）こども発達支援センターにおける早期療育通園事業の拡充

発達に課題のある幼児に対し、必要な療育を十分に提供できる体制をつくる。

２　発達に課題のある子を持つ保護者への支援機会の充実

（１）各種相談による保護者支援の実施

保護者の困っていることについて、総合相談、教育相談等を周知し、解消に努める。

（２）早期療育通園事業「育ちの教室・ことばの教室」通所幼児保護者支援の充実

ア　子どもの行動についての適切なほめ方など、子どもへの関わり方について、学ぶ機会（ペアレントトレーニング）を設定する。

イ　子育てについて、同じ悩みを持つ保護者同士の話し合いの機会を充実する。

ウ　家庭における子どもとの関わり方について、育児経験者との意見交換会の場を設定する。

３　学習指導要領改訂に伴う自立活動の充実

（１）自立活動の意義の確認

ア　自立活動の意義の周知を図る。

イ　特別支援学級や通級による指導において、自立活動の教育課程上の位置付けを明確にする。

ウ　通常の学級におけるすべての児童生徒に対して、自己実現を目指し個に応じた指導の充実を図る。

（２）自立活動の指導の充実

ア　特別支援学級担任や通級指導担当者のアセスメント力の向上を図る。

イ　個別の教育支援計画、個別の指導計画を作成し、効果的に活用する。

ウ　発達段階を踏まえた自立活動の改善・充実を図るため、指導方法等について特別支援教育コーディネーター研修会で研修を実施する。

エ　各種検査の結果を参考に、個に合った支援を行う。

（３）合理的配慮とのかかわり

ア　幼児・児童・生徒が、困難な状況を認識し、困難を改善・克服し、生き生きと学び生活するために必要となる知識、技能、態度及び習慣を身に付ける。

イ　自己が活動しやすいように主体的に環境や状況を整える態度が養えるよう、具体的な指導内容を設定し指導する。

４　小・中学校通級指導教室の利用促進

28～29 年度文部科学省事業「通級による指導担当教員等専門性充実事業」の研究に基づき、通級指導教室における指導の充実を図る。

（１）通級による指導の意義の確認

すべての教員が通級による指導の意義や基本的な考え方を理解する。

（２）通級による指導の指導方法・内容の充実

ア　通級指導担当者のアセスメント力や指導力の強化・充実を図る。

イ　一人一人の課題に応じて、通級による指導の開始、終了、指導目標及び具体的な指導内容を明確にする。

ウ　通級指導担当者と在籍学級担任との連携を深め、指導方法・内容についての共有を図る。
エ　本人、保護者、通級指導教室担当者、在籍学級担任による評価を行い、学習したことが実践に結びついているか確認する。

５　障がい者理解及び特別支援教育の啓発の実施とすべての教職員等の専門性の向上

（１）障がい者理解教育をESD（持続可能な開発のための教育）教育の柱とする。
（２）特別支援教育、発達支援に関する各種研修会を開催し、障がいや発達に課題のある幼児、児童及び生徒の理解を深めるとともに、学校や園全体としてインクルーシブ教育システムの構築のための取り組みの充実を図る。
（３）特別支援教育に関する講演会等の開催や障がい者理解促進のため、ホームページの充実や広報誌等により啓発や市民周知を図る。
（４）「発達障がい支援者のための実践セミナー」公開講座への出席を促す。

第３　主な事業

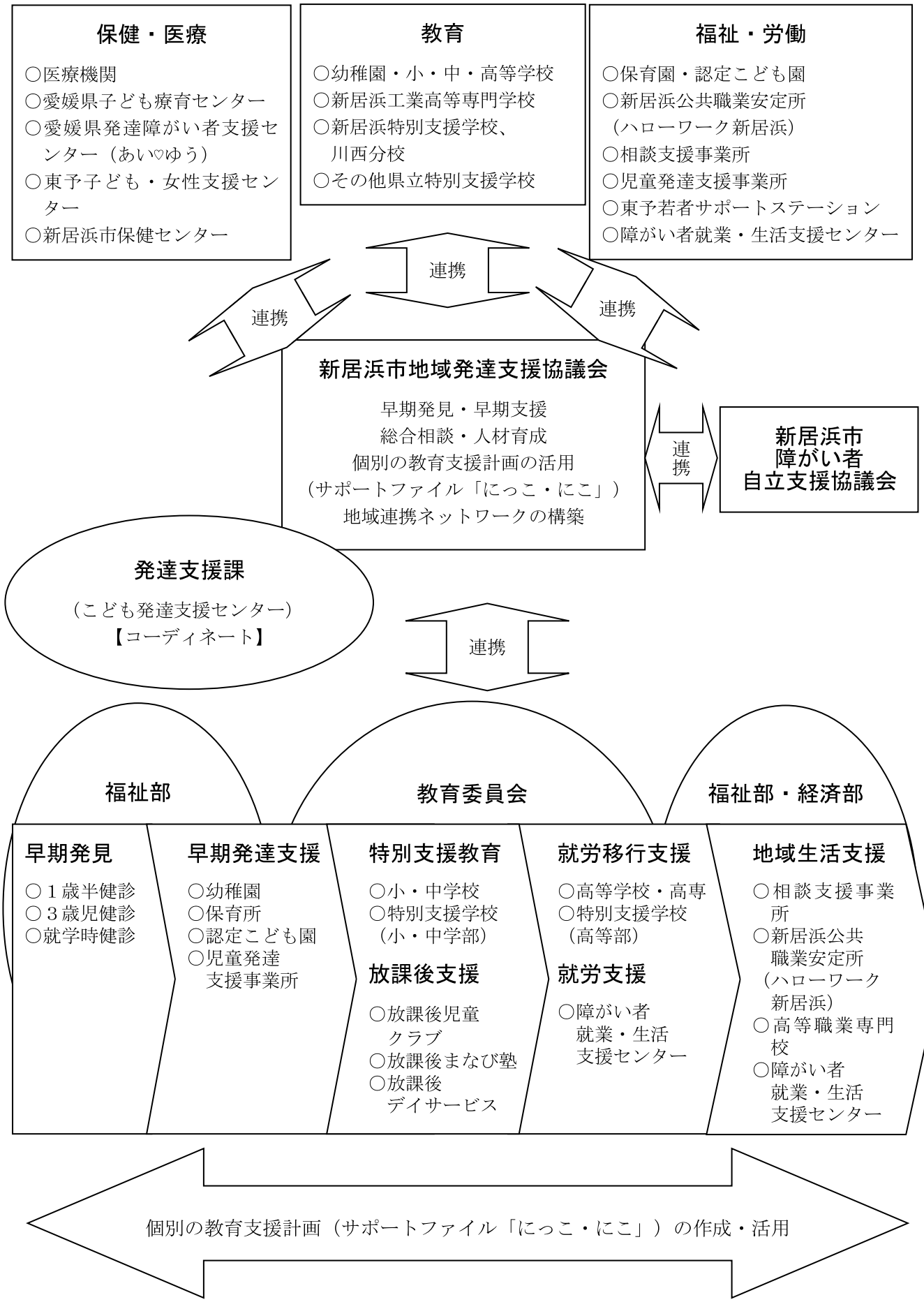
１　発達支援教育充実費（ 24,161 千円）

（１）研修事業　　・・・各種研修会開催、職員派遣
（２）相談事業　　・・・巡回相談、発達検査
（３）地域療育事業・・・早期療育指導員報酬、療育事業講師、ＳＳＴ支援事業

２　小学校特別支援教育充実費（104,269 千円）

学校支援員（14 人）、学校生活介助員

発達支援システムイメージ図



学　校　給　食　課

第１　最重要課題

子どもたちの健康を守るとともに、安全で喜ばれる給食づくり

第２　重点事項（取組方針）

１　食育の推進

成長期にある児童生徒の、食に関する正しい理解と、適切な判断力を養うため、安全で栄養バランスのとれた学校給食を「生きた教材」として活用し、正しい食習慣を身に付けるための指導を行う。

（１）栄養バランスのとれた給食の提供に努める。

（２）校内放送や各種資料等を活用し、児童生徒に対する指導を行うとともに、栄養バランスのとれた献立づくりを家庭に普及する。

（３）安全性を最優先した食物アレルギー対応に努める。

（４）バイキング給食、マナー給食等、特別給食の実施に努める。

（５）郷土料理等、地元の特徴を生かした給食の実施に努める。

（６）地元産物の活用に努める。

２　衛生管理の向上・安全保持

安全で安心な学校給食実施のため、食中毒予防対策、異物混入対策等の徹底を図り、衛生管理の向上・安全保持に努める。

（１）各調理場の施設設備の衛生面、安全性を重視した修繕、更新を図る。

（２）各調理場において、ネズミ・害虫等の防除を図る。

（３）学校給食研修会、調理場訪問衛生研修会等、衛生管理徹底のための研修の充実を図る。

３　給食施設設備の整備・更新

本市の給食施設は、小学校調理場の老朽化が進んおり、平成 29 年度に策定した学校給食施設整備基本計画に基づき、小学校調理場の整備に着手する。また、平成 13 年度に設置した学校給食センターも、順次調理機器の更新が必要な時期にきていることから、計画的な整備・更新を図る。

４　学校給食費の適正化等

本市の学校給食費は、平成 21 年度の改定以降、消費税率の改定や原材料費の価格上昇に伴い、安全安心で栄養バランスの取れた給食の維持のため、適正価格の検討を進める時期にきている。また、引き続き、多子世帯の経済的負担の緩和や、公平性の観点から未納解消に取り組む必要がある。

（１）学校給食費の見直しに取り組む。

（２）学校給食多子世帯支援事業を実施する。

（３）法的措置も含め、給食費の未納解消に取り組む。

第３　施設状況

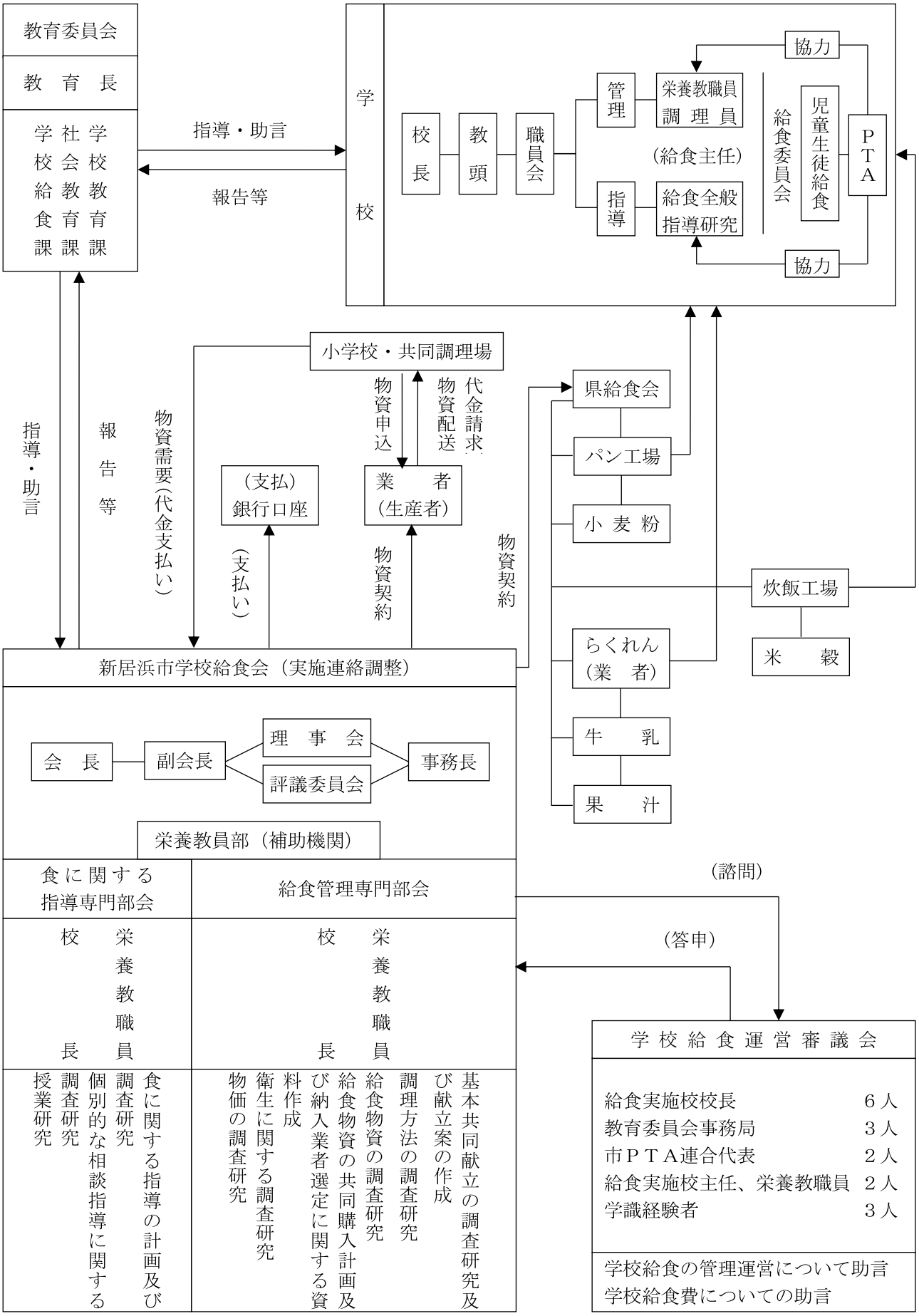
施　設　名	所　在　地	建設年月	構　　造	敷地面積	建物面積	電　話	所(場)長氏名
学校給食センター	瀬戸町 12 番 38 号	平成 13.3	鉄骨造２階建　外	4,597 ㎡	(本体) 2,232 ㎡ (その他) 84 ㎡	31-7470	安藤寛和
高津共同調理場	宇高町二丁目 13 番７号	昭和 57.2	鉄筋コンクリート造 陸屋根平屋建　外 (平成 10.8 増築)	―	(本体) 260 ㎡ (その他) 12 ㎡	37-3797	飯尾規彦

※ 小学校給食室省略

〔対象校〕　学校給食センター　西中・南中・北中・泉川中・船木中・中萩中・角野中・川東中
愛媛県立新居浜特別支援学校（本校・川西分校）・泉川小（米飯のみ）

高津共同調理場　高津小学校・東中学校

学　校　給　食　運　営　組　織　図


教育委員会
教　育　長
学校給食課
社会教育課
学校教育課
指導・助言
報告等
学校
校長
教頭
職員会
管理
栄養教職員
調理員
（給食主任）
指導
給食全般
指導研究
給食委員会
児童生徒給食
ＰＴＡ
協力
協力
小学校・共同調理場
物資申込
物資配送
代金請求
（支払）
銀行口座
業　者
（生産者）
（支払い）
物資契約
物資需要（代金支払い）
報告等
指導・助言
県給食会
パン工場
小麦粉
炊飯工場
米　穀
らくれん
（業　者）
牛　乳
果　汁
新居浜市学校給食会（実施連絡調整）
会　長
副会長
理　事　会
評議委員会
事務長
栄養教員部（補助機関）
食に関する指導専門部会
給食管理専門部会
（諮問）
（答申）
校長　栄養教職員
食に関する指導の計画及び調査研究
個別的な相談指導に関する調査研究
授業研究
校長　栄養教職員
基本共同献立の調査研究及び献立案の作成
調理方法の調査研究
給食物資の調査研究
給食物資の共同購入計画及び納入業者選定に関する資料作成
衛生に関する調査研究
物価の調査研究
学校給食運営審議会
給食実施校校長　６人
教育委員会事務局　３人
市ＰＴＡ連合代表　２人
給食実施校主任、栄養教職員　２人
学識経験者　３人
学校給食の管理運営について助言
学校給食費についての助言

新 居 浜 市 学 校 給 食 の 推 移

年度	給食の形態			1食当たり給食費(円)	献立等	購入
	ミルク給食	還元牛乳	完全給食			
S22	市内全小学校					
23～			小1校			
25			小2校			
26～			小4校	15	各校単独献立	各校単独購入
31			小5校			
32			小6校		栄養職員1名で立案	
33			小7校		市教委栄養職員指導	
34			小8校		各校へ栄養職員配置	準共同購入（乾物・砂糖のみ）
35			小12校			
36			小13校			
37～		市内全小中学校	小16校・中2校	25		
39				30		
40						（卵追加）
41～				40	準共同献立	
43				46	完全共同献立	
44						完全共同購入
45			小16校・中1校	55		
46		10月より牛乳		65		
47			小17校・中1校	70		
48				85		
49～				130	11月栄養職員県費切替	
51				150	米飯週1回実施	
52		9月より紙容器	改築（小学校）：金子、船木			
53			泉川、垣生			
54			宮西、金栄、浮島、大生院	160	4月から10月ジュース実施	
55			神郷、惣開、多喜浜		2学期から米飯週2回実施	
56～			高津	180	全校へ「おはし」導入	
58			若宮			
59			角野、中萩		ジュース5、6、7、9月実施	
60					2学期から米飯週2.5回実施	
61～			新居浜			
H1					学校給食地域農産物等活用モデル指定校（神郷小）	
2				小200 中220	米飯週3回実施 学校給食情報ネットワーク化事業モデル校（大生院小）	
3					給食用食器強化磁器導入（惣開小）	
4					学校給食地域農産物等活用モデル指定校（角野小）	
5					〃	
6～				小220 中260		
10			小17校・中2校		高津共同調理場設置	
11						
12						
13			小17校・中10校		地元産米の使用 学校給食センター設置	
14						
15			小18校・中11校		別子小中学校を追加（合併）	
16～						
21				21.9 小240 中280		
22					別子小中学校調理場改修	
23					地元産米を地元業者納入	
24						
25～			小17校・中11校		大島小学校廃校	
30			小15校・中10校		若宮小学校閉校 別子小・中学校の学校給食が寮給食に移行	

※平成25年度～大島小学校廃校、平成29年度末～若宮小学校閉校、平成30年度～別子小中学校寮給食に移行

ス　ポ　ー　ツ　振　興　課

第１　最重要課題

国体レガシーを活かしたスポーツまちづくり

第２　重点事項（取組方針）

１　えひめ国体のレガシーを活かしたスポーツの振興

（１）運動部活動競技力向上事業の拡充
　ア　えひめ国体市内競技種目（セーリング）のトップアスリート事業を実施
（２）２０２０東京オリンピック事前合宿の誘致活動
　ア　外国ウエイトリフティング・ナショナルチームの誘致活動を継続
　イ　重量挙練習場の移設整備を検討
（３）スポーツ大会の誘致
　ア　市外からの選手、チームが数多く参加するスポーツ大会開催への支援
　イ　中国・四国地区小学生男女ソフトボール交歓大会への支援

２　競技力向上で魅力あるスポーツまちづくり

（１）市内のジュニア、中学生、高校生の競技力向上
　ア　全国大会出場を目指す学校スポーツ活性化事業の継続
　　（ウエイトリフティング、バスケットボール、バドミントン、陸上競技、ヨット）
　イ　学校トップアスリート事業の実施
　　（サッカー、セーリング、バスケットボール、バドミントン、野球、陸上競技）
　ウ　青少年育成スポーツ活動事業への支援
　　（サッカー、ソフトボール、バレーボール、ミニバスケットボール）

３　市民のスポーツ活動への支援

（１）市内の各団体等が主催する市民スポーツ活動への支援
　ア　知的障がい者のスポーツプログラム実践事業
　イ　わんぱく相撲にいはま場所
　ウ　第２１回中国・四国地区小学生男女ソフトボール交歓大会
　エ　新居浜市駅伝競走大会
（２）全国大会・国際大会出場者等へ奨励金支出による支援
（３）スポーツ大会開催支援奨励金支出による規模の大きいスポーツ大会の誘致

４　体育施設の整備及び管理の将来設計

（１）市内体育施設の拡充と維持管理
　ア　市民体育館への空調設備導入に向けて基本設計、実施設計を策定
　イ　既存施設の充実（機能向上）と機能維持
（２）総合運動公園構想実現に向けての取り組み
　ア　市長事務部局（企画部・建設部）との連携強化
　イ　基本計画策定に向けた取り組み

５　スポーツによる新居浜の活性化

（１）市民体育の充実・強化
　ア　新居浜市民体育祭等の開催と新居浜市スポーツ協会への支援
　イ　新居浜市民マラソン大会（あかがねマラソン）の開催
　ウ　総合型地域スポーツクラブ設立に向けての検討
　エ　市民体育祭総合開会式の改善に向けた取り組み

（２）愛媛県事業や地元プロスポーツチームと連携したスポーツまちづくり

ア　愛・野球博事業への協力・支援

イ　地元プロスポーツチームと連携したスポーツに親しむ、楽しむ機会の提供

（ア）愛媛マンダリン・パイレーツ（野球）

（イ）愛媛ＦＣ（サッカー）

（ウ）愛媛オレンジ・バイキングス（バスケットボール）

６　『新居浜市スポーツ推進計画』の中間評価への取り組み

（１）『新居浜市スポーツ推進計画』の中間評価

ア　平成26年から平成33年までの計画期間である『新居浜市スポーツ推進計画』について、中間年である平成30年度中に中間評価を行う。

第３ 主な事業

１　学校スポーツ活性化事業（4,500千円）

市内にある高等学校及び高等専門学校の運動部の競技力の向上を図り、全国大会出場が狙えるようなレベルに引き上げることを目的とし、新居浜市といえば○○（○○は競技名）という市のイメージを創生するとともに、市内の中学生にとって魅力ある高等学校運動部づくりを目指す。

※平成30年度

【東高校】 バドミントン、陸上競技、ヨット

【南高校】 ウエイトリフティング

【工業高校】ウエイトリフティング

【商業高校】バスケットボール

２　運動部活動競技力向上事業（4,062千円）

市内の小中学生にとって魅力ある高等学校スポーツ部活動とすることを目指し、全国トップクラスの指導者を招聘し、市内の中学生と合同で指導を行うことで中高の連携を深め、市内高等学校スポーツ部活動のレベルアップを図る。さらに、中学校運動部活動も全国大会で活躍する選手の育成、強化にも結び付くトップアスリート事業と位置づけ、選手のみならず指導者の専門的な技術、知識の取得を目指す。

３　体育施設環境整備事業（51,249千円）

体育施設の利用環境の安全性を高めるため、老朽化により改修が必要な箇所を計画的に整備する。また、施設管理に必要な備品類を順次更新することにより、利便性の高い施設としての機能を維持していくとともに、市民体育館へ重量挙練習場の移設に取り組む。

４　市民体育館空調設備整備事業（16,103千円）

災害発生時の主要な避難所として、また、市民体育館の機能充実を図るため空調設備の整備に取り組む。

体育施設一覧表

施設名	所在地	建設年月	構造	敷地面積(㎡)	建物面積(㎡)	電話	管理者
市民体育館	東雲町一丁目 １番25号	昭和 52. 8	鉄筋コンクリート造 ３階建	4,863	6,163	34-1888	文化体育振興事業団
山根総合体育館	角野新田町 三丁目14番１号	昭和 62. 3	鉄筋コンクリート造 ２階建	5,358	3,252	43-2905	〃
多喜浜体育館	多喜浜四丁目 ３番７号	昭和 59. 3	鉄筋コンクリート造 ２階建	3,255	1,179	46-2466	〃
東雲市民プール	東雲町一丁目 １番13号	昭和 47. 6	鉄筋コンクリート造	10,744	524 水面積 2,872	32-3595	〃
山根公園屋内プール	角野新田町 三丁目14番２号	昭和 63. 9	鉄筋コンクリート造２階建プール棟は鉄骨造	7,400	1,527 水面積 395.5	43-1411	〃
別子山市民プール	別子山甲 333番地の１	昭和 57. 3	樹脂一部コンクリート造	1,430	200		別子校区連合自治会
市営野球場	新須賀町 三丁目２番54号	昭和 60. 7	鉄筋コンクリート造 ３階建　観覧席 本部ｽﾀﾝﾄﾞ2,090 内野ｽﾀﾝﾄﾞ3,400　外野ｽﾀﾝﾄﾞ3,010席	15,269	4,448	34-0518	文化体育振興事業団
武徳殿	徳常町４番６号	昭和 13.11	木造瓦葺平家建	2,362	584		〃
弓道場	徳常町４番15号	平成 5. 3	木造平家建	546	103		〃
重量挙練習場	徳常町４番６号	昭和 61. 2	鉄骨造平家建	297	228		〃
文化振興会館	徳常町４番８号	平成 5. 3	鉄筋コンクリート造 ３階建	456	993	36-0800	〃
山根市民グラウンド	角野新田町三丁目 2822番地の９			13,403			〃
別子山市民グラウンド	別子山乙 304番地の８	昭和 57. 3		1,470			別子校区連合自治会
市民テニスコート	庄内町二丁目地先及び南小松原町地先	昭和 59.10	クレーコート６面	6,600	80 コート 4,314	36-2071	文化体育振興事業団
		昭和 57. 3	全天候型ウレタンコート公式４面	4,000	コート 2,885	〃	〃
		平成 24.10	クレーコート 軟・硬両用３面	2,405	コート 1,855	〃	〃
		平成 24.10	全天候型人工芝６面	6,600	4,314	〃	〃
山根公園テニスコート	角野新田町 三丁目12番	平成 4. 3	全天候型人工芝６面 練習コート３面(壁打)	5,117	317 コート 5,117	43-2151	〃
東雲競技場	東雲町三丁目地先	平成 5. 3	全天候型300mトラック 及び投てき場	13,000	70		〃
市営サッカー場	観音原町乙 109番地	平成 11. 7	天然芝グラウンド２面 管理棟(鉄骨造平家建) 観覧席 東側500 西側500席	22,220	168	66-2522	〃

教育施設一覧表

施設名	所在地	建設年月	構造	敷地面積(㎡)	建物面積(㎡)	電話	管理者
銅山の里自然の家	立川町654番地の３	昭和 63. 7	木造コロニアル葺 ２階建外	8,776	1,446	32-1300	文化体育振興事業団

文　化　振　興　課

第１　最重要課題

豊かな感性を育む文化・芸術活動の推進と充実

第２　重点事項（取組方針）

１　文化力の向上

（１）文化芸術を体験する

ア　魅力的な展覧会、公演、イベントの実施

イ　身近な場所での芸術体験（アウトリーチ）を実施

ウ　あかがねミュージアム・文化センターでの各種講座の実施

（２）文化芸術を学ぶ

ア　あかがねミュージアム等での充実した教室・ワークショップの実施

イ　展覧会時の講演会やギャラリートークを充実

（３）文化芸術を発表する

ア　ワークショップや学んだことの成果を発表する場づくり

イ　春の市民文化祭や秋の市展での作品発表の場づくり

ウ　文化協会や県展など文化活動発表への支援

（４）人材の育成

ア　新居浜文化協会やあかがねミュージアムサポータークラブなど各種文化団体の活動を支援し育成していく。

イ　地域作家の展覧会を通して、文化芸術活動に関わる人材を育成する。

２　文化財の保存活用

（１）文化財の保存

ア　文化財を守り育てるため、指定文化財保存のための補助等を行う

イ　各地区の郷土芸能の保存継承事業に取り組む

（２）文化財の活用

ア　旧広瀬邸や新たに国指定名勝となった「旧広瀬氏庭園」を多くの方に利用してもらえるような企画や広報を進める。

イ　郷土資料室「ふるさとラボ」を活用し、新居浜について楽しく学ぶ場を作る。また、誰でも気軽に参加できる講座を夏休みなどに開催し、小中学生の利用を促進する。

３　施設の管理運営

（１）指定管理者と連携した施設の管理運営

ア　利用者の安心安全に配慮し、計画的な施設整備を実施する。

イ　事業計画に基づく施設の管理運営の実施

（２）広瀬歴史記念館

ア　開館後２０年を経過しているため、劣化した設備の計画的な改修に取り組む

イ　国指定名勝「旧広瀬氏庭園」及び国指定重要文化財「旧広瀬家住宅」の大規模改修に向けての整備計画づくり

（３）文化施設の魅力発信

インターネットを利用した施設の PR など積極的な広報を行い、入場者増を目指す。

４　文化振興のためのビジョンづくり

文化振興に関する施策を計画的に推進するための指針である文化振興計画の策定に取り組む。

第３ 主な事業

１　総合文化施設充実事業（20,548千円）

新居浜市美術館にて、企画展及び関連事業を開催する。

（１）没後50年中村研一展

（２）Hello,ONE PIECE ルフィーが町にやってくる

（３）新居浜の美術

（４）新居浜の郷土作品展（日野功洋画展）

２　文化施設環境整備事業（42,881 千円）

文化センターの計画的な整備を行い、利用環境の改善、利便性の向上を図る。

・中ホール緞帳等更新工事

・文化センター本館内自動火災受信機更新工事 等

３　日暮別邸移築記念特別企画展開催事業（24,735 千円）

四阪島日暮別邸の新居浜移築を記念し、泉屋博古館が所蔵する住友コレクションの中核をなす中国古銅器を別子銅山のある新居浜で初披露する。

文 化 施 設

名　　称	市 民 文 化 セ ン タ ー	管理者	文化体育振興事業団
所 在 地 敷 地 面 積	繁本町８番 65 号　　☎33-2180 18,285 ㎡		
構　　造	鉄筋コンクリート造地下１階地上３階	鉄筋コンクリート造地下１階地上４階	
建 物 面 積	3,713 ㎡	2,166 ㎡	
延 床 面 積	5,219 ㎡	4,620 ㎡	
ホ ー ル	大ホール（1,163 席）	中ホール（固定 486 席　車いす席３）	
会 議 室		洋室 10、和室２	
教　　室		料理・茶華各１、視聴覚１	
プラネタリウム		プラネタリウム室（72 席）	
展　　示		展示室１	
そ の 他	高齢者社交室	相談室、保育室	
駐 車 場	駐車可能台数　170 台		
工 事 費	3 億 5,000 万円	5 億 4,400 万円	
完　　成	昭和 37 年 11 月３日	昭和 49 年８月９日	
改　　修	【工　期】　昭和 61 年 12 月 18 日 ～ 昭和 62 年４月 25 日 【工 事 費】4 億 500 万円 【工事概要】せり舞台を新設（約 100 ㎡） 舞台天井・側面に音響反射板の新設 客席の幅を拡大 前部客席に床暖房設備を設置 防音扉の設置 平成 23 年度 楽屋新築及び既設楽屋改修 58,289 千円		
	平成２４年度～２６年度　耐震工事の実施 工事費　24 年度　17,850 千円　耐震診断及び補強設計 25 年度　92,075 千円　別館耐震工事等 26 年度　53,795 千円　大、中ホールの耐震補強工事及び本館耐震工事		

名　　称	別 子 山 ふ る さ と 館	管理者	別子校区連合自治会
所 在 地	別子山甲 345 番地の１　　☎64-2305	完成年月日	Ｈ２．７．３１
施 設 内 容 等	資料館１階　86.64㎡　　２階　146.87㎡ 管理棟　　２階　127.17㎡ 展示　　銅山歴史、遺跡案内、登山案内等パネル 岩石標本 銅山、物産関係		

国　指　定　文　化　財　（4）

（H30．4．1現在）

種　　類	名　　称	所　在　地	指定年月日
建　造　物	旧広瀬家住宅	上原二丁目10番52号	平成15年５月30日
工　　芸	剣銘国永	（個人蔵）	昭和31年６月28日
名　　勝	旧広瀬氏庭園	上原二丁目10番52号	平成30年2月13日
天然記念物	一宮神社のクスノキ群	一宮町一丁目３番１号　一宮神社	昭和26年６月９日

県　指　定　文　化　財　（１２）

（H30．4．1現在）

種　　類	名　　称	所　在　地	指定年月日
建　造　物	経堂「大転輪蔵」	山根町８番１号　瑞応寺	昭和45年３月27日
彫　　刻	木造薬師如来坐像	高木町３番21号　河内寺	昭和54年９月14日
工　　芸	太刀銘国継	（個人蔵）	昭和30年11月４日
工　　芸	太刀無銘	（個人蔵）	昭和39年３月27日
工　　芸	銅銭承和昌宝	黒島二丁目７番70号　明正寺	昭和40年４月２日
工　　芸	金銅密教法具	黒島二丁目７番70号　明正寺	昭和40年４月２日
考古資料	金子山古墳出土品	西の土居町二丁目16番47号慈眼寺	昭和63年４月19日
史　　跡	別子銅山口屋跡	西町６番２号	昭和24年９月17日
名　　勝	別子ライン	立川山、大永山	昭和30年11月４日
天然記念物	瑞応寺のイチョウ	山根町８番１号　瑞応寺	昭和31年11月３日
天然記念物	赤石山の高山植物	赤石山系（新居浜市、四国中央市）	昭和32年12月14日
天然記念物	久貢山のソテツ	多喜浜六丁目４番55号	昭和32年12月14日

市 指 定 文 化 財 （７４）

（H30．４．１現在）

種　　類	名　　称	所　在　地	指定年月日
建　造　物	大元神社本殿	大島字宮山　大島八幡神社	昭和52年４月７日
石造美術	宝篋印塔	郷四丁目 22 番	昭和52年４月７日
石造美術	狛犬	東田三丁目 1229 番地　東台神社	昭和52年４月７日
絵　　画	金胎両界曼荼羅	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和40年６月３日
絵　　画	弘法大師御影像	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和40年６月３日
絵　　画	絵馬「渡辺綱鬼女退治図」	新須賀町三丁目４番５号　堀江神社	昭和60年10月３日
彫　　刻	釈尊誕生仏	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和40年６月３日
彫　　刻	十二神将像	高木町３番 21 号　河内寺	昭和52年４月７日
彫　　刻	木造聖観世音菩薩立像	萩生 2635 番地　萩生寺	昭和52年４月７日
彫　　刻	随神	八雲町 10 番 16 号　宗像神社	昭和52年４月７日
彫　　刻	牛王宝印	八雲町 10 番 16 号　宗像神社	昭和52年４月７日
彫　　刻	蛙股	八雲町 10 番 16 号　宗像神社	昭和52年４月７日
彫　　刻	仏海上人作仏像	大島 143 番地　吉祥寺	昭和53年４月６日
彫　　刻	木造阿弥陀如来立像	別子山乙 551 番地５　圓通寺	平成15年11月４日
彫　　刻	木造大日如来坐像	別子山乙 551 番地５　圓通寺	平成15年11月４日
彫　　刻	木造聖観音菩薩坐像	別子山乙 551 番地５　圓通寺	平成15年11月４日
工　　芸	太刀銘伝三条小鍛治宗近作	一宮町一丁目３番１号　一宮神社	昭和40年６月３日
工　　芸	仏舎利塔と舎利器	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和40年６月３日
工　　芸	鉄鉢と二十五条麻袈裟	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和40年６月３日
工　　芸	獅子王御太刀	八幡二丁目４番 69 号　八旛神社	昭和52年４月７日
工　　芸	孔雀文金銅磬	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和52年４月７日
古　文　書	秘法三十二箇巻	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和40年６月３日
古　文　書	白石家文書	北新町 10 番１号　別子銅山記念図書館	平成16年８月５日
古　文　書	野田家文書	北新町 10 番１号　別子銅山記念図書館	平成16年８月５日
考古資料	銭がめと古銭	中村三丁目７番１２号	昭和52年４月７日
考古資料	古宮経塚出土「経筒」	繁本町８番６５号　市民文化センター	昭和60年10月３日
考古資料	正光寺山古墳群出土遺物	繁本町８番６５号　市民文化センター	平成25年３月13日
歴史資料	西条藩領地鳥瞰図屏風	坂井町二丁目８番１号　総合文化施設	昭和60年10月３日
歴史資料	瓜生野御堂棟札	別子山瓜生野	平成15年11月４日
歴史資料	圓通寺棟札	別子山乙 551 番地７　圓通寺	平成15年11月４日
歴史資料	石造地蔵菩薩立像	別子山乙 551 番地７　圓通寺	平成15年11月４日
無形民俗文化財	とうどおくり	大島	昭和53年４月６日
無形民俗文化財	じょうさ節	垣生	昭和53年４月６日
無形民俗文化財	かぶと踊り	船木	平成16年８月５日
史　　跡	五輪塔群	西の土居町二丁目	昭和40年６月３日
史　　跡	大師泉縄文遺跡	萩生 801 番地	昭和52年４月７日
史　　跡	唐津塚	上原二丁目	昭和52年４月７日
史　　跡	小山古墳	垣生小山	昭和52年４月７日
史　　跡	桧端住居跡	船木 4638 番地の２	昭和52年４月７日
史　　跡	河内寺の塔礎石	高木町３番 21 号　河内寺	昭和52年４月７日
史　　跡	深尾権太輔の墓	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和52年４月７日
史　　跡	星原市	星原町４番	昭和52年４月７日
史　　跡	久貢屋敷	多喜浜六丁目４番 55 号	昭和53年４月６日
史　　跡	つづら淵	若水町二丁目５番	昭和53年４月６日
史　　跡	金子城跡	金子山	昭和53年４月６日
史　　跡	横山古墳群	中萩町 13 番	昭和53年４月６日
史　　跡	金子山古墳	金子 15 番地	昭和58年１月６日

種　　類	名　　称	所　在　地	指定年月日
史　　跡	三義民の碑	宇高町二丁目６番　観音堂	昭和60年６月６日
史　　跡	村上平兵衛の墓	又野二丁目５番　阿弥陀堂	昭和60年６月６日
史　　跡	高橋弥市左衛門の墓	宇高町二丁目６番　観音堂	昭和60年６月６日
史　　跡	高橋孫兵衛の墓	宇高町二丁目１番 52 号　地蔵堂	昭和60年６月６日
史　　跡	高橋孫兵衛屋敷跡地	宇高町二丁目	昭和60年６月６日
史　　跡	金子備後守供養塔を中心とする墓	西の土居町二丁目 16 番 47 号慈眼寺	昭和60年12月５日
史　　跡	岡崎城跡	上郷郷山	昭和53年４月６日
史　　跡	広瀬家墓所	山田町 217 番地の１	平成16年８月５日
史　　跡	正光寺山古墳群	坂井町二丁目 1419 番	平成25年３月13日
名　　勝	銚子の滝	大生院大野山	昭和53年４月６日
名　　勝	樽の滝（窓の滝）	種子川山	昭和53年４月６日
天然記念物	バクチノキの群生	大島字宮山　大島八幡神社	昭和52年４月７日
天然記念物	ミョウショウジザクラ	黒島二丁目７番 70 号　明正寺	昭和52年４月７日
天然記念物	法泉寺のムクノキ	垣生四丁目９番 12 号　法泉寺	昭和52年４月７日
天然記念物	大師泉のオオバタネツケバナ	萩生 801 番地	昭和52年４月７日
天然記念物	ヤクシマツバキ	大生院大野山谷	昭和52年４月７日
天然記念物	漣痕	荷内町２番５号	昭和52年４月７日
天然記念物	アッケシソウ	阿島二丁目 14 番１号	昭和59年７月５日
天然記念物	中央構造線小河谷断層	萩生 1833～2960 番地の１	昭和60年１月10日
天然記念物	宗像神社の参道と社叢	八雲町 10 番 13 号　宗像神社	昭和60年11月５日
天然記念物	黒嶋神社のツバキ群生林	黒島 779 番地の１　黒島神社	昭和60年12月５日
天然記念物	三島神社の社叢	船木甲 5371 番地　三島神社	昭和60年12月５日
天然記念物	龍河神社の社叢	立川町 496、497 番地ほか	昭和63年５月12日
天然記念物	保土野渓谷甌穴群	別子山保土野乙 475 番地８地先ほか	平成15年11月４日
天然記念物	オオモミジ	別子山乙 551 番地 13	平成15年11月４日
天然記念物	山城八幡神社社叢	別子山甲 130 番地	平成15年11月４日
天然記念物	エドヒガンザクラ	別子山乙 83 番１	平成25年３月13日

登　録　有　形　文　化　財　（９）

（H30．４．１現在）

種　　類	名　　称	所　在　地	登録年月日
建　築　物	住友化学工業愛媛工場歴史資料館	惣開町５番１号	平成13年４月24日
建　築　物	武徳殿	徳常町４番６号	平成16年３月２日
土木構造物	遠登志橋	立川町 620 番１地先	平成17年12月26日
土木構造物	旧別子鉱山鉄道端出場鉄橋（足谷川鉄橋）	立川町	平成21年８月７日
土木構造物	旧別子鉱山鉄道端出場隧道	立川町	平成21年８月７日
建　築　物	旧泉寿亭特別室棟	立川町 707 番３	平成21年８月７日
工　作　物	山根競技場観覧席	角野新田町三丁目 2822 番９	平成21年８月７日
工　作　物	旧山根製錬所煙突	角野新田町三丁目 2822 番１	平成21年８月７日
建　築　物	旧端出場水力発電所	立川町 594 番	平成23年１月26日

広瀬歴史記念館

日本の近代化産業を育成した広瀬宰平翁の功績を正しく理解し、新居浜の生い立ちと近代化の歩みを後世に伝えるとともに、未来に向かって市民の活力を育み、文化遺産の継承と生涯学習の拠点施設として活動の振興を図る。

施設状況

所　在　地	建設年月	構　　造	敷地面積（㎡）	建物面積（㎡）	電　話	館長等氏名
新居浜市上原二丁目10番42号	展示館 平成９年４月	鉄筋コンクリート造 地上１階 地下１階	4,688.03	1,072.39	40-6333	特別顧問 末岡　照啓 館長 久葉　裕可
	旧広瀬邸 明治20年頃	木造瓦葺 ２階建	31,827.19 （亀池を含む）	1,318.95	43-4667	
計			36,515.22	2,391.34		

総合文化施設（あかがねミュージアム）

総合文化施設は、新居浜の歴史、文化及び芸術を通して、市民が集い、出会い、交流する場を提供することで、文化の継承、発展、創造と次世代のひとづくりを目指し、平成27年7月18日にオープンした。

施設の管理運営は、指定管理者制度を導入し、新居浜市美術館及び新居浜市総合文化施設運営グループが行っている。

施設状況

所　在　地	開設 年月日	構　　造	敷地面積 （㎡）	建物面積 （㎡）	電　話	館 長 氏 名
坂井町二丁目８番１号	平成 27.7.18	鉄筋コンクリート造 地下１階地上３階	11,571.86	8,894.14	31－0305 65－3580	美術館長 阿部義澄

施設の概要

建物構造	Ｂ１Ｆ	ホール（248席、ロールバック式）楽屋、スタジオ１、地下駐車場
	ＧＬ	ロビー、カフェ
	１Ｆ	メインエントランス、太鼓台ミュージアム、総合案内、にいはまギャラリー
		創作スペース、アート工房、シアター、スタジオ２
	２Ｆ	美術館（展示室１、展示室２、市民ギャラリー）
	３Ｆ	機械室
開館時間	９：30～17：00	太鼓台ミュージアム、シアター、にいはまギャラリー、美術館
	９：30～21：00	アート工房、スタジオ２
	９：30～22：00	ホール、楽屋、スタジオ１
	９：00～22：30	駐車場
休 館 日	月曜日（祝日、振替休日及び第一日曜日にあたる場合は開館し、その翌火曜日が休館）	
	12月29日から翌年１月３日まで	

図　書　館

第１　最重要課題

生涯学習及び地域情報拠点としての、図書館機能の充実

第２ 重点事項（取組方針）

１　図書館運営における市民サポーター登録制度の開始・推進

市民の参加・協力を得られるような一部定例的な業務について、サポーター登録制度を立ち上げ、参加者を募る。

（内容）読み聞かせ・朗読図書作成・図書館まつりなどのイベント協力・書架整理　など

２　読書活動の推進と機会の提供、生涯学習の支援

市民の自主的、自発的な学習活動を支援するため、資料・情報提供の推進及び学習機会・場所の提供に努める。

（具体策）読書通帳の活用
こども読書通帳マラソンの実施（継続重点）
お話会の充実（幼児対象、小学生対象、夏の怖いお話会、クリスマス、お話会等）
図書館まつり(ブックリサイクル・図書館見学など)
夏休みは図書館へ行こう！イベントの開催等）
展示コーナーの充実
健康・地域活性化支援コーナーの充実
ホール・会議室等における文化集会事業の利用促進

３　関係機関との連携による地域の情報拠点化の推進

市民の読書活動の推進及び地域課題の解決を支援するため、公共図書館相互の連携のみならず、学校や学校図書館、病院や福祉施設、地域企業との連携を強化する。

（具体策）ブックリスト「本のたからばこ」を学校図書館、福祉施設等において活用できるようにはかる。
図書館ネットワーク・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスによる資料提供、愛媛県立図書館図書の遠隔地返却サービス協力、ブックスタート事業､出前講座、健康支援､生活支援、地域活性化（ビジネス）支援コーナーの充実、リサイクル図書等の活用、移動図書館の利用促進、病院等施設内での利用案内の掲示、新入小学生への案内の配布・図書館カードの作成

４　図書館ＰＲ活動の充実

図書館の活動を市民によく知ってもらい、図書館の利用促進につなげるため、あらゆる情報媒体を活用しＰＲ活動を推進する。

（具体策）「夏休み子ども探検隊」等図書館行事においてＰＲ
図書館ホームページの充実、メールマガジンの発行（毎週水曜日）
歴代文学賞受賞者紹介、図書館通路等、掲示板の有効活用、図書館行事・活動の広報及び報告、イメージキャラクターの活用

５　地域資料の保存と情報発信、ふるさと学習の推進

郷土の歴史や文化を次世代に継承するため、郷土・行政資料を積極的に収集・保存し、郷土出身者や郷土の産業遺産等についての情報発信を行う。

（具体策）古文書等のデータベース化、愛媛新聞公開データベースの閲覧
別子銅山コーナー・住友関連コーナー・住友関連企業社史コーナーの充実
「別子銅山に関する本の解説講座」等の実施、
「住友老壮会文庫」の活用研究

第３　主な事業

１　図書館利用促進事業（22,717 千円）

図書館は地域の情報拠点・生涯学習支援施設としての役割を果たすことが必要であり、市民が必要とする資料・情報の提供を行う。

・図書・オーディオヴィジュアル資料等購入

第４　施設状況

施設名	所　在　地	建設年月	構　　造	敷地面積（㎡）	建物面積（㎡）	電　話	館長氏名
別子銅山記念図書館（本 館）	北新町 10 番１号	平成 4.3	鉄筋コンクリート造陸屋根・銅板葺地下１階付２階建	16,534	3,072	32-1911	横井　邦明
角野分館	中筋町二丁目４番 24 号	昭和 54.7	鉄筋コンクリート造２階建	200	162	41-6217	

蔵書冊数

（H30. 3. 31 現在・単位：冊）

区分／分類	本館				移動図書館		角野分館			合計
	一般	児童	郷土	参考資料	一般	児童	一般	児童	参考資料	
０総記	(213) 9,026	(43) 1,118	(42) 1,914	(23) 2,335	(7) 60	(11) 121	(34) 505	(14) 151	(2) 81	(389) 15,311
１哲学	(194) 9,800	(31) 657	(2) 167	(0) 418	(24) 138	(21) 167	(33) 326	(15) 122	(0) 2	(320) 11,797
２歴史	(411) 17,881	(110) 3,105	(36) 2,634	(16) 976	(52) 206	(37) 402	(29) 731	(26) 485	(0) 26	(717) 26,446
３社会	(769) 22,182	(102) 2,827	(56) 3,105	(32) 873	(31) 233	(19) 204	(62) 716	(31) 347	(0) 4	(1,102) 30,491
４自然	(639) 13,617	(269) 6,269	(10) 371	(21) 499	(58) 430	(112) 630	(69) 601	(63) 1,094	(0) 15	(1,241) 23,526
５工学	(657) 15,389	(68) 1,661	(20) 672	(4) 467	(181) 1,351	(54) 223	(108) 1,191	(31) 350	(1) 4	(1,124) 21,308
６産業	(252) 5,026	(52) 1,172	(23) 556	(1) 205	(21) 149	(8) 119	(16) 195	(15) 190	(0) 1	(388) 7,613
７芸術	(427) 21,449	(150) 4,149	(36) 600	(8) 248	(56) 507	(49) 825	(63) 802	(60) 765	(0) 0	(849) 29,345
８語学	(67) 2,841	(21) 720	(9) 33	(8) 391	(1) 20	(6) 98	(12) 120	(12) 166	(0) 20	(136) 4,409
９文学	(1,932) 73,334	(796) 27,623	(29) 1,113	(6) 356	(203) 1,815	(239) 2,931	(466) 7,691	(185) 3,605	(0) 3	(3,856) 118,471
C紙芝居		(87) 1,863				(7) 270		(17) 240		(111) 2,373
E絵本		(1,013) 31,065				(269) 4,333		(279) 4,416		(1,561) 39,814
その他										
計	(5,561) 190,545	(2,742) 82,229	(263) 11,165	(119) 6,768	(634) 4,909	(832) 10,323	(892) 12,878	(748) 11,931	(3) 156	(11,794) 330,904

（H30. 3. 31 現在・単位：点）

A V 資料	
C T （カセットテープ）	(0) 34
V T （ビデオテープ）	(0) 1,184
C D	(121) 2,631
D V D	(178) 1,620
計	(299) 5,469

（ ）内は本年度受入数

平成２９年度のあゆみ

教育委員会の主な施策と実績

1　平成29年度決算額

(1) 教育費　　（単位：千円）

項	目	行　政　目　的	事業費	目合計	項合計
教育総務費	教育委員会費	委員報酬	6,053	6,297	898,526
		委員会費	244		
	事務局費	人件費	458,861	464,648	
		事務局運営費	5,647		
		教育政策研究費	140		
	諸費	指導費	1,979	427,581	
		研究所費	2,140		
		教育振興補助事業費	349		
		奨学金	30		
		教育施設防火等管理費	2,169		
		文化施設管理運営費	143,368		
		文化施設環境整備事業	48,824		
		学校音楽教育振興費	103		
		パソコン管理費	5,709		
		中学生海外派遣費	7,570		
		交通災害遺児修学援助費	24		
		事務用パソコン整備費	3,314		
		公共施設ごみ収集費	9,568		
		いじめ・不登校問題等対策費	17,968		
		教職員住宅管理運営費	579		
		生きた英語教育推進費	61,016		
		別子ハイツ自然学習館管理費	7,574		
		スクールソーシャルワーカー活用事業費	367		
		発達支援教育運営費	4,955		
		発達支援教育充実費	19,983		
		標準学力検査実施費	8,021		
		学力向上学習支援事業費	820		
		二次検診公費負担実施事業費	138		
		学校図書館支援センター充実費	20,205		
		持続可能な開発のための教育推進費	5,353		
		コミュニティ・スクール推進事業費	2,631		
		お手玉文化普及活動費	4,000		
		公立学校施設長寿命化計画策定費	2,798		
		公立学校施設長寿命化計画策定費（繰越分）	13,400		
		放課後まなび塾推進事業	24,215		
		情報教育推進校調査研究事業費	1,417		
		新居浜市文化スポーツ大会開催事業費	793		
		学校環境教育支援活動事業費	231		
		魅力ある高等学校地域連携事業費	2,234		

（単位：千円）

項	目	行　政　目　的	事業費	目合計	項合計
		小中学校教育研究県指定校費	700		
		小中学校業務改善推進事業費	3,036		
小学校費	学校管理費	小学校管理運営費	290,900	438,972	824,868
		小学校保健費	34,087		
		小学校体育費	1,678		
		小学校施設環境整備事業	54,695		
		小学校施設環境整備事業(繰越分)	56,899		
		小学校保健充実費	713		
	教育振興費	小学校就学援助費	44,589	228,380	
		小学校理科教材備品購入費	1,575		
		小学校教育研究県指定校費	780		
		小学校教育充実費	27,120		
		小学校教育用コンピュータ整備費	52,877		
		小学校特別支援教育充実費	89,203		
		小学校持続可能な開発のための教育推進費	2,811		
		小学校ハートなんでも相談員設置事業費	3,080		
		小学校特別支援教育就学援助費	3,097		
		小学校特別支援研究県指定校費	262		
		若宮小学校記念事業費	2,986		
	学校建設費	小学校プール改築事業（繰越分）	157,516	157,516	
中学校費	学校管理費	中学校管理運営費	158,807	237,737	634,784
		中学校保健費	20,211		
		中学校体育費	9,482		
		中学校施設環境整備事業	49,237		
	教育振興費	中学校就学援助費	32,172	116,394	
		中学校理科教材備品購入費	2,094		
		中学校教育充実費	20,418		
		中学校ハートなんでも相談員設置事業費	1,680		
		中学校教育用コンピュータ整備費	41,660		
		中学校特別支援教育充実費	14,387		
		中学校持続可能な開発のための教育推進費	35		
		運動部活動競技力向上事業費	2,676		
		中学校特別支援教育就学援助費	1,095		
		いのちの授業開催事業費	177		
	学校建設費	別子中学校学び創生事業	280,653	280,653	
幼稚園費	幼稚園費	人件費	49,504	182,565	182,565
		王子幼稚園管理運営費	2,223		
		神郷幼稚園管理運営費	2,047		
		幼稚園保健費	772		
		就園奨励補助費	77,406		
		私立幼稚園私学助成費	4,182		

（単位：千円）

項	目	行　政　目　的	事業費	目合計	項合計
		幼稚園特別支援教育充実費	10,877		
		幼稚園施設環境整備費	2,749		
		私立幼稚園施設型給付事業費（福祉部）	32,805		
社会教育費	社会教育総務費	人件費	127,717	253,830	905,260
		社会教育振興費	2,233		
		文化教育費	4,683		
		文化振興基金積立金	140		
		文化財保護費	696		
		高齢者生きがい創造学園環境整備事業	40,075		
		高齢者生きがい創造学園管理運営費	13,264		
		生涯学習センター管理運営費	2,739		
		生涯学習センター充実費	10,283		
		社会教育充実費	7,501		
		芸術文化振興費	2,794		
		こども夢未来基金積立金	1		
		郷土資料室管理運営費	2,643		
		市制80周年市民参画公演事業費	4,127		
		放課後子ども教室充実費（繰越分）	34,934		
	公民館費	公民館管理運営費	144,662	243,246	
		公民館活動費	86		
		公民館推進費	400		
		公民館施設環境整備事業	53,036		
		公民館施設環境整備事業（繰越分）	22,309		
		地域主導型公民館推進費	10,612		
		公民館耐震補強対策事業（繰越分）	10,933		
		新居浜市文化祭事業推進費	1,208		
	図書館費	図書館管理運営費	59,501	87,846	
		図書館充実費	24,069		
		図書館図書整備基金積立金	6		
		図書館施設環境整備事業	866		
		ブックスタート事業費	1,836		
		読書との出会い提供事業費	1,568		
	青少年教育費	青少年育成強化費	388	388	
	青少年センター費	青少年センター管理運営費	3,014	3,402	
		補導活動充実費	388		
	広瀬歴史記念館費	広瀬歴史記念館管理運営費	35,108	65,100	
		旧広瀬邸庭園整備事業	26,072		
		市制80周年広瀬歴史記念館開館20周年企画展費	3,920		
	総合文化施設費	総合文化施設管理運営費	167,977	251,439	
		総合文化施設充実費	25,589		

（単位：千円）

項	目	行　政　目　的	事業費	目合計	項合計
		市制８０周年記念企画展開催費	57,873		
	美術品購入基金費	美術品購入基金繰出金	9	9	
保健体育費	保健体育総務費	市民体育振興費	10,906	338,196	1,138,172
		市民体育祭費	4,570		
		学校開校費	4,870		
		市民体育充実強化費	9,099		
		体育施設建設基金積立金	206		
		青少年育成スポーツ活動費	465		
		国民体育大会振興費（企画部）	1,917		
		国民体育大会開催対策費（企画部）	293,895		
		スポーツ推進審議会費	153		
		学校スポーツ活性化事業費	4,000		
		市制 80 周年ドリームベースボール事業費	2,420		
		市制 80 周年わんぱく相撲にいはま場所開催助成事業費	1,000		
		市制 80 周年ウエイトリフティング講演会開催事業費	1,084		
		市制 80 周年マラソン大会開催事業費	3,611		
	保健体育施設管理費	夜間照明施設整備事業	21,526	21,526	
	体育施設費	野外活動施設整備費	1,344	288,040	
		体育施設管理運営費	247,414		
		体育施設環境整備事業	39,282		
	学校給食費	人件費	187,959	490,410	
		給食運営費	155,128		
		高津共同調理場管理運営費	2,724		
		学校給食センター管理運営費	108,059		
		給食運営改善事業	20,065		
		学校給食多子世帯支援事業費	1,525		
		学校給食推進費	14,950		
教　育　費　合　計					4,584,175

(2) 民生費　（単位:千円）

項	目	行　政　目　的	事業費	目合計	項合計
児童福祉費	児童福祉総務費	放課後児童対策費	106,715	106,715	106,715

(3) 介護保険事業特別会計　地域支援事業費　（単位:千円）

項	目	行　政　目　的	事業費	目合計	項合計
一般介護予防事業費	一般介護予防事業費	高齢者生きがい創造学園講座事業費	8,186	8,186	8,186

２　主な施設の建設及び環境整備事業

平成 29 年度に実施した主な事業は、次のとおり。

【角野公民館耐震補強工事】（繰越）

事業費　　18,134 千円

完　成　　平成 29 年５月

角野公民館



【高齢者生きがい創造学園グラウンド拡幅工事】

事業費　　40,075 千円

完　成　　平成 29 年 12 月

高齢者生きがい創造学園グラウンド



【大生院小学校屋外プール改築工事】（繰越）

内　　容　　小学校プール改築工事

総工事費　　252,396,828 円

（内訳）機械設備工事　34,884,000 円

電気設備工事　10,517,000 円

解体工事　　26,059,000 円

建築主体工事 180,936,828 円

完　　成　　平成 29 年 12 月

大生院小学校プール



社会教育課の主な施策と実績

公民館は社会教育拠点、生涯学習拠点、地域づくり拠点と様々な特性を持っているが、それぞれの地域の特徴を活かした活動を一層充実させることが公民館の存在意義を高めることにつながる。この観点から、「地域教育力向上プロジェクト推進事業」として地域の課題解決に向けた取組を行った。

１　地域教育力向上プロジェクト推進事業

地域の特色を活かし住民全体の手によって地域課題を検討・解決していくため、①個人の学習のための事業…“学ぶ”②地域での実践のための事業…“活かす”③今後の公民館・地域の方向性を決定するための事業…“創る”を三つの大きな柱として、各地域がその実情や必要性に応じて①～③のメニューを選択し実施している。

平成 29 年度は、市内 16 公民館及び２交流センターで実施され、事業参加者数は 61,555 人となっている。

２　別子ハイツ自然学習館の利用状況

単位：人

会　　議　　室			宿　　泊		
H27	H28	H29	H27	H28	H29
711	820	672	626	620	950

3　学校体育施設開放の利用状況

●開放校　　小学校 17 校　　中学校 10 校

●照明設備使用料（運動場 710 円、体育館 200 円、武道場 100 円）

（単位：人）

年度／学校名	運動場			体育館等		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
新居浜小	5,363	6,598	5,856	10,322	10,173	10,738
宮西小	6,524	7,020	5,291	5,522	4,388	6,060
金子小	3,541	3,148	3,152	11,255	10,725	12,160
金栄小	2,501	1,768	1,303	8,073	13,630	14,375
高津小	5,614	8,148	9,312	17,778	14,550	15,752
浮島小	2,762	3,395	4,082	5,689	5,155	4,780
惣開小	4,305	3,537	4,231	7,325	6,577	7,895
若宮小	2,367	2,099	1,927	8,096	8,651	10,403
垣生小	5,251	7,150	7,378	8,895	5,642	5,177
神郷小	11,354	10,642	10,259	15,758	18,227	17,826
多喜浜小	1,753	2,289	1,805	7,163	6,640	8,263
泉川小	7,007	7,445	7,674	8,775	7,817	8,801
中萩小	9,960	9,307	9,297	23,921	22,447	21,337
船木小	6,116	7,758	6,998	11,807	9,497	9,083
大生院小	6,203	5,968	7,977	7,721	6,106	8,416
角野小	7,720	7,207	7,579	9,666	9,873	11,258
別子小・中	0	0	0	483	449	548
東中	1,549	1,454	1,444	11,237	11,003	10,840
西中	1,165	688	954	4,079	3,462	3,586
南中	1,014	1,279	1,180	11,364	11,006	9,554
北中	1,117	1,373	1,210	8,462	8,939	9,380
泉川中	0	0	0	6,209	8,206	7,658
中萩中	3,978	4,734	4,140	11,914	11,436	11,282
船木中	951	1,226	870	7,095	8,165	9,571
大生院中	1,355	918	1,041	4,012	3,946	4,585
角野中	685	1,050	1,305	9,341	10,403	10,979
川東中	1,975	2,355	1,801	9,736	11,074	11,693
計	102,130	108,556	108,066	251,698	248,187	262,000

新居浜公民館

（１）平成 29 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～夢・ロマン・感動を求めて～

１　ボランティア活動の推進

２　学校・家庭・地域を結ぶ青少年育成と見守り隊の推進

３　生涯学習の活性化と推進

４　三世代交流を活かした地域文化の伝承活動とリーダーの育成

５　小学生・中学生の居場所づくりと交流

（２）実施事業一覧

事　業　名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
地域教育力向上プロジェクト推進事業						
女性講座	女性	22	―	144	0	144
シニアネットワーク	高齢者、一般	6	13	7	―	20
小学生夏休み講座	小学生	34	20	1	120	141
小・中学生料理教室	小学生、中学生	6	―	5	21	26
家庭教育講座	一般	6	0	13	4	17
生き活きセミナー	一般	20	0	68	0	68
三世代交流健康ウォーキング大会	一般、子ども	3	26	36	18	80
新小夜市	一般、子ども	4	350	350	300	1,000
三世代交流事業	一般、子ども	7	77	100	74	251
地域活性化事業	一般	12	63	16	21	100
放課後子ども教室推進事業						
浜っ子教室	新居浜小学校児童	34			295	295

（３）特色ある事業紹介

ア　防災キャンプ

８月１９日～２０日（１泊２日）の日程で新居浜小学校に通う４年生から６年生の児童を対象に開催した。災害が生じた時に避難所でのお手伝いの担い手となってほしいという思いで企画し、女性消防団よりＡＥＤの使い方・新聞紙を使ってのスリッパ作り、ストッキングを使っての救急法、消防団より寝床作りやダンボールのトイレ作りを教わり、炊き出し体験では新聞紙３日分で飯盒を使ってご飯を炊き、高密度ビニール袋を使い、とカレーと焼きそばを作った。公民館を入所型の介護施設とし、学校まで指導いただいたストキングで傷の手当をして、車椅子を使って誘導訓練を行った。参加した児童からは学んだことをいざという時に役立てたいという感想が寄せられた。また９月に開催された防災訓練にて、学んだことを地域の方に伝えることもできた。





イ　新居浜校区三世代交流健康ウォークラリー

三世代交流活動の一環として、保健センターが作成した「にいはまぶらりウォーク」のコースの一つである「球場通り」を散策した。笑い声の絶えない明るく楽しく健康的な交流事業であった。





（４）平成 29 年度事業の反省及び今後の課題

ア　地域活性化プロジェクトを立ち上げ、新居浜小学校ビオトープの環境整備とスポーツ教室を通じて健康体力づくりに努め、魅力ある地域づくりを行う

イ　地域自主防災組織の強化

ウ　団塊世代の協力体制づくり

エ　放課後子ども教室をたちあげ、地域住民との交流を深めること、様々な分野の体験を提供

口屋跡記念公民館

（１）平成 29 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～心触れ合う、住みよい地域づくりをめざして～

１　豊かな心を育てる生涯学習の充実
２　青少年の健全育成
３　社会教育関係団体相互の連携・交流
４　人権・同和教育の推進
５　生涯スポーツの振興、生活文化活動の育成

（２）実施事業一覧

事　業　名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
地域教育力向上プロジェクト推進事業						
家庭教育講座	ＰＴＡ、親子	9	10	42	51	103
女性講座	女性	12.5	5	196	341	542
高齢者講座	高齢者	27	120	104	20	244
高齢者・女性合同講座	高齢者、女性、一般	2	20	30	0	50
宮西サロン	高齢者、一般	2	15	25	0	40
生活文化講座	親子	8	12	20	40	72
男の料理教室	男性、女性	5	28	8	0	36
スポーツ健康教室	一般、子ども	2	3	6	20	29
夏休み子どもわくわく教室	子ども	7	9	13	23	45
三世代交流講座	子ども、女性、ＰＴＡ	3	4	23	28	55
三世代交流福祉もちつき大会	親子、高齢者、一般	4	30	60	32	122
北中校区子ども絵画展	子ども、一般	3	97	150	190	437
口屋あかがねプロジェクト事業	一般	7.5	78	64	66	208
放課後子ども教室推進事業						
－	宮西小学校児童	－	0	12	62	74

（３）特色ある事業紹介

ア　三世代交流福祉もちつき大会

毎年恒例の「三世代交流福祉もちつき大会」を12月16日に実施した。女性部がつくる赤飯に子どもたちが心をこめて書いた手紙を添えて、75歳以上の独居高齢者宅を訪問した。またもちつきと並行して老人会・たまごとダエンの積木の会の協力で思い思いの作品作りに挑戦した。この事業は核家族で育つ子どもたちにとって三世代が触れ合える貴重な体験の場になっている。地域住民の連帯感や、子どもたちの健全育成及び地域の活性化のためにも継続していきたい大切な行事である。



イ　北中校区子ども絵画展

今年で７回目となる「北中校区子ども絵画展」を10月７日に実施した。この事業は学校・ＰＴＡ・地域が一体となり、児童、生徒の個性的、創造的表現活動を後押しし、旺盛な創作意欲と豊かな心の育成を目的にした事業である。宮西・新居浜小学校、北中学校生徒全員を対象として夏休みに題材自由で描いた作品を、審査した後公民館に展示（９月30日～10月７日）して、広く地域住民にも観覧してもらった。その後10月７日に表彰式、実技指導の時間を設け大勢の親子が参加した。子どもたちの表現力や感受性を養うためにも今後も大切に継続していきたい事業である。





ウ　口屋あかがねプロジェクト事業

昔の口屋及び宮西小学校、立川中宿のジオラマを活用して広く口屋の歴史を伝えていくことを目的としている。また「口屋」に関係の深い角野公民館との合同事業も２年前から実施し交流を深めている。今後も地域の歴史を伝承し後世につなげていきたい事業である。




（４）平成29年度事業の反省及び今後の課題

ア　地域活動を担うリーダー的人材の確保

イ　地域課題を解決し、地域の活力の向上を図る。

ウ　ボランティア活動等を通し、地域の福祉増進を図る。

エ　各種団体・地域住民と連携を図り、安心・安全のまちづくりの実現を目指す。

地域交流センター（ふれあい金子）

（１）平成 29 年度の交流センター活動の概要（重点事業）

～笑顔あふれる地域交流センター～

１　地域ふるさとづくりの推進
２　生涯学習・スポーツの推進
３　各種団体との連携・協力体制の強化
４　地域が一体となった青少年健全育成
５　自主防災組織の充実と意識の向上

（２）実施事業一覧

事　業　名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
地域教育力向上プロジェクト推進事業						
高齢者講座	高齢者	23	110	212	122	444
家庭教育講座	小学生	16	40	306	299	645
スポーツ健康教室	校区住民	10	70	83	31	184
宿泊合宿	小学生	10.5	12	9	21	42
三世代交流	校区住民	12	70	64	62	196
文化教養講座	校区住民	6	29	39	66	134
地域活動を支える人材育成	成人、中学生	27	42	49	33	124
まちづくり事業	校区住民	10	221	129	51	401

（３）特色ある事業紹介

ア　防災運動会

「地域住民同士の連携を深め、楽しく学ぶ」手段として、防災運動会・訓練を開催している。地域の構成員である自治会・学校・各種団体等が協働し、プログラムを企画、立案している。この運動会・訓練を通じて、楽しさの中にも互いに助け合うことの大切さ、防災・減災に役立つ身近な物を使っての担架作り、応急手当の方法を習得することができた。今後も新しい競技等取り入れながら、引き続き校区全体の防災意識の向上に努めたい。





イ　ラブ金子ふるさと夏まつり

一宮神社の宮の市を再現し、昔を懐かしむとともに地域手作りの夏まつりを開催している。今回で27回を迎えたが、三世代がふれあい、ひとつの輪になって絆を深めるよい機会でもある。児童の司会進行で始まり、模擬店や、お菓子まき大会・花火大会などを行った。また、校庭のやぐらを囲んで金子の伝統「小女郎たぬきおどり」を踊り、心に残る夏まつりが実施された。




（４）平成 29 年度事業の反省及び今後の課題

ア　地域住民主体の生涯学習の推進

イ　世代間交流事業を充実させ、地域住民の交流の輪を広げる。

ウ　学校関係機関及び諸団体と連携し、青少年の健全育成を図る。

エ　自主防災組織の充実と意識の向上（住民同士の連携を深める）

金栄公民館

（１）平成 29 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域づくりの拠点として、暖かく温もりのある公民館を目指して～

１　学校・地域との連携を図り、地域活性化につなげる。
２　伝統文化の継承と郷土愛の醸成を図る。
３　人権・同和教育の推進
４　青少年の健全育成を図る。
５　世代間交流の充実強化

（２）実施事業一覧

事　業　名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
地域教育力向上プロジェクト推進事業						
婦人講座	校区住民	18.5	2	156	―	158
高齢者講座	高齢者	23.5	84	97	―	181
家庭教育講座	小学校ＰＴＡ 保護者	12	0	90	3	93
ふれあい文化講座	校区住民	7.5	1	41	0	42
子育て支援	就学前幼児 保護者	30	0	276	188	464
金栄まちづくり事業	中学生～高齢者	12.5	176	49	0	225
三世代交流事業	一般	30.5	184	262	208	654
ドリームツリー金栄ふれあい広場	一般	2	250	630	220	1,100
金栄盆踊り	一般	2.5	150	200	200	550
放課後子ども教室推進事業						
かるがもクラブ	金栄小学校児童	―	86	211	688	985

（３）特色ある事業紹介

ア　金栄まちづくり事業



金栄校区では、安全・安心のまちづくりを目指し各種団体及び小学校と連携し、様々な活動を実施している。10 月に実施した「地域総合防災訓練」では、各種体験・引き渡し訓練等を通じて、地震等の災害から自分の身を守るとともに互いに助け合うことの大切さを学ぶことができた。

また、金栄小学校・校区連合自治会、金栄校区自主防災会、公民館、市防災安全課が協働で作成した「金栄校区災害弱者の命をつなぐ避難経路防災マップ」が独立行政法人科学技術研究所の主催する「第６回防災コンテストｅ防災マップ部門」に於いて２年連続で最優秀賞を受賞した。今後も引き続き校区全体の防災意識の向上に努めたい。

イ　放課後子ども教室　～かるがもクラブ～



平成 17 年度より放課後子ども教室を実施している。弁当作り、タブレット体験、軽スポーツ教室等と、みかん狩り体験で大島まで出向く野外活動を行った。これからも魅力ある教室づくりに取り組むとともに、地域・保護者との連携を図りながら活動していきたい。





ウ　伝統芸能の伝承

～金栄トンカカさん踊り～



「金栄トンカカさん踊り保存会」と連携し、様々な行事へ参加している。毎年、金栄小学校３年生児童への指導も実施しており、校区運動会や小学校運動会等で披露している。踊り連は 20 名となり今後益々の活躍が期待されている。

（４）平成 29 年度事業の反省及び今後の課題

ア　地域住民のニーズに合わせた事業及び講座の実施
イ　地域活動におけるリーダー的人材の確保
ウ　見守り隊の拡大と支援の充実
エ　自主防災組織の更なる充実と地域住民の防災意識の向上
オ　郷土芸能の伝承と継承

高津公民館

（１）平成 29 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～住民が主体的に携わる公民館を目指して～

１　自治能力の向上と安全な地域づくりに努める
２　住民が自ら考え行動する生涯学習の推進とまちづくり構想実行推進事業の促進
３　学校、家庭、地域が一体となった青少年の健全育成
４　「地域とともにある学校づくり」を推進する東中学校コミュニティスクールの導入
５　地域の連帯を図る三世代交流とふれあい活動の充実
６　人権・同和教育の推進

（２）実施事業一覧

事　業　名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
地域教育力向上プロジェクト推進事業						
れんげ祭り	校区住民	2	180	180	840	1,200
たかつ納涼夏祭り	校区住民	6	555	645	500	1,700
たかつの史跡めぐり	校区住民	8	17	7	0	24
たかつ花あふれるまちづくり	校区住民	118	150	144	0	294
青少年育成事業	児童、青少年、成人	24	27	90	227	344
スポーツ健康教室	校区住民	8	53	37	0	90
たかつ防災事業	校区住民	5	9	22	536	567
健康ウォーキング	校区住民	8.5	20	29	2	51
高齢者講座	高齢者	25	143	123	―	266
女性セミナー	婦人	29	5	236	0	241
文化部発表会	校区住民、児童	3	92	138	41	271
家庭教育講座	校区住民	12.5	25	83	13	121
高津まちづくり構想実行推進会議	実行委員	112	623	245	65	933
三世代交流わいわいクラブ	一般	67.5	55	227	117	399

（３）特色ある事業紹介

ア　きっず防災キャンプ

平成25年度から各種団体の後継者不足、自治会加入率の低下、南海トラフ巨大地震の対策など多くの地域課題解決のためまちづくり構想策定委員会、まちづくり推進委員会などで協議を重ね、平成28年度には４つの実行委員会を発足し様々な取り組みを始めた。平成29年度は、第４防災対策実行委員会が８月５日、６日の１泊２日で小学生対象のきっず防災キャンプを実施した。





イ　れんげ祭り

子どもたちに自然体験の場を提供するため地元から農地を借り受け、れんげ畑を整備、４月15日にれんげ祭りを開催した。平成29年度は、子どもたちに大人気のみきゃんも参加し大いに盛り上がった。また、草花ビンゴやれんげのファッションショー、昔遊び、防災○×クイズや、消防車、パトカー、白バイの試乗体験などを通して交通安全、防災の意識啓蒙、地域の三世代交流が図られた。

ウ　たかつ納涼夏祭り

７月16日1,700人が参加し、たかつ納涼夏祭りを盛大に開催した。小学校ＰＴＡによるビンゴゲーム、愛護班による防災学習、社協高津支部他８団体による迷路（約160㎡）、地域の青年団や愛護班等、11団体による模擬店、郷土の沢津音頭等で三世代の盆踊りの輪が広がり、地域の交流が図られた。





（４）平成 29 年度事業の反省及び今後の課題

高津連合自治会への加入単位自治会が 19 自治会に減少するなか、自治会加入率が 50％を切る状況となっている上に、高津老人クラブ連合会の弱体化、高津愛護班連絡協議会の解散など、各種団体においても役員のなり手不足からくる危機的な状況となっている。

今年度も平成 28 年度から立ち上がった高津まちづくり実行推進会議の４委員会（挨拶・見守り実行委員会、自治会活性化実行委員会、三世代交流わいわいクラブ、防災対策実行委員会）の活動をさらに活発にするとともに４委員会を中心に安心、安全なまち「たかつ」を目指し、地域の活性化に取り組みたい。

浮島公民館

（１）平成 29 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～明るく元気な浮島校区の構築～

１　青少年の健全育成を地域の課題として取り組む。

２　高齢者も児童も気軽に参加できる事業の推進

３　「安全・安心」の地域の拠点としてのレベルアップ

（２）実施事業一覧

事　業　名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
地域教育力向上プロジェクト推進事業						
総合講座	校区住民	21	37	63	3	103
男性料理教室	男性	38.5	167	30	0	197
女性講座	女性	23.5	11	125	2	138
家庭教育講座	児童、保護者	20.5	110	220	217	547
高齢者講座	高齢者	26.5	17	51	－	68
子ども教室	児童、校区住民	13	32	43	78	153
伝統を伝える講座	児童、校区住民	57	116	114	54	284
明るく元気が出る標語看板作り	校区住民	14.5	27	7	0	34
幼児児童の健全育成講座	まもる君パトロール隊他	18.5	91	38	422	551
防災講座	児童、校区住民	5	66	62	121	249
地域・学校連携体制構築事業	校区住民 学校教員	2.5	28	11	0	39
ふたごクラブ	双子の親子	21.5	1	63	64	128

（３）特色ある事業紹介

ア　春季大運動会

浮島校区運動会は、住民の高齢化と浮島小学校児童の減少により参加者が年々減少したことから公民館が中心となり関係者の協議の結果、平成18年度から浮島校区連合自治会･浮島小学校合同による春季大運動会を実施している。



イ　まもるくんパトロール隊

浮島校区では、大阪の池田小学校の事件をきっかけに、平成17年１月「まもるくんパトロール隊」を組織し、以来、児童の登下校の安心安全を目的に日々活動している。下校時間が学年により異なるため、同じ道を何度も往復するなど隊員の負担もかかっているが、「できるだけ児童を一人にしない」を合い言葉に雨にも負けず今日も頑張って活動を続けている。



ウ　校区防災訓練

浮島校区では、小学校の「防災参観日」と地域の防災訓練を合同で行う『浮島校区合同防災訓練』を実施しています。有事の際の避難経路を学ぶ机上訓練や29年度は参加者全員（小学生･保護者･教師･地域住民）が５つの班に分かれて各ブースを回り地域の消防団の皆さんのご協力を得て体験訓練を行いました。



エ　ふたごクラブ

市内で一つだけの活動で、市内に住む多胎児を妊娠中または育児中の方たちが子ども達と遊んだり、ふたごならではの育児の悩みを話したり、洋服や育児用品の情報交換をしたりしています。



（４）平成 29 年度事業の反省及び今後の課題

ア　地域の主体性を尊重した生涯学習の推進を図る。

イ　多くの地域住民が公民館活動に参加できるよう工夫し、地域の活性化に繋げる。

ウ　子ども達を地域で守り育てる意識と環境の向上を図る。

エ　公民館活動の担い手となる人材の確保と育成を図る。

惣開公民館

（１）平成 29 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域と共に歩む公民館づくりを目指して～

１　事業の企画・運営への住民の参画促進と人材の育成・発掘を図る

２　地域資源を活かしたまちづくり

３　地域住民に親しまれる公民館づくり

（２）実施事業一覧

事　業　名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
地域教育力向上プロジェクト推進事業						
シニア教室	シニア世代	13	12	50	3	65
遊ｙｏｕセミナー	校区住民	24	7	93	15	115
地域自主防災組織	校区住民	4	300	300	300	900
生活文化講座	校区住民	53	3	227	119	349
プリンス＆プリンセス講座	小学生	88	26	191	707	924
乳幼児学級	乳幼児、保護者	4	16	132	67	215
三世代交流事業	校区住民	23	280	450	630	1,360
まちづくり事業	校区住民	36	871	1,057	1,283	3,211
放課後子ども教室推進事業						
―	惣開小学校児童	80	33	279	707	1,019

（３）特色ある事業紹介

ア　地域の財産を活かしたまちづくり事業



惣開校区には別子銅山の近代化産業遺産が多く残り、それらを生かしたまちづくり事業を行った。

平成 29 年９月 16 日（土）「今宵はそうびらき＆未来への鉱脈＆観月会」を開催した。未来への鉱脈は、「そうびらき」をＰＲできるように、新居浜南高等学校ユネスコ部に協力してもらい、地元企業と地域・学校と連携で企画構成し、巨大スクリーンで歴史遺産のスライドショーを実施した。

観月会は、自治会が中心となり地域一丸となって、1,000食の「芋炊き」を作った。地域の住民が一つの輪になり心に残る事業を行った。

イ　三世代交流もちつき大会



（平成 29 年 12 月 10 日（日））

今年度より全校児童を中心に、開催した。

ＰＴＡや社会福祉協議会、自治会、地域の高齢者などがボランティアで参加し、小学校時代のよき思い出を作るとともに、古き良き日本の伝統文化にふれられて、三世代交流が図られた。

地域の方の手作り赤飯に、６年生の手紙が添えて校区内の独居高齢者に配られた。

ウ　プリンス＆プリンセス講座



惣開小学校児童を対象に夏休みに入った７月24日から８月22日に16回の講座を行った。講座を通して、子どもたちの豊かな心を育みたいと、国際理解・食文化・仲間づくり・自然科学・地域文化などに関する多様なステークホルダーと連携しながら、様々な体験活動を実施した。

（４）平成 29 年度事業の反省及び今後の課題

ア　世代間の交流のある講座の推進

イ　魅力があり、誰もが気軽に参加できる講座の開設

ウ　地域住民に対する生涯学習への認識と啓発（特に青年層）による新規参加者の増加

エ　学校と地域をつなぐESD活動の推進

若宮公民館

（１）平成 29 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～家庭・学校・地域の連携を図り、安全・安心で住みよい若宮校区づくりを目指す～

（２）実施事業一覧

事　業　名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
地域教育力向上プロジェクト推進事業						
環境にやさしいまちづくり	校区住民	6.5	30	65	97	192
安全・安心なまちづくり	校区住民	6	14	19	8	41
子どもが主役のまちづくり	校区住民	24	25	122	155	302
高齢者が安心して暮らせるまちづくり	高齢者	40.5	54	244	―	298
スポーツと健康	校区住民	8	24	57	0	81
地域の伝統・歴史の伝承	校区住民	26	69	103	152	324
趣味と教養	校区住民	13	0	71	0	71
地域づくり	校区住民	29.5	279	366	218	863
放課後子ども教室推進事業						
わかっ子こども教室	若宮小学校児童	55.5	42	188	285	515

（３）特色ある事業紹介

ア　防災講座

本地域は新しく開けた土地であるため海抜が低く、平成29年度も台風による浸水被害があった。毎年、校区連合自治会による地域全体が一体となった防災訓練を実施しているが、それに加え、避難所体験など災害時に役立つ講座を行い、地域住民の意識向上に努めた。

イ　高齢者対象講座

地域の高齢化率は市内において大島、別子山に次いで３番目となっている。このため、高齢者が孤立せず、健康で生き生きと過ごせるように、PPK体操、詐欺被害予防、エンディングノートなど各種講座を開催し，楽しみながらつどい学ぶ機会を提供している。

避難所体験



ＰＰＫ体操



ウ　子どもの居場所づくり推進事業

１　読み聞かせや昔の遊び、竹とんぼ作りなど学校への出前授業

２　毎週水曜日実施の放課後子ども教室

３　三世代交流事業

中でも三世代交流事業では、工作教室・小女郎たぬき踊り・そうめん流し・七草粥・バレンタインチョコ作りなど、地域ボランティアの方々と共に、学校では体験できない活動に取り組んでいる。

わかっ子こども教室（別子山炭焼体験）



三世代交流事業（そうめん流し）



（４）平成29年度事業の反省及び今後の課題

ア　公民館活動への住民の参画を推進するため広報活動の方法や、地域の活性化につなげる講座の企画・運営に努める。

イ　家庭・学校・地域の連携を一層深め、連合自治会・社協・老人会など校区内の各団体との共催事業を推進する。

ウ　小学校の統廃合に伴い、「若宮を元気にする会」による地域づくり活動を支援する。

垣生公民館

（１）平成 29 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域と共に歩む公民館～

１　地域住民に親しまれ支えられる公民館づくり
２　自ら学ぶ生涯学習の推進
３　各種団体・機関との連携強化
４　生活文化活動の振興
５　安全で住みたい垣生づくり

（２）実施事業一覧

事　業　名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
地域教育力向上プロジェクト推進事業						
高齢者講座	高齢者	14	25	57	―	82
婦人講座	一般	25	143	308	44	495
ふるさと文化講座	一般、児童	3	25	51	314	390
家庭教育講座	ＰＴＡ、児童	4.5	10	16	25	51
成人講座	一般	39.5	137	87	―	224
スポーツ健康教室	一般	6.5	88	62	0	150
三世代交流軽スポーツ大会	一般、児童 ＰＴＡ	3	80	43	46	169
校区史跡巡り	一般	7.5	0	28	0	28
イルミネーション	一般	4	80	150	190	420
垣生キッズ共和国	児童					
校区納涼祭	一般	8.5	165	205	170	540
垣生山遊歩道整備	一般	5.5	174	29	62	265
子育て支援	幼児、保護者	27.5	11	166	123	300
垣生環境美化事業	一般	14	2	44	0	46
緑のカーテン運動	一般	5	4	4	0	8

（３）特色ある事業紹介

ア　垣生山遊歩道整備

普段は垣生よもだ会のメンバーが定期的な活動で整備し、桜、チューリップのお花見、５月は鯉のぼりが泳ぎ、年末年始のイルミネーション等年間を通して楽しめ、訪れる人も徐々に増えつつある。

校区の象徴でもある垣生山。公民館、自治会等校区諸団体、学校が連携して春と秋の年２回、自分たちの手で清掃・整備することによって、大切に守っていく意識を共有して高めている。





イ　垣生校区三世代軽スポーツ大会

垣生小学校の体育館で、三世代交流軽スポーツ大会を開催。スマイルボウリング・輪投げ・カローリングなど、初心者や体力に不安がある方も一緒に楽しめる軽スポーツを、児童と保護者、地域の方々で和気あいあい楽しみ、交流を深める恒例行事となっている。今年は卒業生全員が参加し、６年生最後の楽しい思い出づくりに、地域の方々や保護者、先生が一緒になって盛り上がった様子が印象的だった。





（４）　平成 29 年度事業の反省及び今後の課題

ア　公民館運営方針の実現に向け、新しい講座を展開する。

イ　より一層の地域主導を目指し、運営審議会の充実を図る。

ウ　地域・学校・家庭がより連携し、青少年健全育成と子育て支援に取り組む。

神郷公民館

（１）平成 29 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～家庭・学校・地域の連帯強化を図り、一人ひとりが大切にされる、安心・安全で住みよいまちづくりを目指す～

１　青少年の健全育成
２　地域の安全と安心の推進
３　地域福祉の拡充
４　生涯学習の推進と各サークル活動の支援
５　お茶の間懇談会の拡充・強化
６　自主防災組織作りの拡充・強化
７　地域の環境美化の推進
８　スポーツの推進と健康づくりの推進

（２）実施事業一覧

事　業　名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
地域教育力向上プロジェクト推進事業						
高齢者講座	高齢者	25	250	180	―	430
いきいき講座	一般	29.5	25	119	0	144
乳幼児期家庭づくり講座	幼児、保護者	18.5	137	252	314	703
ママ友講座	一般、幼児	27	4	157	34	195
三世代交流事業	高齢者、一般 子ども	20	205	294	275	774
神郷夏祭り開催事業	一般	5	1,000	1,000	500	2,500
いきいきクラブ事業	一般	6.5	155	140	10	305
神郷まちづくり事業	一般	113	442	397	156	995
放課後子ども教室推進事業						
わくわくクラブ	神郷小学校児童	48	181	288	761	1,230

（３）特色ある事業紹介

ア　まちづくり事業

校区の各種団体役員が、安全安心、環境美化、健全育成の３部会に別かれ、よりよいまちづくりを目指して熟議を重ね、その内容を活かして各世代が協力して様々な事業に取り組んでいる。特に三世代交流の場作り、その活用による地域連携を目的に神郷校区住民のシンボルとして親しまれてきた「忠魂碑」がある広場の整備に力を入れ、桜・紫陽花の植樹も行っている。

また、ピザ窯を活用して三世代交流の輪を広げようとしている。

そうめん流し



ピザ作り教室



イ　観月会

新居浜の郷土食といわれる“いも炊き”で季節を味わいながら地域の親睦を図る。



ウ　防災訓練

「自分たちの地域は自分たちで守る」ため自主組織を整備し、災害に備えた様々な訓練を実施する。



（４）平成 29 年度事業の反省及び今後の課題

ア　どの事業もみんなで計画し、より多くの校区住民の参加を目指す。

イ　各自治会、諸団体の自治能力の育成強化を図り、地域発展につなげる。

ウ　学校・公民館・地域の連携を一層深め、青少年の健全育成に取り組む。

エ　神郷史情をより多くの校区住民に知っていただき、保存・伝承していきたい。

オ　神郷まちづくり委員会にて校区の問題点を浮き彫りにし、熟議を重ね問題解決に向け、知恵を出し合い取り組む。

多喜浜公民館

（１）平成 29 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～笑顔にあふれ、元気の出る公民館を目指して～

１　潤いと生きがいのある安全・安心なふるさとづくりの推進
２　世代間の交流、人材の発掘
３　学校・家庭・地域が一体となった青少年の健全育成
４　郷土の伝統文化の継承と郷土意識の向上
５　人権・同和教育の推進

（２）実施事業一覧

事　業　名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
地域教育力向上プロジェクト推進事業						
スクール多喜浜	一般	45.5	95	207	76	378
高齢者大学	高齢者	13.5	76	173	17	266
三世代交流事業	一般	11.5	35	38	80	153
だいすき多喜浜夏祭り	一般	17	278	352	195	825
塩田文化バンク	一般	25	17	213	133	363
環境講座	一般	9	50	23	2	75
まちづくり講座	一般	6.5	27	39	48	114
放課後子ども教室推進事業						
ボンデン広場	多喜浜小学校児童	42	19	144	285	448

（３）特色ある事業紹介

ア　塩田文化バンク

別子銅山とほぼ同時期に生まれた塩田は、新居浜の発展を支え昭和40年代まで多喜浜の住民とともにあった。廃田以降、人々の記憶から忘れ去られつつある多喜浜塩田を後世に継承していこうという声が地域から高まり、住民が主導してその伝承活動に努めている。塩田で培われた相互扶助、連携協力の精神的基盤である“かしょい”文化と共に、今では使われなくなった“かしょい”の言葉も受け継いでいくために啓発活動も行っている。「ソルティ多喜浜」を活用した「塩の学習館」での塩づくり体験学習、多喜浜塩田学習、塩田遺跡めぐりなど継続的に取り組んでいる。多喜浜小学校児童や地域の有志により「ソルティちゃん音頭」「塩田讃歌」の継承にも取り組んでいる。





イ　少年の日を祝う会

校区内で「少年の日」を迎える中学２年生を招待し、地域を挙げて祝う「少年の日を祝う会」を毎年開催している。今年度の中学生は、体育館にて和太鼓の鑑賞をした後、それぞれの手ほどきを受け、和太鼓演奏も体験した。式典では、保護者、地域住民出席のもと中学生たちが多喜浜に対する郷土愛と地域への感謝の気持ちあふれる素晴らしい発表を行い、とても良い三世代交流の場となった。





（４）平成 29 年度事業の反省及び今後の課題

ア　塩田文化の保存伝承

イ　伝統行事を通して様々な世代交流を行う。

大島交流センター

（１）平成 29 年度の交流センター活動の概要（重点事業）

～地域に親しまれるセンターづくり～

１　高齢者が楽しみながら健康維持できる推進事業

２　歴史と自然を守り伝統文化の伝承

３　住民どうしのつながりと安全・安心なまちづくり

（２）実施事業一覧

事　業　名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
地域教育力向上プロジェクト推進事業						
教養講座	一般、児童	43	22	76	0	98
高齢者講座	高齢者	15	16	57	―	73
伝統文化の継承	青少年、一般	12.5	33	24	5	62
防災教室	一般	11.5	11	35	0	46

（３）特色ある事業紹介

ア　伝統文化の伝承

伝統文化の保存と継承を目的とし、地域住民が親睦を深めながら、島外の人達との交流を図る。

念仏踊りの練習



史跡案内看板



イ　防災教室

災害時においての対策を防災運動会を通し、地域住民みんなで学ぶ。

急げ！けが人搬送リレー



施設研修



（４）平成 29 年度事業の反省及び今後の課題

ア　少子高齢化が進む中、伝統文化の保存と継承の対策

イ　島民の「買物難」解消と健康維持に役立つ事業の推進

ウ　非常時に備え、楽しく防災知識の習得ができる講座の実施

泉川公民館

（１）平成 29 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～新しい発見、気づこう、まちづくりの魅力～

１　再発見事業

２　住民が総参加の事業展開

３　まちづくりの醸成

（２）実施事業一覧

事　業　名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
地域教育力向上プロジェクト推進事業						
ふるさと塾	一般	14	138	95	3	236
なんでも学習会	一般	28.5	197	119	0	316
星原市	一般	6	495	389	120	1,004
環境講座	一般、小学生	3	9	2	18	29
泉川年輪のつどい	一般	2	52	37	25	114
伝統行事を伝える	小学6年生、一般	4.5	265	190	141	596
太鼓祭り観覧ツアー	一般	8.5	16	19	0	35
放課後子ども教室推進事業						
大好き泉川っ子	泉川小学校児童	12	45	67	361	473

（３）特色ある事業紹介

ア　星原市２０１７

青少年の健全育成とまちづくりの一環として、毎年実施している。実行委員会を立ち上げ、各種団体と前年度の反省を踏まえながら、よりよいものにするべく話し合いを行う。

小学生の相撲大会やスイカ割り、ショータイム、模擬店等でにぎわい、終わりには餅なげもあり、子どもから高齢者まで楽しめる夏まつりとなっている。





イ　健康ウォーキングと泉川健康体操

エクササイズウォーキングとして行っていた事業を引き継ぎ、体育振興会が中心となり『健康ウォーキング』を実施しました。

各ブロックの「防災マップ」「おさんぽマップ」をもとに、毎月第 3 金曜日に決めて、公民館から各コースを楽しみながら歩くウォーキングです。

泉川健康体操はラップの芯を使い誰でも簡単にできる健康体操で校区内のいろいろな行事で行うなど普及活動に努めています。





（４）平成 29 年度事業の反省及び今後の課題

ア　新規人材の確保、育成

イ　地域ぐるみで子どもや青少年の健全育成を図る。

ウ　地域福祉を推進する関係機関や団体と連携を強化する。

中萩公民館

（１）平成 29 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域力の向上による住民主役の開かれた民主的な公民館運営を目指す～
「目指せ!!住み良い町・住みたい町・行ってみたい町　日本一の中萩」

１　生涯学習・生涯スポーツ活動の推進
２　青少年健全育成の推進
３　社会福祉活動の推進
４　人権・同和教育の推進
５　安心・安全な地域づくりの推進

（２）実施事業一覧

事　業　名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
地域教育力向上プロジェクト推進事業						
中萩セミナー	成人	28	48	257	―	305
高齢者セミナー	高齢者	17.5	224	162	60	446
健康セミナー	児童～高齢者	33	79	185	27	291
福祉セミナー	成人	12	60	197	―	257
スポレク祭	児童、成人	3	18	24	60	102
十河信二を知り学ぶ活動	児童～成人	6	46	36	502	584
中萩三世代交流事業	児童～成人	12	55	67	277	399
環境改善事業	成人	20	20	42	―	62
まちづくり推進事業	成人	10	90	40	―	130
放課後子ども教室推進事業						
はぎっ子テン	中萩小学校児童	―	132	111	1,144	1,387

（３）特色ある事業紹介

ア　まちづくり推進事業

今年度から本格的にまちづくりについて話し合う「まちづくり座談会」を開催しました。全５回開催し、参加者は、校区の各種団体長をはじめとして、校区のまちづくりに関心のある方々で、毎回20名～25名の参加がありました。ワークショップ形式で参加者みんなが中萩のまちづくりについて活発に意見交換しました。今回の内容を次年度にもつなげて、より良い中萩のまちづくりが進むようにしたいと思います。





イ　中萩三世代交流事業

５回目となる「中萩校区三世代交流事業　～昔の遊び　やっちゃお～」を開催しました。今年度は初の試みで、お餅つき体験も取り入れました。老若男女多くの方が参加していただき、三世代の交流と地域住民間の交流が図れ、地域コミュニティの活性化にも貢献できたと思います。今年度も、たくさんの中萩中学生がお手伝いしてくれました。

餅つき体験



お手伝いの中学生



（４）平成 29 年度事業の反省及び今後の課題

ア　公民館の各種事業が、各種団体の積極的な支援と協力により有効に実施することができた。

イ　はぎっ子の健全育成について、地域の各種団体との連携を取りながら、なお一層の充実を図りたい。

ウ　地域の人々のニーズや実態を把握し、地域力の向上を図り、より多くの人々の参加を目指して、魅力ある事業を展開する。

エ　開かれた公民館として、地域の人々の誰もが活動し、また誰もがつながっている公民館にしていくことを目指す。

オ　まちづくりや地域活性化の拠点として活動できるよう話し合いの場を重ね、地域住民と一体となり、様々な事業を企画・運営していく。

船木公民館

（１）平成 29 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～安全で安心して快適に暮らせるまちづくり～

１　学校・家庭・地域の連携強化による青少年の健全育成
２　心豊かな福祉のまちづくりの推進
３　一人ひとりの学ぶ心を大切にする生涯学習の推進
４　人権・同和学習の推進
５　地域に根ざした親しまれる公民館づくり

（２）実施事業一覧

事　業　名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
地域教育力向上プロジェクト推進事業						
人権講座	一般	2	23	7	0	30
環境講座	児童、一般、高齢者	9	21	10	124	155
伝統文化講座	児童、生徒、一般、高齢者	20	268	602	310	1,180
健康講座	一般、高齢者	10.5	29	81	0	110
こども講座	児童、一般	13	12	38	133	183
ＨＡＰＰＹクッキング講座	児童、一般、高齢者	5	20	18	29	67
趣味講座	幼児、一般	19	1	113	1	115
池田池ラジオ体操とお池をかこむ会	児童、生徒、一般、高齢者	3	155	195	120	470
地域づくり講座	児童、生徒、一般、高齢者	14	2,868	2,990	800	6,658

（３）特色ある事業紹介

ア　三世代交流

芸能文化講座「七夕教室」

７月３日、地域の方により小学校の体育館に２本の大きな笹が用意され、長寿会の方や小学１年生とその保護者の方で、七夕教室を実施した。一人ずつ思い思いの願い事を短冊に書いたり、色紙を切って笹飾りを作った。棕櫚で笹に結びつける作業は難しく苦労していたが、皆で協力し、立派な笹飾りが出来上がった。記念撮影のあとは、自分たちの教室の廊下に飾り、七夕の日まで楽しんだ。日本の大切な行事である七夕を通して子どもたちの情操教育に役立つ時間になった。



環境講座（花いっぱい運動）

７月 10 日、長寿会の方と小学３年生が、池田池公園の花壇にマリーゴールドの苗を植え付けた。最初は、土で手が汚れるのを気にする子どももいたが、次第に慣れ、植え方を教えてもらいながら、小さな苗を丁寧に植えた。水やりなど手入れは長寿会の方がしてくださるので感謝しつつ、苗が大きくなり花が咲くのを時々見に行っているようである。

船木自慢の池田池には、今年もたくさんの花が咲き、人々の目を楽しませることができた。



イ　池田池ラジオ体操とお池をかこむ会

８月６日、池田池公園に老若男女約 200 人が集まり、ラジオ体操とウォーキングを楽しんだ。ゆるキャラ「まちゅり」と「みきゃん」も、大きな体で精一杯の体操を披露し、会場を盛り上げてくれた。体操の後、みんなでお池を一周のウォーキングを実施した。途中で配られた冷えた麦茶で乾いたのどを潤しながら、２．８キロの行程を三世代が交流しながら元気に歩いた。この事業には、船木中学校の生徒が会場整理などのボランティア活動で参加し、地域交流の場となっている。





（４）平成 29 年度事業の反省及び今後の課題

ア　地域住民が主体となる地域づくりの拠点として地域の発展につなげる。

イ　次世代を担う人達の愛郷心を育て、人材を発掘する。

ウ　コミュニティスクール導入に伴い、学校・地域・公民館の連携を一層深める。

大生院公民館

（１）平成 29 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域住民が集まり、共に進む公民館～

１　事業の企画・運営の住民参画を通して、人材の育成発掘を図る。

２　自然と地域資源を活かした特色ある事業の推進

３　放課後子ども教室推進事業への取組

４　自治会各種団体等と連携した安心・安全の地域づくりの推進

（２）実施事業一覧

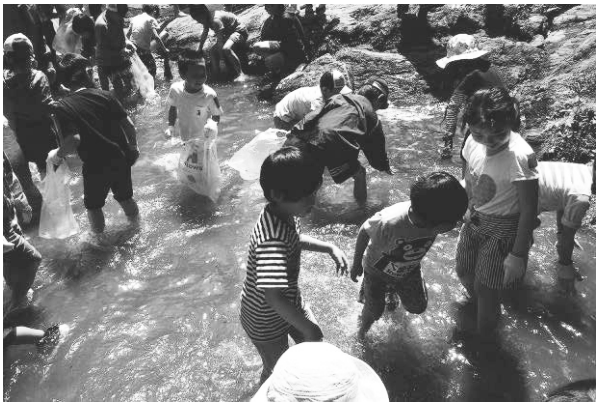
事　業　名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
地域教育力向上プロジェクト推進事業						
高齢者いきいきセミナー	高齢者	11	52	119	9	180
くらしのセミナー	一般	21	2	111	0	113
子育て支援セミナー	就学前の親子	6	0	22	19	41
スポーツ健康教室	一般、 小・中学校	9	82	18	10	110
三世代交流	幼児～高齢者	9	28	48	154	230
大野山プロジェクト	一般	14.5	481	405	755	1,641
ウォークラリー	一般	4	37	41	97	175
近藤篤山の孝道を訪ねて	一般	7	8	4	0	12
大生院まちづくり推進事業	一般	7	220	180	562	962
緑の少年団活動事業	小学校	―		8	620	628
放課後子ども教室推進事業						
でこぼこクラブ	大生院小学校 児童	205.5	25	82	602	709

（３）特色ある事業紹介

ア　大野山プロジェクト

大野山や渦井川、稲荷山公園など校区の地域特性を活かし、「歩いてゆく大野山ツアー」「マス釣り大会」「ほたる祭り」「ウォークラリー」等、たくさんの自然と触れ合うことのできる行事を行う。行事を通じ、自然を大切に思う気持ちが育つことを願い、これからも継続的に取り組んでいきたい。

マス釣り大会



ほたる祭り



イ　三世代交流事業

たのも団子作り、しめ縄作り、昔の遊びなど、伝統行事を通して、幼児から高齢者まで幅広い地域の方と交流を行う。こうした行事も体験できる機会が少なくなってきている昨今、地域の人には懐かしく、子どもたちには目新しく、お互いに楽しみながらできる行事となっている。

たのも団子作り



昔の遊び



（４）平成 29 年度事業の反省及び今後の課題

ア　公民館活動への住民の参画の促進をしつつ、次世代を担う人材の発掘と育成

イ　地域全体で、子どもや青少年の健全育成の充実

ウ　地域住民のニーズに合わせ、より多くの人々の参加を目指し魅力あふれる事業を展開していく。

エ　地域防災の更なる充実と強化

角野公民館

（１）平成 29 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～共に学び・つどい・喜び合える地域づくりを目指して～

１　思いやる心を育てる人権教育の充実を推進する地域づくり
２　伝統文化の継承と郷土愛を育てる地域づくり
３　学社融合でコミュニティスクール開設支援
４　自分達で命を守る防災組織の確立を図る地域づくり
５　三世代交流や人と自然の調和、健康で笑顔あふれる地域づくり

（２）実施事業一覧

事　業　名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
地域教育力向上プロジェクト推進事業						
合同セミナー	一般	20	396	408	1,193	1,997
手作りセミナー	一般	18.5	5	138	0	143
いき生き生活セミナー	一般、高齢者	18.5	34	30	12	76
家庭教育セミナー	子ども、一般	28	69	56	140	265
スポーツ健康教室	子ども、一般	5	4	25	158	187
伝統文化プラン	一般	20	347	288	181	816
未来まちづくりプラン	一般	15.5	64	97	132	293

（３）特色ある事業紹介

ア　家庭教育セミナー『子どもが真ん中　夏休み子ども教室』

角野校区では、温かい思いを知り成長する事を目的とし、地域ぐるみで夏休み中さまざまな体験学習を実施しています。防災意識を高めるサバイバルシリーズ（防災キャンプ）・科学を身近に感じ環境問題をテーマに考える（理科教室）、地域社会との交流を深め、地域の方々のサポートに加え、小・中・高生が活躍し幅広い相互の交流を深めている。

サバイバルキャンプ



理科教室



イ　伝統文化プラン『地域と学校が連携し、身近な歴史を詳しく知り学ぶ』

近代化産業遺産が多く残る地域、別子銅山を知り後世に伝える事業を柱にしている。すみの夏祭りに開催される「ちびっこ相撲」は、白熱した取り組みが繰り広げられる。土俵の手入れ、行事等、地域とＰＴＡのサポートを受け伝統が受け継がれている。また、「とうどおくり」においては、中学生、ＰＴＡ父親部が竹の切り出しを担当し、地域の方々と協力し作り上げ伝統の継承を図っている。

そして今年も「別子銅山で繋がる歴史」と題し、深い繋がりがある口屋跡記念公民館との交流事業が２回目を迎えた。それぞれの校区の案内や郷土芸能の披露、郷土料理も加え、新居浜の歴史、別子銅山の自然を紐解きお互い交流を深める。今後さらに充実した息の長い交流をはかりたい。

ちびっこ相撲



口屋跡記念公民館との交流事業



とうど送り（組み立て）



（４）平成 29 年度事業の反省及び今後の課題

ア　学校との連携により、充実したコミュニティスクールの展開を進める。

イ　次世代を担う人材の発掘と育成に努める。

ウ　アクティブラーニング、課題解決型活動を推進し豊かなまちづくりを目指す。

エ　人権教育（思いやる心）の充実

別子山公民館

（１）平成 29 年度の公民館活動の概要（重点事業）

～地域づくりの拠点として、暖かく温もりのある公民館を目指して～

１　学校・地域との連携を図り、地域活性化につなげる
２　伝統文化の継承と郷土愛の醸成を図る
３　人権・同和教育の推進
４　青少年の健全育成を図る
５　世代間交流の充実強化

（２）実施事業一覧

事　業　名	対　象	時間数	延べ参加者数			
			男	女	子	計
地域教育力向上プロジェクト推進事業						
健康づくり教室	校区住民	10	31	21	9	61
地域環境講座	校区住民、新居浜市民	4	9	10	0	19
まちづくり支援事業	校区住民	3	22	6	0	28
ふれあい体験学習	校区住民、新居浜市民	11	31	23	4	58
いきいきまちづくり	校区住民、別子小・中学校	13	70	66	30	166
地域文化の伝承	校区住民	15	24	19	0	43

（３）特色ある事業紹介

ア　地域環境講座（山菜等採取講習会）

別子中学校の生徒も増え、勉強だけではなく別子山地区の自然にも接して頂きたく、山菜採りを実施いたしました。講師は地元で農業など自然を楽しんでいる人にお願いしました。食べられる山菜だけではなく、食べられない植物も勉強しました。美味しそうな、タラノメ、コシアブラ、など　生徒や先生が見たことのないような食材が沢山取れました。公民館で主婦の方に、山菜料理のおいしい食べ方を指導して頂き　全員で食しました。



イ　ふれあい体験学習（地域を歩く散策ツアー）

「ダイヤモンド水まで歩こう」

別子山地区には自然以外に、産業遺産と言う宝物があります。元禄４年から大正５年まで旧別子で銅鉱石が採掘されていました。その間２３０年余の歴史が山の中に眠っています。ダイヤモンド水までは江戸時代末から大正時代までの比較的新しい地区で、傾斜も少なく歩きやすく、自然・歴史・体力作りととってもいいコースです。マイントピア別子のガイドさんの案内はわかりやすく時間を忘れました。



イ　地域文化の伝承（蕎麦打ち体験）

昔は各家で蕎麦を打っていたが、現在は蕎麦を栽培している家も少なく、蕎麦を食べることも稀になってきた。別子山の伝統ある食べ物ですが、蕎麦を打つ人も段々と高齢化し、体力的に限界にきている。地域で蕎麦を打てる人がいるので、講師に招き　蕎麦打ち体験をする事にした。昨年秋に蕎麦を植え、そば粉にしていたので、これを分けて頂き、蕎麦打ち道具一式を借り受け　ふるさと館で講習をした。全員が蕎麦打ちは初めてで　粉をコネル時の水の分量に苦労する。少ないと、固くなり　伸ばすときに伸びなく　無理をすると　割れて麺にならない。水が多いと　そば粉が手につき、取り外すのに一苦労する。耳たぶのような柔らかさがベストのようです。



（別子銅山探索）

秋に予定していたこの計画ですが台風で延期になり、冬季には積雪で探索が困難となる。参加希望者の強い要望もあり３月に雪が解けてから実行された。別子銅山最後の坑口となった筏津坑は扉が閉ざされ中は薄暗い。新居浜市役所運輸観光課が扉の鍵を管理されているので借り受け、投光器を使い中に入ることができた。新居浜との輸送の拠点だった日浦にも足を運び日浦通洞・策動場などを探索する。



（４）平成 29 年度事業の反省及び今後の課題

ア　溢れる自然という地域素材を利活用した、体験型学習の推進を図る。

イ　地域住民の生涯学習の推進を図り、人材育成につなげる。

ウ　地域づくりの拠点として、地域課題を検討し、今後の地域発展につなげる。

エ　地域の連携を一層深める。

青少年センターの主な施策と実績

1　運営協議会

青少年センターの運営に必要な運営方針、重点目標、業務計画、少年補導委員の推薦、青少年の善行表彰の審議等について協議している。

協議会の開催状況（平成 29 年度）

第１回　平成 29 年　５月 25 日（木）

第２回　平成 30 年　２月　９日（金）

2　街頭補導

街頭補導は、少年補導委員を中心に活動場所を選んで効果をねらうとともに、計画的・組織的に問題少年、非行少年の早期発見、早期補導を基本に取り組んでいる。

（１）実施の状況（平成 29 年度）

街頭補導回数	従事補導委員延べ人数	補導した少年延べ人数
630 回	2,921 人	262 人

（２）行為別内容（指導・声かけ）（平成 29 年度）　（単位：人）

区分	児童生徒	その他	計
飲酒			
喫煙	2		2
怠学・怠業			
盛り場徘徊			
夜遊び			
暴走行為			
ゲームセンター	19		19
無灯火・重乗等	10		10
声かけ（帰宅指導等）	214		214
その他	13	4	17
計	258	4	262

3　相談活動

国際化、少子化、高齢化、情報化などが進む今日、青少年を取り巻く社会環境も変化し、また、青少年自身の価値観、意識、行動も変容している。

このような社会の中で、保護者をはじめ、学校関係者、地域住民、関係機関等が連携を密にし青少年の健全育成に取り組んでいる。

青少年の健全育成には、子どもたちの人間性を豊かにし、たくましく生きる力を育成することが必要である。

子どもの非行、いじめ・問題行動などで悩みをもっている家庭、関係者、青少年自身からも相談を受け、問題の早期解決、予防、生活習慣の改善策等について話し合って支援をし、必要な場合は関係諸機関に連絡し、相談、助言、指導を行っている。

（１）相談の日　　毎週月曜日～金曜日　8:30～17:15（祝日・年末年始の休日を除く）

（２）相談の方法　　来所相談・電話相談・招致相談

（３）平成 29 年度少年相談の状況

項　目	来所相談	電話相談	招致相談	合　計
相談件数	4	13	0	17

ア　相談対象者

学　識	小学生	中学生	高校生	その他	合計
相談件数	1	5	6	5	17

イ　相談内容

相談内容	家庭問題	学校	非行・不良行為	その他	合計
相談件数	4	7	5	1	17

４　関係機関・団体との連絡連携

家庭、学校、警察、大型店、関係機関、団体等との連携により問題少年、非行少年等の早期発見、早期補導に努めた。

関係機関や団体が催す青少年健全育成、非行防止等の研修会、連絡会等に積極的に参加し、情報の収集、情報交換等に努めた。

５　青少年善行表彰

青少年の資質の向上を目的に日常生活や行動において善行著しい者について、運営協議会の決定に基づいて表彰した。

【善行表彰受賞者（平成 29 年度)】

中学生７名　　高校生６名　　高専生５名　　小学校１団体　　高校１団体　　高専１団体

６　青少年健全育成の活動状況

新居浜市では、７月１日～７月 31 日の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、11 月１日～11 月 30 日の「子ども・若者育成支援強調月間」を重点に、青少年健全育成のための活動を展開している。

（１）青少年健全育成に関する啓発資料の作成と配布

広報紙による啓発と未成年者の飲酒･喫煙防止等の啓発。

（２）青少年健全育成に関する標語

各小・中・高校へ標語を募集し、審査の後、表彰した。(応募数は、小学生 48、中学生 30、高校生 15)

最優秀（３点)、優秀（５点)、佳作（12 点）作品は、広報誌に掲載及び強調月間中、ポスターを作成し、小･中･高校、公民館、市役所等に掲示し、啓発に努めた。

＜最優秀＞

あいさつで　あかがねの街に　えがおさく	船木小５年	宮部　花菜実
カメラより　地域のきずな　防犯に	南中３年	安東　佑奈
見逃さず　やめろの一言　自分から	南高３年	野口　耕平

＜優秀＞

うれしいな　ありがとうって　きもちいい	船木小１年	槇　優月
新居浜は　えがおが一番　にあう町	船木小４年	篠原　珠生
「ごめんね」を　「いいよ」と許せる　真の友	若宮小６年	秋月　雄太
見ないふり　その目と心　閉じちゃダメ！	東中２年	平山　唯月
その未来　変えていくのは　自分自身	南高１年	高橋　美優

生涯学習センターの主な施策と実績

1　生涯学習センター事業報告

生涯学習センターでは、従来の社会教育事業を継続するとともに、市民の高度化、多様化した学習ニーズに対応した生涯学習大学を開設し、学習機会の提供の充実を図った。また、生涯学習情報の提供、市民の生涯学習への自主的な参画（生涯学習推進員・大学運営スタッフ）に努めた。

2　生涯学習大学の開設

市民一人ひとりが自主的に参加し、自らの意思で選択し受講できる生涯学習大学を開設している。

（１）　生涯学習大学講座内容　　（平成 29 年度）

講座名	対象	実施期間	回数	時間数	学級生数(人)		延べ参加者数(人)
					男	女	
日本文学講座	市民	H29. 5.13～H29.11.11	8	16	17	63	459
松山大学公開講座	市民	H29. 5.20～H29.12. 8	8	16	37	19	280
新居浜高専市民講座	市民	H29. 5.13～H29.11.18	8	16	56	17	425
科学博物館講座	市民	H29. 5.31～H29.11. 8	8	16	37	24	326
遍路学事始め	市民	H29. 5.30～H29.11.28	5	10	34	15	217
ふるさと学	市民	H29. 5.11～H29.11. 9	5	10	38	23	243
郷土ものがたり	市民	H29. 5.18～H29. 9. 7	4	8	22	12	115
新居浜おとな塾	市民	H29. 6.16～H29.10.31	4	8	14	10	78
自然探訪	市民	H29. 5.16～H29. 9. 5	4	8	18	26	137
さわやかラジオ体操	市民	H29. 6. 3～H29. 6.29	4	8	7	29	102
もっと知りたい別子銅山	市民	H29. 5.12～H29. 9. 1	4	8	32	18	135
シニアライフ	市民	H29. 5.19～H29.10.27	4	8	17	36	148
新居浜環境講座	市民	H29. 5.17～H29. 8.30	4	8	11	9	52
住友と別子銅山	市民	H29. 5.25～H29. 8.31	4	8	39	16	169
多喜浜塩田の歴史	市民	H29. 5.23～H29. 9.19	4	8	10	3	48
身近な国際交流	市民	H29. 5.17～H29. 8.10	4	8	8	22	78
こころはずむお手玉遊び	市民	H29. 5.26～H29. 8.25	4	8	5	50	168
懐かしの心の唄	市民	H29. 5.24～H29.11.15	8	16	42	228	1,600
健康アラカルト	市民	H29. 6. 1～H29.10.26	4	8	5	50	141
語り部教室	市民	H29. 5.20～H29. 8.29	4	8	1	26	76
にいはま若者塾	市民	H29. 8. 1～H29. 8. 4	4	8	10	25	142
みんなで創ろう！まなびの輪	市民	H29. 6.22～H29.11. 7	6	12	5	13	111
雑談しま専科	市民	H29. 6. 7～H30. 3. 7	10	20	11	35	280
チケット受講生	市民				延べ(68)	延べ(43)	111
修業のつどい	市民	H30.1.20	1	3			271
計			123	247	476	769	5,912

（２）講演会

行事名	実施年月日	事業の内容	参加者数
平成 29 年度 「修業のつどい」講演会	平成 30 年 1 月 20 日(土)	講師　讃岐　幸治 （新居浜市生涯学習大学学長） 演題　余白のある人生を （新居浜市市民文化センター中ホール）	271 人

高齢者生きがい創造学園の主な施策と実績

1　高齢者生きがい創造学園事業報告

おおむね60歳以上の者を対象にして、その生きがいづくりと健康・自立を目指す学習ニーズに応えられるよう講座を開設して、学習機会の提供、各種情報の収集・提供やボランティア活動・サークル活動の促進をした。

（１）　生きがい創造学園講座内容　　（平成29年度）

講　座　名	実施期間	回数	時間数	学級生数(人)		延べ参加者数(人)
				男	女	
高齢者社会を賢く生きる	H29．6．6～H29.11.14	8	16	21	32	333
郷　土　を　歩　く	H29．5.11～H29.11．2	6	36	18	15	158
男　の　料　理　教　室	H29．5.17～H30.2．14	8	24	23	0	167
趣　味　の　料　理　教　室	H29．5.12～H30.2．9	8	24	4	20	175
家　庭　菜　園　教　室	H29．5.16～H29.12.12	8	16	24	11	216
川　柳　教　室	H29．5.10～H30.2.14	9	18	3	7	79
茶　道　教　室	H29．5.19～H30.3．2	16	32	4	8	158
書　道　教　室	H29．5.17～H30.2．21	15	30	8	22	352
絵　手　紙　教　室	H29．5.16～H30.3．6	16	32	3	23	385
写　真　教　室	H29．5.18～H30.2.15	10	20	16	8	189
陶　芸　教　室	H29．5.17～H30.2.21	8	16	8	12	141
コ　ー　ラ　ス　教　室	H29．5．8～H30.3．5	16	32	8	37	573
四季の組み木教室	H29．5.11～H30.2．8	9	18	7	7	99
ハ　ー　モ　ニ　カ　教　室	H29．5.18～H30．3．1	16	32	5	11	209
グラウンドゴルフ教室	H29．5．8～H30．2.19	16	32	17	23	454
ラージボール卓球教室	H29．5.15～H30．2.19	16	32	10	26	510
３　Ｂ　体　操　教　室	H29．5.19～H30．2.16	10	20	1	21	151
計		195	430	180	283	4,349

（２）サークル活動等

【サークル活動】

講座終了者が、グラウンドゴルフサークルをはじめとする58サークルで自主的で幅広い活動をしている。

年間延べ回数 1,466回　　男 12,137人　　女 22,940人　　計 35,077人

【代表者会】

目　的　　学園の事業に積極的に参加し、その健全な発展を図ることを目的とする。

構　成　　学園の各講座、サークルの受講者の互選により選出された代表者で構成される。

組　織　　総務委員会・広報委員会・体育委員会・文化委員会・音楽委員会で構成される。

行　事　　学園祭・グランドゴルフ大会・研修会等

学校教育課の主な施策と実績

平成 29 年度の重点目標を「基礎的・基本的な事項の確実な定着を図り、「生きる力」の基となる、確かな学力と豊かな心、健やかな体の育成を目指し、家庭や地域社会との連携を深めながら、個性を生かす特色ある学校教育の充実に努める。また、安全管理の徹底を図り、健やかな学習環境の整備に努める。」として、前年度の反省を活かし、調和のとれた教育課程の編成と実施に努めた。また、地域に根ざした開かれた学校経営に努めるとともに、創意を生かした特色ある学校づくりを目指し、その改善・充実を図った。

特色ある学校づくり

学校は地域の誇りであり、選ばれる立場にあるということを認識し、学校教育の画一性・受け身体質を克服し、各学校がそれぞれの実情に応じ、自主的・自立的に創意・工夫を凝らした教育の展開を図る。

〈重点実施項目・内容〉

◎「持続可能な開発のための教育（ＥＳＤ）支援事業」を推進する。

小学校

学 校 名	事　　業　　名（実施テーマ）
新居浜小学校	見つめよう　考えよう　未来へつなげよう　ふるさと新居浜 ～学校ビオトープの学びを中心に～
宮 西 小 学 校	地域とつながり　未来へはばたく　みやにし（人・文化・自然）
金 子 小 学 校	未来につなげよう！金子愛顔の町プロジェクト～かかわる・つながる・ひろがる～
金 栄 小 学 校	金栄いきいきつながりプロジェクト～地域の方との交流活動を通して～
高 津 小 学 校	ふるさと発見　つなげよう未来へ
浮 島 小 学 校	「共に生きる」
惣 開 小 学 校	自ら学び、自ら考え、持続可能な社会づくりに参画・貢献できる人材の育成 ～学校と地域のパートナーシップを構築し、多様なステークホルダーとの協働により学校と地域をつなぐＥＳＤ活動を通して～
若 宮 小 学 校	自己を拓き　広げよう　ともに生きる力
垣 生 小 学 校	「社会」「自然」「歴史・文化」とのふれあいを通して ～命の尊さとともに生きることの素晴らしさを感じられる子～
神 郷 小 学 校	めざそう　神郷　Ｅ環境
多喜浜小学校	多喜浜塩田を未来に伝えよう
泉 川 小 学 校	進めよう！エコ・アクション ～地球環境を守るために、明るい展望をもって気付き、考え、実行する児童の育成～
船 木 小 学 校	ふれあい　～ふるさと船木の森・自然・人～
中 萩 小 学 校	「伝えよう！地域のよさを」
大生院小学校	「つながり」を大切にする子どもの育成 ～人・地域社会・自然との関わりを通して～
角 野 小 学 校	角野小学校タイムトラベル ～ふるさとに誇りをもち、そのよさを発信していける子の育成～
別 子 小 学 校	「学校・地域文化の継承　自然から学ぶ」～ふるさとを守ろう　ふるさとから学ぼう～

中学校

学 校 名	事　　業　　名（実施テーマ）
東　中　学　校	「うぐいす運動」
西　中　学　校	「地域を知り、人とつながり、未来を拓こう」
南　中　学　校	「共生社会」の実現を目指し、自己の生き方を探ろうとする心豊かな生徒の育成
北　中　学　校	『ふるさと学習』～地域を知り、地域に学び、地域に発信する～
泉 川 中 学 校	地域に生きる一員として公のために行動する
船 木 中 学 校	「環境」をテーマに持続可能な発展を目指し、私たちはどのように生き抜けばよいのか考えよう。
船 木 中 学 校 ひ び き 分 校	「地域と連携した和太鼓活動」～地域に学び、自己の生き方を考える～
中 萩 中 学 校	「自立・共存・交流」～地域に学び、自己の生き方を考える～
大 生 院 中 学 校	伝え合い学び合う生徒の育成～人・もの・自然との関わりを通して～
角 野 中 学 校	大人になっても語ろう！角野の誇り
川 東 中 学 校	「地域の暮らしを見つめ、地域や社会の一員としてよりよく生きる」
別 子 中 学 校	「学校・地域文化の継承　自然から学ぶ」～ふるさとを守ろう　ふるさとから学ぼう～

生徒指導

不登校対策に校長を中心に全教職員が一致協力して取り組み、全力を尽してその防止・解決に努めた。

不登校対策検討委員会や関係機関との連携を図り、実態に即した活動を実施した。

昨年度に引き続き本年度も、教育委員会、各学校及び青少年の健全育成団体との連携を図るため、「児童生徒をまもり育てる協議会」を中学校区別に実施した。

各学校と「あすなろ教室」との連携を深め、進路相談会や研修会を実施した。

人権・同和教育

校区別人権・同和教育懇談会開催事業として、基礎研修、学級・学年別研修及び地区別懇談会の三本立で実施した。地区別懇談会は、中学校区ごとに運営委員会を開催して取り組み、小・中学校、保護者、行政、地域住民が協力する取組が定着してきた。

国際・情報化

平成 28 年７～８月に新たに８名のＡＬＴを招致し、計 11 名のＡＬＴと英語指導員（３名）を小・中学校に派遣することにより、生きた英語教育の充実を図ることができた。また、市内全小・中学校がホームページを開設し、広く情報公開に努めている。

１　教職員研修の推進

研修内容の３本柱として、「特色ある学校づくりの推進と学習指導の充実」「人権・同和教育の充実」「生徒指導の徹底」を挙げ、次のとおり研修に努めた。

（１）重点目標

豊かな人間性や生きる力の育成

（２）最重要課題

ＥＳＤの推進による楽しい学校づくり

（３）研修の内容

ア　特色ある学校づくりの推進と学習指導の充実

㋐　基礎的・基本的事項を確実に身につけ、個性を生かす学習指導の充実と評価方法の確立に努める。

㋑　児童生徒や地域の実態等を十分に踏まえ、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する。

㋒　豊かな体験を通して、道徳的実践力の育成と情操教育の充実を図る。

㋓　学校図書館や教育機器(コンピュータ等)の活用による指導法の改善に努める。

㋔　体験的・問題解決的な学習を重視し、ティームティーチングや少人数による授業の実施等、多様な学習指導の工夫に努める。

㋕　授業研究、事例研究等の研究を通して、「生きる力」を育てる実践的指導力の向上を図る。

イ　人権・同和教育の充実

㋐　相互に認め合い、戒め合い、支え合う仲間意識を育て、いじめ等を生まない集団づくりに努める。

㋑　家庭・地域・学校の連携をより深め、人権思想の啓発と高揚を図る。

㋒　困難な条件のもとにある児童生徒の教育条件を整備し、学力の向上と進路保障の体制を整える。

㋓　差別の現実を正しくとらえ、差別を解消する視点を明確にし、問題解決への実践力を身につける同和問題学習の推進に努める。

㋔　小・中学校の連携を図りながら、教職員一人一人の同和教育間の確立と同和問題解決の力量を高める。

ウ　生徒指導の徹底

㋐　いじめ・不登校・非行の問題について、校長を中心に全教職員が一致協力し、全力を尽くしてその防止・解決に努める。

㋑　学習指導と生徒指導の一体化を図り、一人一人のよさを認め、可能性を伸ばすよう指導の改善に努める。

㋒　教職員と児童生徒、保護者との信頼関係を確立し、積極的な生徒指導に努める。

㋓　児童生徒や保護者に対する教育相談を充実し、温かい人間関係のなかで、児童生徒理解に努める。

㋔　学校と家庭・地域社会・関係諸機関等との連携を密にし、協力体制の一層の充実を図る。

（４）研修の日程と協議内容

ア　小・中学校長研修会

４月 11 日(火) 新居浜市教育委員会平成 29 年度基本方針の説明及び平成 29 年度　校長研修会計画

11 月 15 日(水)「自分に問い続けたい人権・同和教育への思い」

２月 21 日(水)「学校経営の反省を今後の教育に望むこと」

イ　小・中学校教頭研修会

５月 29 日(月) 開催

研究協議題「初任者や講師など学校組織において若年教職員数が急増する中、教頭としてどのように若年教職員のよさや課題を生かした学校運営をしていくか。」

・本研修会で作成した「若葉教職員ハンドブック」を教職経験５年以内の教職員に配付した。

８月 22 日(火) 開催

研究協議題「確かな学力を基盤とした「生きる力」の育成を目指し、社会総がかりで取り組む教育の推進に教頭としてどう取り組んでいくか。」

・学校現場に託された喫緊の課題〈Ⅰ　主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
Ⅱ　道徳性を養う「特別の教科　道徳　Ⅲ　ボイスシャワー・人のことを大切にして聞くこと」〉について教頭作成のパワーポイント資料を基に、協議した。

ウ　小・中学校主幹教諭及び教務主任研修会

５月 19 日(金)「学校の教育目標を具現化するために、主幹教諭及び教務主任として、自校の業務改善をどのように進めていくか。」

８月 17 日(木)「コミュニティ・スクールの導入に向けて、地域とともにある学校づくりのために、主幹教諭及び教務主任として、どのような取組や工夫をしているか。」

エ　小・中学校生徒指導主事研修会

４月 25 日(火)「いじめ・不登校の未然防止のために、各校においてどのような工夫、努力をしようとしているか」

８月 23 日(水)「不登校への対応について」

２月　６日(火)「いじめ、不登校への取組と次年度への課題」

オ　交通安全指導担当者研修会

４月 18 日(火)「小・中学生の交通事故の実態とその対策について」

カ　人権・同和教育主任研修会

４月 27 日(木)、５月 18 日(木)、８月８日(火)、８月 24 日(木)、12 月 26 日 (火)、１月 16 日(火)、２月 19 日(月)

平成 29 年度人権・同和教育の推進について

・校区別人権・同和教育懇談会の取組について
・新居浜市小中学校人権・同和教育研究大会の取組について
・人権作文の取組について
・共通教材について
・平成 29 年度の人権・同和教育の推進の反省と今後の課題について
・平成 30 年度からの人権・同和教育の進め方について

キ　学力向上研修会

〈小学校〉

６月 21 日 (水) 開催

・国語 (低・高)・社会・算数 (低・高)・家庭・道徳・特別活動・外国語活動・特別支援教育の授業公開を実施し、授業研究を行った。

６月 27 日 (火) 開催

・国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語・道徳・特別活動の授業公開を実施し、授業研究を行った。

ク　新居浜市小・中学校人権・同和教育研究大会の開催

11 月 20 日(月)

小・中学校同日開催とし、小・中の交流を深めた。

【研究主題】「差別の現実から深く学び、同和問題をはじめとする様々な人権問題について正しく認識し、明るい展望をもち、その問題の解決に取り組む児童生徒を育てる教育実践はどうあればよいか」

小学校　〔会場〕Ａ群　宮西小学校
　　Ｂ群　高津小学校
　　Ｃ群　角野小学校

中学校　〔会場〕Ａ群　北中学校・船木中学校・船木中学校ひびき分校
　　Ｂ群　南中学校

２　教育研究所の歩み

21 期の２年次として、ふるさと学習の研究に努めた。基礎・基本の定着を図り、分かる授業の徹底と家庭学習の充実により、学力の向上を図る実践研究とふるさと学習の調査研究を行った。

教育研究所員については、20 期において次の体制のもとに実践研究を行った。

ア　新居浜市学力向上推進委員と研修主任とする。

イ　原則１年として再任を妨げない。

ウ　21 期教育研究所の期間は、平成 28 年４月～30 年３月(２年間)とする。

【主な活動】

５月 11 日 (木)　第１回新居浜市学力向上推進委員会
５月 10 日 (火)　第１回新居浜市学力向上推進委員会実践活動部会
５月 22 日 (月)　第１回社会科副読本編集委員会
８月　３日 (木)　第２回社会科副読本編集委員会
９月 28 日 (木)　第２回新居浜市学力向上推進委員会
12 月 26 日 (火)　第３回社会科副読本編集委員会
１月 23 日 (火)　第４回社会科副読本編集委員会
２月 20 日 (火)　第３回新居浜市学力向上推進委員会
３月　学力向上推進委員会から教育委員会へ「提言」の提出

３　適応指導教室(あすなろ教室)の歩み

不登校児童・生徒の数が全国的にも、また新居浜市においても増加の傾向にあることから、平成５年９月に青少年センターが旧図書館の一階に移転したのを機会に、同年 10 月から青少年センター内に「適応指導教室」を設置した。当初は、中学校生徒の受入れのみで始まったが、学校教育課所管になった平成 10 年度から、児童の受入れも開始した。

【入級児童・生徒数】

年　　度	人 数（名）	備　　考
平 成 20 年 度	16	うち　児童２名
平 成 21 年 度	23	うち　児童４名
平 成 22 年 度	20	うち　児童５名
平 成 23 年 度	19	うち　児童２名
平 成 24 年 度	15	うち　児童２名
平 成 25 年 度	19	うち　児童５名
平 成 26 年 度	22	うち　児童２名
平 成 27 年 度	21	うち　児童２名
平 成 28 年 度	23	うち　児童３名
平 成 29 年 度	20	うち　児童５名

中学生英語キャンプ



４　教育における国際化への対応

（１）ＡＬＴ（外国語指導助手）による訪問指導

新居浜市では、総務省・文部科学省及び外務省の協力で行っている「ＪＥＴプログラム」（語学指導を行う外国青年招致事業）の事業目的に則りＡＬＴ（外国語指導助手）として、新規に３名を招致した。

ア　趣　旨

各中学校の英語担当教員及び生徒、また、各小学校教員及び児童に、ＡＬＴによる生きた英語に接する機会を提供し、本市の英語教育の充実発展を図り、合わせて国際理解教育推進の一助とする。

イ　訪問期間

平成 29 年４月～平成 30 年３月

ウ　訪問（派遣）方法

訪問日は、月曜日から金曜日までとする。ＡＬＴ11 名が中学校に常駐。各中学校から計画に従って担当小学校に派遣

エ　ＡＬＴの職務

㋐　英語教師の授業補助（ティームティーチング）
㋑　英語担当の教員の研修（現職教育）
㋒　教材作成の援助
㋓　その他、学校長に指示された職務

オ　成　果

「ＡＬＴとのふれあいや授業を通して、発音やスピーチ能力が高まり、英語に関心をもつ児童生徒が増えた。」あるいは、「自分の英語力を試そうとする生徒が増え、コミュニケーション能力が育ってきている。」等の学校からの報告がある。このようなＡＬＴとのティームティーチングによる授業を通して生きた本場の英語を体験させ、学ぶ楽しさと国際理解を深めることができた。

（２）　第 28 回新居浜市中学生英語スピーチコンテストの開催

英語によるコミュニケーションや表現に興味をもたせ、国際化社会に対応できる生徒を育成することをねらいに、新居浜市中学生英語スピーチコンテストが、市内英語教科会の協力のもとに開催された。

○　主　催　　新居浜市教育委員会　　新居浜ライオンズクラブ
○　日　時　　平成 29 年 11 月 28 日（火）
○　会　場　　新居浜市市民文化センター中ホール
○　弁　士　　10 名
○　題　材　　自由（５分以内）

（３）小学校英語指導員による訪問指導

英語指導員３名が市内の全小学校訪問指導し、外国語活動や総合的な学習の時間などを活用して、小学生の英語活動や英会話学習、国際理解教育の指導に当たっている。

５　中学生による国際交流事業

（１）趣旨

21 世紀を担う中学生が国際交流を通して、その国の文化・経済・生活習慣・国民性等を理解して、友好親善の絆を結ぶとともに、国際的視野の拡大を図り、国際感覚を磨き、さらには本市の活性化に通じる諸活動を推進するため、昭和 61 年度から中高生を中心に海外派遣研修事業を実施している。なお、新居浜市国際交流推進委員会の審議を経て、平成 19 年度から中学生海外派遣事業としてアメリカ合衆国フランクリン市へ中学生を派遣していたが、フランクリン市との本事業は平成２９年度で終了となった。

（２）実施状況

	訪問国（都市）	名称	日程	訪問者
61	中国 （泰安・済南・徳州）	日中友好の翼 ニイハマ訪中団	7／23 ～ 7／31	市長、教育委員、 市議会議員、教師等 11 人 中高生 20 人
62	東南アジア （シンガポール・バンコク）	東南アジア 友好のかけ橋‘87 団	7／23 ～ 7／29	団長（教育長） 教師等６人 中高生 25 人
63	韓国	‘88 日韓友好団	8／1 ～ 8／8	団長（教育長） 教師等６人 中高生 30 人
元	アメリカ （ロサンゼルス）	太平洋横断 夢の使節‘89 団	7／30 ～ 8／8	団長（助役） 教師等６人 中高生 30 人
2	オーストラリア （シドニー・メルボルン）	Hello.Australia 希望とふれあい‘90	7／26 ～ 8／3	団長（教育委員長） 教師等６人 中高生 30 人
3	オーストラリア （シドニー・メルボルン）	Friendship with Australians 青春・発見・感動‘91	7／25 ～ 8／1	団長（教育委員長） 教師等８人 中高生 30 人
4	オーストラリア （シドニー・メルボルン）	Good day with Aussie‘92	7／27 ～ 8／3	団長（収入役） 教師等８人 中高生 30 人
5	オーストラリア （シドニー・メルボルン）	A good will mission to Australia‘93	7／29 ～ 8／5	団長（教育委員長） 教師等７人 中高生 25 人
6	オーストラリア （シドニー・メルボルン）	Jump into the life of Australia‘94	7／28 ～ 8／4	団長（教育委員長） 教師等７人 中高生 25 人
7	オーストラリア （シドニー・キャンベラ）	Lets make wonderful friendship in Australia‘95	7／26 ～ 8／3	団長（助役） 教師等６人 中高生 25 人
8	オーストラリア （シドニー・キャンベラ）	Lets go to Australia to find the same smiles！‘96 ―同じ笑顔を探して―	7／29 ～ 8／6	団長（教育委員長） 教師等７人 中高生 25 人
9	オーストラリア （シドニー・キャンベラ）	Making new friends in the land of the Southrn Cross ―南十字星の下で 友情を誓って―	7／28 ～ 8／5	団長（教育委員長） 教師等５人 中高生 25 人
10	オーストラリア （シドニー・キャンベラ）	Put our Hearts Together into One ―深いきずなをこの一時で―	7／27 ～ 8／4	団長（市長） 教師等６人 中高生 25 人
11	オーストラリア （シドニー・キャンベラ）	In Australia,Lets Shine Together！1999☆ ―みんな輝いて―	7／26 ～ 8／3	団長（教育委員長） 教師等５人 中高生 25 人
12	オーストラリア （シドニー・キャンベラ）	Spread your Wings. Lets Go To A New Age ―翔け　未来へ―	7／26 ～ 8／3	団長（教育委員長） 教師等５人 中高生 25 人

	訪問国（都市）	名称	日程	訪問者
13	オーストラリア （シドニー・ キャンベラ）	BuildingBridges.LetsMake Borderless Countres. ―国境をこえて…―	7／26 ～ 8／3	団長（教育委員） 教師等５人 中高生 25 人
14	韓国（ソウル）	韓国訪問団友好新風	8／21 ～ 8／25	団長（教育長） 教師等６人 中高生 45 人
15	中　止			
16	韓国（ソウル）	「日韓友好輝団‘04」 ―輝く自分を見つけて―	8／9 ～ 8／13	団長（教育委員長） 教師等６人 中高生 45 人
17	韓国（ソウル）	「日韓栄光親善団‘05」 ―全ての隔たりを越えて―	8／8 ～ 8／12	団長（教育委員長） 教師等６人 中高生 45 人
18	韓国（ソウル）	「日韓新世代交流団‘06」 ―未来へ生かすこの時を―	8／1 ～ 8／6	団長（中学校長会長） 教師等６人 中高生 41 人
19	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	Dream Chaser 2007 ―笑顔は世界の共通語―	10／31 ～ 11／9	代表　指導主幹 教師等２人 中学生 20 人
20	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	Lets Make Friends 2008 ―国境を越えた仲間づくり―	10／28 ～ 11／7	代表　指導主幹 教師等２人 中学生 20 人
21	中　止			
22	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	Friendship Link 2010 ―世界はひとつ　友情の輪―	10／30 ～ 11／9	代表　指導主幹 教師等２人 中学生 19 人
23	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	Imagine What We Can Do Together ―みんな友達―	10／29 ～ 11／8	団長　教育長 教師等２人 中学生 19 人
24	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	The Bonds of Friendships Link the World ―絆が世界を結ぶ―	10／27 ～ 11／6	代表　指導主幹 教師等２人 中学生 21 人
25	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	Friendships Without Borders ―国境のない友情―	10／26 ～ 11／5	団長　教育委員 指導主幹　教師 中学生 18 人
26	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	Smile Link connect the world 2014 ―世界を繋ぐ愛顔の輪―	10／25 ～ 11／4	団長　教育委員 指導主幹　教師 中学生 20 人
27	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	Blooming warm smiles around the world 2015 ―世界中に咲き誇れ、笑顔の花―	10／24 ～ 11／3	団長　教育委員 指導主幹　教師 中学生 20 人
28	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	Love and Friendship Across the Ocean 2016 ー愛と友情は海を越えるー	10／29 ～ 11／8	団長　教育長 指導主幹　教師 中学生 20 人
29	アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 （フランクリン市）	The World Lit by Friendships and Smiles 2017 ―友情と愛顔が世界を照らす―	10／28 ～ 11／7	団長‥教育委員 指導主幹　教師　ＡＬＴ 中学生 20 人

６　奨学金等

（１）新居浜市入学準備金貸付制度

【貸付け対象及び資格】

高等学校または高等専門学校に入学しようとする者の保護者で、入学準備金の調達が困難であり、次の各号に該当するもの

ア　本市に住所を有し、引き続き２年以上居住している者

イ　高等学校または高等専門学校への入学が確実である者の保護者

【基金の額】

350 万円

【貸付け金額】

50,000 円

【返還方法】

貸付金を貸し付けた月から起算して５月据え置き 31 月以内に無利子で月賦による返還

【貸付け状況】　（単位：円）

年　度	貸付者（人）	貸 付 額	年　度	貸付者（人）	貸 付 額
20	1	50,000	25	4	200,000
21	2	100,000	26	2	100,000
22	1	50,000	27	2	100,000
23	1	50,000	28	2	100,000
24	3	150,000	29	0	0

（２）新居浜市奨学資金貸付制度

【貸付け対象及び資格】

３年以上本市に在住する者の子弟であって、高等学校、高等専門学校、大学又は専修学校（専門課程）に在学し、その学資の支弁が困難であり、次の各号に該当するもの

ア　学業が優秀で性行の善良な者

イ　身体の健康な者

ウ　他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付又は貸与を受けていない者

【基金の額】

１億 3,400 万円

【貸付け金額】

ア　高等学校の生徒……卒業まで毎月 8,000 円

イ　高等専門学校の学生……１年から３年まで毎月 10,000 円

４年から５年まで毎月 18,000 円

ウ　大学（短期大学を含む。）の学生

又は専修学校（専門課程）の生徒……毎月 26,000 円

【返還方法】

卒業後満１年後から 15 年間以内に無利子で月賦、半年賦又は年賦による返還

【貸付け状況】　（単位：円）

区分／年度	高　等　学　校		高 等 専 門 学 校		大　　学		計	
	貸付者（人）	貸付額	貸付者（人）	貸付額	貸付者（人）	貸付額	貸付者（人）	貸付額
20	1	96,000	0	0	11	3,432,000	12	3,528,000
21	4	384,000	1	216,000	11	3,432,000	16	4,032,000
22	4	384,000	1	120,000	10	3,120,000	15	3,624,000
23	5	480,000	1	120,000	12	3,744,000	18	4,344,000
24	5	480,000	1	216,000	15	4,914,000	21	5,610,000
25	5	480,000	2	336,000	11	3,432,000	18	4,248,000
26	3	216,000	1	120,000	18	5,616,000	22	5,952,000
27	2	192,000	1	120,000	14	4,368,000	17	4,680,000
28	3	288,000	1	216,000	8	2,496,000	12	3,000,000
29	2	192,000	1	216,000	9	2,808,000	12	3,216,000

（３）新居浜市青野記念奨学資金貸付制度

【貸付け・給付対象及び資格】

３年以上本市に在住する者の子弟であって、新たに大学（修業年限４年以上）へ入学したもの（短期大学、高等専門学校又は専修学校から大学へ編入学したものを含む。）で、その学資の支弁が困難であり、次の各号に該当するもの

ア　学業が優秀で性行の善良な者

イ　身体の健康な者

ウ　他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付又は貸与を受けていない者

【基金の額】

7,000 万円

【貸付け・給付金額】

４年間を限度として毎月 32,000 円（うち 16,000 円は貸付金、16,000 円は給付金とする。）

※平成５年度以前決定した者については、毎月 20,000 円（うち 10,000 円は貸付金、10,000 円は給付金）

【返還方法】

卒業後満１年後から 15 年間以内に無利子で月賦、半年賦又は年賦による返還

【貸付け・給付状況】　（単位：円）

区分／年度	大学		備考
	貸付者（人）	貸 付 額	
20	4	1,536,000	うち給付金 768,000
21	4	1,536,000	うち給付金 768,000
22	4	1,536,000	うち給付金 768,000
23	4	1,536,000	うち給付金 768,000
24	4	1,536,000	うち給付金 768,000
25	4	1,536,000	うち給付金 768,000
26	4	1,536,000	うち給付金 768,000
27	4	1,536,000	うち給付金 768,000
28	4	1,536,000	うち給付金 768,000
29	2	768,000	うち給付金 384,000

（４）新居浜市特別奨学資金貸付制度

【貸付け・給付対象及び資格】

３年以上本市に在住する者の子弟であって、大学院（修士課程・博士課程）に在学するもの又は海外の大学に在学するもので、次の各号に該当するもの

ア　学業が優秀で中正妥当な性格で特に研究熱心な者

イ　留学生は、高等学校卒業者で 30 歳未満の者

ウ　学資が乏しく修学困難な者

エ　身体の健康な者

オ　他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付又は貸与を受けていない者

【貸付け・給付金額】

修士課程及び留学生は２年間、それ以外は５年間を限度として毎月 30,000 円（うち 20,000 円は貸付金、10,000 円は給付金とする。）

【返還方法】

卒業後満１年後から 10 年間以内に無利子で半年賦又は年賦による返還

【貸付け・給付状況】　（単位：円）

区分／年度	大学院・留学生		備　考
	貸付者（人）	貸 付 額	
20	0	0	うち給付金　0
21	2	720,000	うち給付金 240,000
22	3	1,080,000	うち給付金 360,000
23	1	360,000	うち給付金 120,000
24	2	660,000	うち給付金 220,000
25	4	1,320,000	うち給付金 440,000
26	3	1,080,000	うち給付金 360,000
27	3	840,000	うち給付金 280,000
28	3	780,000	うち給付金 260,000
29	2	720,000	うち給付金 240,000

７　新居浜市寺尾音楽教育振興基金

【設　置】

故　寺尾貞子氏の遺志を継がれた遺族の寄附金により学校音楽教育の振興を図ることを目的として、新居浜市小・中学校音楽教育振興会が行う事業の経費に充てるため、平成元年度に設置した。

【基金の額】

1,000 万円

【学校音楽教育振興資金】

学校音楽教育振興資金は、次の各号に掲げる事業を行う新居浜市小・中学校音楽振興会に補助する。

ア　学校音楽教育における教職員の資質向上のための研修事業

イ　特に、学校音楽教育発展に貢献し、その功績が顕著な者の表彰

ウ　その他新居浜市教育委員会が承認する事業

【運用収益の処理】

基金の運用から生ずる収益は、予算に計上し、基金に編入するものとする。

教職員の研修に関する事業

音楽指導者講習会　　平成 29 年７月８日（土）・９日（日）　新居浜市市民文化センター大ホール

８　新居浜市工藤交通災害遺児修学基金

【設　置】

故　工藤圓治氏の寄付金により、交通災害遺児に対する修学援助を図ることを目的として、平成５年度に設置した。

【基金の額】

1,000 万円

【修学援助】

交通災害遺児（義務教育就学中の児童及び生徒）に対し、図書カードを支給

【支給状況】　（単位：人）

区分／年度	小学校 対象者	中学校 対象者	計
25	1	2	3人 9,000円
26	1	1	2人 6,000円
27	4	1	5人 15,000円
28	4	3	7人 21,000円
29	4	3	7人 21,000円

９　就学援助費

【趣　旨】

学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対して必要な援助を行う。

【援助の対象】

新居浜市に住所を有し、小学校又は中学校に在学する児童生徒の保護者で生活保護法第６条第２項に規程する要保護者及び要保護者に準ずる程度に困窮している者

【就学援助の種類】

学校給食費、通学費、修学旅行費、校外活動費(宿泊を伴わないもの)、校外活動費(宿泊を伴うもの)、学用品・通学用品購入費、新入学児童生徒学用品・通学用品購入費等

【就学援助の状況】　（単位：円）

区分／年度	小学校		中学校		計	
	対象者	援助金	対象者	援助金	対象者	援助金
19	528	29,736,266	272	21,867,494	800	51,603,760
20	550	31,268,587	284	23,944,412	834	55,212,999
21	568	32,112,257	297	23,958,257	865	56,070,514
22	549	32,913,315	320	27,268,325	869	60,181,640
23	552	32,533,592	356	30,983,202	908	63,516,794
24	546	32,731,536	370	32,756,047	916	65,487,583
25	524	31,265,030	324	28,449,877	848	59,714,907
26	535	31,849,307	335	27,786,536	870	59,635,843
27	577	35,908,625	312	26,181,819	889	62,090,444
28	612	37,055,597	315	25,735,513	927	62,791,110
29	720	42,541,663	305	32,172,027	1,025	74,713,690

＊平成29年度以降、新中１・新小１に対して、入学運備金を前倒しで支給。

10　特別支援教育就学奨励費

【趣　旨】

市町村が特別支援学級に就学する児童又は生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、特別支援学級への就学のため必要な援助をし、もって特別支援教育の振興の資することを目的としている。

【援助の対象】

市内の小学校及び中学校の特別支援学級に就学する児童又は生徒の保護者

【就学奨励の種類】

学校給食費、通学費、職場実習交通費、交流及び共同学習交通費、修学旅行費、校外活動参加費（宿泊を伴わないもの）、校外活動参加費（宿泊を伴うもの）、学用品・通学用品購入費、新入学児童生徒学用品・通学用品購入費等

【就学奨励の状況】　（単位：円）

区分／年度	小　学　校		中　学　校		計	
	対象者	奨 励 費	対象者	奨 励 費	対象者	奨 励 費
19	38	1,059,076	17	529,097	55	1,588,173
20	37	1,075,878	15	601,833	52	1,677,711
21	37	1,019,641	21	766,194	58	1,785,835
22	50	1,533,286	16	526,473	66	2,059,759
23	51	1,346,323	19	659,141	70	2,005,464
24	58	1,634,988	25	990,264	83	2,625,252
25	67	1,876,018	27	973,808	94	2,849,826
26	82	2,304,020	25	846,979	107	3,150,999
27	78	2,147,758	21	681,789	99	2,829,547
28	89	2,395,170	23	769,297	112	3,164,467
29	112	3,096,859	27	1,095,280	139	4,192,139

11　幼稚園就園奨励事業

【目　的】

幼稚園教育の振興に資するため、国の補助を受け、幼稚園に就園する満３歳児から５歳児の保護者の所得に応じた経済的負担の軽減と公私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図る。

【補助金の交付状況】

区分＼年度		23	24	25	26	27	28	29
対象園児（人）	市　立	9	6	9	6	－	－	－
	私　立	841	901	906	990	991	978	839
	（計）	850	907	915	996	991	978	839
補助金額（減免額）（千円）	市　立	180	120	180	117	－	－	－
	私　立	30,117	30,902	31,240	45,623	83,367	85,315	76,774
	（計）	30,297	31,022	31,420	45,740	83,367	85,315	76,774

【平成 29 年度所得階層別内訳】

区分	所得階層区分	第１子			第２子			第３子		
		補助単価	対象園児	補助金額（減免額）	補助単価	対象園児	補助金額（減免額）	補助単価	対象園児	補助金額（減免額）
私立	Ⅰ　従来条件									
	市民税非課税世帯（生活保護世帯を含む）	168,000	10	1,554,000	204,000	11	2,091,000	204,000	5	1,020,000
	市民税所得割課税額非課税世帯	168,000	10	1,414,000	204,000	6	1,224,000	204,000	5	1,020,000
	市民税の所得割課税額が 77,100 円以下となる世帯	91,200	61	5,312,400	147,600	38	4,883,100	204,000	5	1,020,000
	市民税の所得割課税額が 211,200 円以下となる世帯	39,600	304	11,606,100	121,800	235	27,292,400	204,000	23	4,131,000
	上記区分以外の世帯	―	―	―	102,000	104	9,919,500	204,000	10	1,887,000
	小計		385	19,886,500		394	45,410,000		48	9,078,000
	◎ひとり親世帯等の特例									
	市民税非課税世帯（生活保護世帯を含む）	204,000	3	612,000	204,000	3	612,000	204,000	2	408,000
	市民税所得割課税額非課税世帯	204,000	1	204,000	204,000	0	0	204,000	0	0
	市民税の所得割課税額が 77,100 円以下となる世帯	180,000	2	360,000	204,000	1	204,000	204,000	0	0
	小計		6	1,176,000		4	816,000		2	408,000
合計			391	21,062,500		398	46,226,000		50	9,486,000

12　私学助成

就学前教育の充実を図るため、私立幼稚園の運営に対し助成を行っている。

７園　4,181,808 円

13　学校保健

（１）学校職員・児童生徒の健康診断の拡充

近年、飽食の時代になり成人に多く見られている病気が児童生徒にも多く発生している。そこで、検診機会の少ない児童生徒に対し、集団検診を実施することで早期発見・早期治療に努める。また、教職員においても各種検診を実施している。

（２）学校保健委員会の推進

心身共に健康でたくましく生きる児童生徒の育成に向け、学校・地域社会・家庭との連携を深め、自ら積極的に健康づくりに取り組むため、各校の学校保健委員会の充実と有効活用に努めている。

（３）健康・安全教育の推進

児童生徒が健康でなければ楽しい学校生活は送れない。そこで疾病の早期発見・早期治療に努めるとと

もに、交通安全、学校内の災害発生防止に向け、健康・安全教育を推進している。

（４）日本スポーツ振興センター災害救済給付制度の加入促進

日本スポーツ振興センター災害救済給付制度へは、原則全員加入している。

【体位測定表】　（平成 29 年度）

			人数（人）	身長（cm）	体重（kg）
				平　均	平　均
幼　稚　園	４　歳	男	27	103.6	17.2
		女	19	101.8	16.3
	５　歳	男	37	109.4	18.7
		女	27	108.2	17.9
小　学　生	６　歳	男	557	116.1	21.3
		女	520	115.6	21.3
	７　歳	男	525	122.6	24.1
		女	537	121.0	23.1
	８　歳	男	549	127.7	27.1
		女	545	127.2	26.3
	９　歳	男	598	133.2	30.3
		女	509	133.6	30.1
	10　歳	男	526	138.2	33.8
		女	481	139.9	33.9
	11　歳	男	527	144.3	38.2
		女	503	146.0	38.9
中　学　生	12　歳	男	511	152.0	44.0
		女	515	151.4	43.9
	13　歳	男	577	160.0	49.2
		女	511	153.9	47.9
	14　歳	男	538	164.2	53.0
		女	493	155.8	50.3

【歯科検診成績】　（平成 29 年度、単位：人）

区　　分	検 査 人 員	む　　し　　歯		その他歯・口腔疾患異常者数
		処置完了者	未処置ある者	
幼　稚　園	106	5	24	4
小　学　校	6,312	1,881	1,939	674
中　学　校	3,101	1,170	650	550
計	9,519	3,056	2,613	1,228

【脊柱側わん症検診】　（平成 29 年度、単位：人）

区　　分	検 査 人 員	一次検診異常者数
小　　学　　校	1,004	30
中　　学　　校	1,014	50
	2,018	80

●検査対象者は小学校５年生、中学校１年生全員

モアレ写真撮影による（一次検診）

【血液検査結果】　（平成 29 年度、単位：人）

区　　分	検 査 人 員	一次検診異常者数	二次検診異常者数
小　　学　　校	1,237	463	136
中　　学　　校	1,142	384	72
計	2,379	847	208

●検査対象者は小学校４年生、中学校１年生全員

（小学校５年生、中学校２年生で昨年異常だった者の再検査を含む。）

14　学校体育活動の推進

学校体育団体育成と体育行事の充実推進

学校体育の推進を図る新居浜市小学校体育連盟及び新居浜市中学校体育連盟においては、充実した事業計画のもとに的確な運営を行い、多くの実績をあげた。

【新居浜市小学校体育連盟】

体育活動を通しての児童の健全育成については、新居浜市水泳記録会・新居浜市陸上競技会・親善球技大会を中心として実施した。記録会においては、多くの児童が自己記録を更新するための継続した練習を行い、能力及び体力の向上に大きく貢献した。また、親善球技大会では、サッカーの技能を高めるとともに、スポーツの楽しさや学級のチームワークを育成することにも大きく役立った。

【新居浜市中学校体育連盟】

各部各種目ともに活発な推進活動が行われ全体的に成果が上がっている。

公式大会として市長旗・杯争奪新居浜市中学校選手権大会・新居浜市中学校総合体育大会・新居浜市中学校新人体育大会を開催し、活動及び指導内容が向上し対外的にも力を発揮している。中学校駅伝大会においては、県駅伝が平成25年度以降国領川河川敷コースで開催され、男子の部は泉川中学校が初めて、女子の部は東中学校が３年ぶり12回目の全国大会に出場し、男子は20位、女子は８位入賞と健闘した。

行事実績

【新居浜市小学校体育連盟】

小学校教職員ソフトボール大会	５月14日(日)	河川敷ソフトボール場	250人
小学校教職員バレーボール大会	６月17日(土)	市民体育館他	250人
小学校体育実技講習会	６月５日(月)、８月21日(月)		
	11月17日(金)	山根公園屋内プール他	100人
小学校水泳記録会	７月24日(月)	中萩小・新居浜小	550人
小学校陸上運動記録会	10月20日(金)	河川敷陸上競技場	400人
小学校親善球技大会	２月７日(水)	各小学校（会場）	600人

【新居浜市中学校体育連盟】

市長旗・杯争奪中学校選手権大会	４月22日(土)、29日（土)、30日(日)、５月７日（日）		
		市営野球場他	1,400人
中学校総合体育大会	５月30日(火)、31日(水)、６月３日（土）		
		市営野球場他	1,900人
中学校新人体育大会	10月11日(水)、12日(木)、14日（土）		
		市営野球場他	1,500人
中学校駅伝競走大会	11月３日(金)	河川敷陸上競技場周辺	400人

小学校陸上運動記録会



中学校駅伝競走大会



15　人権・同和教育実践の状況

（１）新居浜市小学校人権・同和教育研究大会

○　期　　日　　平成 29 年 11 月 20 日（月）

○　会　　場　　Ａ群　宮西小学校
　　Ｂ群　高津小学校
　　Ｃ群　角野小学校

○　研究主題

差別の現実から深く学び、同和問題をはじめとする様々な人権問題について正しく認識し、明るい展望をもち、その問題の解決に取り組む児童生徒を育てる教育実践はどうあればよいか。

○　研究授業

群	会　　場	分科会		教科等	資料名	授業者
Ａ	宮西小学校	低	２年	道徳	みんな　なかま 「にじいろのさかな　しましまをたすける！」	上田　早希
		中	３年	道徳	正しいことは勇気を出して 「きみが　いちばん　ひかるとき」	越智　陽子
		高	５年	道徳	正しいと信じることを貫こう 「コスモスの花―勇気を出して、心の声を―」	横田　香織
Ｂ	高津小学校	低	２年	道徳	誰とでも同じようにやさしい気持ちで関わる 「ドッジボール」	大平　美咲
		中	３年	道徳	正しいことは勇気をもって 「勇気を出して」	石川麻里子
		高	６年	道徳	差別のない世の中に 「よき日のために」	佃　謙吾
Ｃ	角野小学校	低	１年	道徳	しっぱいしたって	宮本　佳奈
		中	３年	道徳	ぼくのなみだ	岡田　哲郎
		高	５年	道徳	コスモスの花 ―勇気を出して、心の声を―	藤田　理央

（２）新居浜市中学校人権・同和教育研究大会

○　期　　日　　平成 29 年 11 月 20 日（月）

○　会　　場　　Ａ群　北中学校・船木中学校・船木中学校ひびき分校
　　Ｂ群　南中学校

○　研究主題

差別の現実から深く学び、同和問題をはじめとする様々な人権問題について正しく認識し、明るい展望をもち、その問題の解決に取り組む児童生徒を育てる教育実践はどうあればよいか。

○　研究授業

群	会場	分科会	教科等	資料名	授業者
Ａ	船木中学校	１年	道徳	牛のかたき討ち	濟川　　貴
	北中学校	２年	総合的な学習の時間	ハンセン病問題学習	吉田　一博
		３年	道徳	娘からの手紙	西村　祥一
Ｂ	南中学校	１年	道徳	「差別や偏見のない社会の実現」	島袋　リサ
		２年	学級活動	「正しい生き方を目指して」	木山　美鈴
		３年	道徳	「娘からの手紙」	学年団

発達支援課の主な施策と実績

地域における発達支援及び特別支援教育の中核的機関として設置した「こども発達支援センター」を中心に、総合相談、臨床心理士などによる幼稚園、保育所、小・中学校への巡回相談や発達検査の実施、個別の教育支援計画の作成、引き継ぎなど関係機関とのネットワークの強化を図りながら、子どもの発達の支援に向け諸事業を展開した。関係機関を包括した新居浜市地域発達支援協議会において、就学前の支援のあり方について検討を進めた。また、個別療育、小集団療育、構音訓練、個別ＳＳＴ等を内容とする早期療育通園事業の運営を実施し、心身の発達に課題のある就学前の幼児に対し、日常生活における基本的動作及び集団生活への適応訓練等の指導を行い、早期療育体制の充実強化に取り組んだ。さらに、発達障がい等の特性の理解や効果的な支援のあり方に関する研修会や発達障がい支援者のための実践セミナー、特別支援教育ハンドブックの活用等により、関係職員の専門性、実践力の向上や発達障がい等の理解啓発を図った。

１　特別支援教育支援員の配置状況

障がいや発達課題のある児童・生徒等が在籍する小・中学校等において、学校生活における介助や学習指導の支援を行うために特別支援教育支援員を配置し、児童生徒等や教員を支援することにより、特別な教育的支援を必要としている児童生徒等の学習効果を高め、学校・園生活へのよりよい適応を図った。

種　別	目　　的	人数	配置学校
学校生活介助員	重度の障がいがある児童生徒、幼稚園児が市内の学校・市立幼稚園に在籍し、学校等において、安全確保や学級運営に重大な困難がある場合、園児、児童生徒に必要な介助を実施することにより学校生活を円滑にすることを目的とする。	幼稚園 （5 人）	神郷・王子
		小学校 （85 人）	新居浜・宮西・金子 金栄・高津・浮島 惣開・垣生・神郷 多喜浜・泉川・船木 中萩・大生院・角野
		中学校 （20 人）	東・船木・中萩・角野 川東
学校支援員	発達障がい等のある児童が在籍する通常の学級において、生活や学習上の困難を有する児童に対し、学習の支援を行うことにより学習効果を高め、学校生活への適応を図ることを目的とする。	小学校 （14 人）	新居浜・宮西・金子 金栄・高津・浮島 惣開・若宮・垣生 神郷・多喜浜・泉川 船木・中萩・大生院 角野

２　教育支援委員会の開催状況

児童等の心身の障がい及び発達課題の個々の状況に応じ、適切な就学等の支援について必要な調査及び検討を行った。

開催回数	判断依頼数
5 回	261 件

３　新居浜市地域発達支援協議会の開催状況

地域発達支援協議会では、就学前の各機関の支援の在り方を協議し、就学前における支援の在り方について検討を進めた。

開催日	協　議　内　容
７月７日	協議会等の開催計画について 就学前の支援について～巡回相談の在り方について～ 合理的配慮の取組状況について
10 月 12 日	新居浜市の就労支援の現状について 今後の就労の支援について
２月５日	今後の新居浜市の発達支援の取組について

４　総合相談の実施状況

障がいや発達課題のある子どもへの育児や発達、就学について保護者が抱いている不安や疑問について相談に応じ、適切な支援へつなげた。また、必要に応じて、学校、園や医療機関と調整を行うなど関係機関との連携を図った。

実 施 人 数（延）	相　談　内　容
幼児　　331 人（　543 人）	子ども理解、障がい、発達障がい、就学相談、入園相談、不適応、登園しぶり、 ＳＦ新規作成（94 人）、ＳＦ見直し（28 人）
小学生　272 人（　646 人）	障がい、発達障がい、不登校、その他（担任不信、いじめ等） ＳＦ新規作成（47 人）、ＳＦ見直し（87 人）
中学生　　87 人（　336 人）	いじめ、障がい、発達障がい、進路相談、不適応 ＳＦ新規作成（5 人）、ＳＦ見直し（25 人）
高校生　　28 人（　125 人）	適応相談、進路相談、障がいの理解と支援、ソーシャルスキル
計　　718 人（1,650 人）	



心理アセスメント講座



第１回特別支援教育研修会

５　巡回相談の実施状況

保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校における障がいや発達課題のある子どもの早期発見、具体的支援方策の協議、相談を通して教職員のスキルアップを図るとともに、保護者や関係機関との情報の共有等により、信頼関係の構築を図った。

<table>
<tr><th>実施延人数（内訳）</th><th>相　談　内　容</th></tr>
<tr><td>保育所：117 人
・５歳児　17 人
・４歳児　36 人
・３歳児　38 人
・２歳児　25 人
・０～１歳児　１人</td><td rowspan="2">・落ち着きがない
・こだわりが強い
・気持ちのコントロールができない
・集団行動がとりにくい
・他児とのかかわりがうまくいかない
・言葉の遅れ
・人への関心が薄い
・全体的な発達の遅れがある
・切り替えしにくい
・指示が伝わりにくい
・かんしゃくを起こす</td></tr>
<tr><td>幼稚園：70 人
・５歳児　20 人
・４歳児　41 人
・３歳児　 9 人</td></tr>
<tr><td>小学校：599 人
・１年生　104 人　・２年生　120 人
・３年生　138 人　・４年生　100 人
・５年生　 99 人　・６年生　 29 人
・特別支援学級　９人</td><td>・学習面の遅れ　・指示理解ができにくい
・集団行動が苦手　・集中力が続かない
・こだわりが強い　・衝動性がある
・話がきけない　・多動である</td></tr>
<tr><td>中学校：52 人　・１年生　22 人
・２年生　11 人　・３年生　19 人</td><td>・特性理解について
・支援方法について</td></tr>
<tr><td>合計　838 人</td><td></td></tr>
</table>

６　聴覚障がい児相談事業の実施状況

○日　　時　　月１回　９時 30 分～16 時
○場　　所　　こども発達支援センター
○目　　的　　聴覚の障がいや聞こえや言葉の獲得に課題のある子どもたちが、より豊かに自尊心をもって自立した生活ができることを目指す。
○内　　容　　聴覚の発達の相談・聴覚の発達に必要な指導療育（手話等）に関すること
　　保護者への支援及び通所機関への助言と支援
○相　談　員　　愛媛県立松山聾学校　教諭　高須賀　妙子
○相談延人数　　59 人

７　発達検査の実施状況

発達の特徴やバランス、得意・不得意な点を把握し、具体的なかかわり方や個々の状態に応じた学習方法等の支援へつなげる。

幼　児	小学生	中学生	高校生	計
109 人	51 人	４人	２人	166 人

８　早期療育通園事業(親子通園事業)の実施状況

発達に課題のある未就学児に対して、日常生活における基本的動作及び集団生活への適応訓練等の相談、指導、療育などを行うことによりその発達を支援し、かつ助長するとともに、その保護者に対して家庭生活における諸問題についての相談指導を行った。

（１）事業の概要

教室名	教室実施曜日	登録者数	主な療育内容
ことばの教室	水・木・金	113 人	構音訓練、個別療育、個別ＳＳＴ
育ちの教室	水・木・金	58 人	小集団療育、集団ＳＳＴ

（２）　事業実施状況　　（延利用人数、単位：人）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	計
ことばの教室	0	0	85	107	146	53	145	172	130	133	158	23	1,152
育ちの教室	0	65	83	59	74	4	71	90	75	64	98	14	697

（３）保護者会の開催状況

開催日	内　　容
5 月 23 日	就学について
6 月 27 日	子どもの発達について
8 月 8 日	ムーブメント教育療法
11 月 7 日	発達障がいの特性と理解について

９　５歳児発音検査の実施状況

小学校入学に向けて実施する就学時健康診断に先立ち、保育所・幼稚園に出向き発音検査を実施した。構音を獲得できていない幼児に対し、二次検査、構音指導につなげた。

○実施者数　996 人

（うち　二次検査実施者数　66 人）

（うち　構音指導実施者数　35 人）

10　ペアレントトレーニングの実施状況

新居浜市早期療育通園事業と保健センターフォローアップ教室を利用する保護者が社会性、コミュニケーションの発達に課題のある子どもの特性を知り、子どもへの関わり方について具体的に指導を受けた。

○日　時　第１回目　平成 29 年 12 月 9 日（土）9 時 30 分～11 時 30 分

第２回目　平成 29 年 12 月 16 日（土）9 時 30 分～11 時 30 分

第３回目　平成 30 年 1 月 13 日（土）9 時 30 分～11 時 30 分

○内　容　第１回目　子どもの発達に大切なこと

第２回目　ペアレントトレーニングとは・行動分析

第３回目　ほめ方のコツ

○講　師　愛媛県立新居浜病院小児科医師　大藤　佳子

○参加者　第１回目　17 人　　第２回目　18 人　　第３回目　９人

11　研修会等の開催状況

講演会や研修会の開催を通して、障がいや発達課題のある子どもの特性理解や実態把握の方法、具体的な支援の在り方の理解を深め、専門性と実践力を高めることができた。また、発達障がいや特別支援教育に関する地域社会の理解の向上を図った。

（１）第１回特別支援教育研修会

○日　時　　平成 29 年７月１日（土）9 時 30 分～15 時 30 分

○場　所　　別子銅山記念図書館　ホール

○目　的　　発達障がいについて理解を深めるとともに、支援を必要とする幼児の気づき、適切な支援へつなげることができるようにする。

○参加者　　44 人（幼稚園教諭・保育士・関係機関職員）

○内　容　　演題「発達に応じた子どもの心を育てるために」

【講演１】「一人ひとりの発達に応じた教育のあり方」

・学校教育現場で起こっている問題　・発達を理解する

・特別支援教育の始まり　・アセスメント

【講演２】「幼・保、小教育の連携の視点から」

・歴史的背景　・接続期　・子どものあそび

【講演３】「なぜ！今、保育カウンセリングなのか」

・現代の子どもを取り巻く環境　・保育カウンセリングにおける２つのアプローチ

【講演４】事例を出し合い、支援について討議（グループワーク）

○講　師　　千葉大学教育学部　教授　冨田　久枝

（２）特別支援教育講演会

○日　時　　平成 29 年７月 31（月）13 時 30 分～16 時

○場　所　　市民文化センター　大ホール

○目　的　　小・中学校教職員が、特別支援教育の充実に当たり、校内支援体制を整え、組織的・計画的に取り組むため、気になる子の「いいところ」をいかす学びの場づくりをどうのようにすればよいか、ユニバーサルデザインの実践事例を通して、支援を必要とする児童・生徒に対する適切な支援の在り方を考える機会とする。また、本講演会を一般市民にも広く周知広報し参加を募り、発達障がいの理解・啓発のための機会とする。

○参加者　　385 人　　小学校職員：260 人　　中学校職員：101 人

その他教育関係者：11 人　保護者・一般参加者　13 人

○内　容　　「通常学級のユニバーサルデザインと合理的配慮　～気になる子の「いいところ」をいかす学びの場づくり～」

○講　師　　星槎大学大学院　教育実践研究科　准教授　阿部　利彦

（３）発達支援スキルアップ連続講座（前期）

○日　時　　平成 29 年８月 22 日（火）・23 日（水）10 時～15 時

○場　所　　新居浜工業高等専門学校　視聴覚室

○目　的　　発達障がいのある子どもの支援者が、的確な実態の把握の方法や、背景にある機序、具体的な支援の在り方の理解を深め、その専門性と実践力を高める。

○参加者　　１日目 76 人　２日目 82 人（小中学校教職員・幼稚園保育園職員・関係機関職員）

○内　容　　演題「愛着障がい ～子どもの育ちを考える～」

○講　師　　愛媛大学教育学部　教授・愛媛大学教育学部附属特別支援学校長　吉松　靖文

（４）発達支援スキルアップ連続講座（後期）

○日　時　　平成 29 年 12 月 26 日（火）・27 日（水）10 時～15 時

○場　所　　新居浜市総合福祉センター　第１研修室

○目　的　　発達障がいのある子どもの支援者が、的確な実態把握の方法や、背景にある機序、具体的な支援の在り方の理解を深め、その専門性と実践力を高める。

○参加者　　１日目　49 人（小中学校教職員・幼稚園保育園職員・関係機関職員）

２日目　75 人（小中学校教職員・幼稚園保育園職員・関係機関職員）

○内　容　　１日目「乳幼児期の育てたいこと ～オノマトペ絵本を通じて～」

２日目「発達障がいを再思考する ～本人の困り感と周囲の人の困り感～」

○講　師　　特別支援教育士　スーパーバイザー　渡部　徹

（５）心理アセスメント講座

○目　的　　いろいろな面から発達課題のある子どもをとらえ、その支援を実践するためには、学校教職員の教育的対応の強化が必要となってくる。そのため発達検査の基礎を学習したうえで、事例検討から児童生徒の現状や生育過程や発達検査のプロフィールからわかる認知特性をふまえ、課題や解決策を学ぶ。

○日時及び研修内容及び参加者

開催日時	研修内容	参加人数
7月25日（火） 9時30分 ～15時30分	発達検査はどのように変わったか	小中学校教職員　66人
7月26日（水） 9時30分 ～15時30分	検査結果のプロフィールの読み取りと指導計画	小中学校教職員　47人
10月14日（土） 11月18日（土） 12月9日（土） 13時30分～16時	【事例検討及び講義】 プロフィール分析及び総合的なアセスメント（事例から読み取り学習）	小中学校教職員　21人

○場　所　　市民文化センター・こども発達支援センター

○講　師　　特別支援教育士スーパーバイザー　渡部　徹

（６）発達障がい支援者のための実践セミナーの実施状況

○日　時　　平成29年7月21日（金）9時30分～17時　　22日（土）・23日（日）8時30分～17時

○場　所　　こども発達支援センター他

○目　的　　・自閉症の本質的な障がい特性について理解する。
・自閉症支援における理念と方法を学ぶ。
・ＯＪＴによる学習（講義と実践との組み合わせ）

○委託先　　（特非）ライフサポートここはうす

○協力児　　3人

○受講者　　15人（小中学校教諭、保育士・幼稚園教諭　他）

○公開講座　18人

○フォローアップ研修会（８月21日、８月28日、１月29日）　　参加者19人

12　自閉症・情緒障がい学級通学費補助の状況

通学区域外の自閉症・情緒障がい学級に通学する児童生徒にその通学費の一部を補助することで、特別支援教育を推進するとともに保護者の負担軽減を図った。

対象児童生徒数	７人

13　私立幼稚園等特別支援教育事業費補助の状況

障がい児を受け入れ特別支援教育を積極的かつ継続的に実施する私立幼稚園等に対して、特別支援教育事業に要する経費の一部を補助することで特別支援教育の振興と就園機会の促進を図った。

対象私立幼稚園数	４園
対象幼児数	25人

14　ソーシャルスキル支援事業の実施状況

○日　時　　年９回　日曜日13時30分～15時30分

○場　所　　総合福祉センター

○目　的　　主に発達障がいの児童生徒を対象に他者との良好な関係を形成し、それを維持していくための知識やスキルを身につけるための指導を行い、社会性や対人関係能力等の向上を図る。

○委託先　　志リレーションＬａｂ
にいはまローズ

○参加者　　延べ34人

学校給食課の主な施策と実績

１　学校給食の意義

（１）児童生徒に栄養のバランスのとれた食事を提供することにより児童生徒の健康の増進、体位の向上を図り、又、これらを通して日常における正しい食習慣を身につける。

（２）事前の準備、後片づけを通して児童生徒は大きな生活体験をもち、共同生活の基本的態度を身につける。

（３）食事を共にすることにより、教師と児童生徒、児童生徒相互の心のふれ合いの場を作り、好ましい人間関係の育成を図る。

２　学校給食の運営等

各調理場の施設・設備の修繕、改善、更新等を適宜に行うとともに、安全で新鮮な物資の納入に努めた。

また、学校給食会理事会、学校栄養職員会及び各専門部会を開催し、円滑な学校給食の運営を図った。

学校給食センター及び高津共同調理場を対象とした共同調理場運営委員会を開催し、共同調理場の円滑な運営を図った。

３　学校給食の充実等

地元の食材を使った郷土料理などの実施やより身近に実感を持って地域の産業、文化等の理解を深めることのできる地元農産物等の利用に努めた。

中学校給食の選択率は、平成 29 年度 94.32％と前年度に比べ 0.13 ポイント減少した。

４　主な行事等

（１）学校給食研修会

○　日　時　　平成 29 年　7 月 25 日（火）市民文化センター

○　内　容　　サラヤ株式会社四国営業所食品衛生サポートインストラクター

「事例から学ぶ食中毒対策」

（２）新規給食献立調理実習試食会

平成 29 年　8 月 22 日（火）泉川公民館

（３）衛生管理研修会

平成 29 年 10 月 6 日（金）泉川小学校

５　給食の状況

（１）実施状況　　（平成 28 年度）

区　　分	完　全　給　食		給 食 未 実 施		備　　考
小　学　校	17 校	6,380 人	－　校	－　人	
中　学　校	11	3,179	1	10	ひびき分校未実施
計	28	9,559	1	10	

（ひびき分校は児童自立支援施設につき別途実施）

（２）一食当たり単価（完全給食）　　（単位：円）

区　　分	平成２年～	平成６年～	平成 21 年９月～
小　学　校	200	220	240
中　学　校	220	260	280

スポーツ振興課の主な施策と実績

1　市民体育・スポーツの振興

（1）新居浜市における生涯スポーツの両輪ともいえる新居浜市体育協会（現 新居浜市スポーツ協会）（競技スポーツ）と新居浜市連合体育振興会（社会体育）との連携と協力体制の確立に努め、市民体育の振興を図ってきた。各々の団体においても、組織の充実を図るとともに、連携・協力することによって、社会体育の一大事業である「第 48 回市民体育祭」を成功させることができた。

（2）新居浜市の少年スポーツ指導者ならびに新居浜市教育委員会が委嘱している新居浜市スポーツ推進委員及び地区体育振興会に配置している新居浜市校区スポーツ普及員に対して、講習会・研修会を実施し、各指導者の資質・指導力の向上と後継者の発掘に努め、社会体育指導者制度の確立と充実を図った。また、各指導者団体独自の研修会を開催し、資質の向上に努めた。

（3）「生涯スポーツ」の普及振興のため、「新居浜市スポーツ推進計画」に基づく、各種目競技大会支援及び地区における、スポーツ・レクリエーション行事の開催のための企画・プログラムの提供や、運営・指導の促進のための資料提供と広報活動に努めた。

（4）少年期のスポーツ活動の推進のため、研修会の開催による指導者の資質の向上を図り、スポーツ大会の開催による競技力の向上に努めた。また、高校運動部活動への支援など各種スポーツの競技力の向上を図った。

（5）新居浜市（愛媛県・四国四県）の代表として、各種目競技の全国大会などへ出場する選手等の支援として、出場選手派遣費の一部補助を行い、全国的に「新居浜」の名を残すように努めた。

（6）市制施行 80 周年記念事業として、「“宝くじスポーツフェア” ドリーム・ベースボール」や、「あかがねマラソン」などを開催し、スポーツに親しむ、楽しむ機会を創出した。

（7）えひめ国体・えひめ大会の円滑な運営のため、企画部国体推進室の業務を支援した。

2　市民体育振興事業

日程	事業名	場所	参加人数
4 月 9 日（日）	市民歩け歩け大会	東雲陸上競技場～滝の宮	150 人
7 月 9 日（日）～2 月 18 日（日）	市民体育祭	各会場	4,884 人

3　競技力向上事業

日程	事業名	場所	参加人数
4 月 23 日（日）	第 46 回近県ソフトテニス新居浜大会	市民テニスコート他	400 人
5 月 14 日（日）	第 37 回全国招待少年剣道大会	市民体育館	2,500 人
7 月 9 日（日）～11 月 5 日（日）	少年スポーツ大会	各会場	1,060 人
11 月 3 日（金）	市内駅伝競走大会	東雲競技場発着	500 人
3 月 10 日（土）～ 11 日（日）	第 27 回近県招待中学生ソフトテニス大会	市民テニスコート他	300 人

4　講習会・研修会事業

少年スポーツ指導者研修会

4 月 5 日（水）、4 月25日（火）、6 月 1 日（木）、6 月 7 日（水）（2 会場）、6 月14日（水）、7 月 6 日（木）、2 月16日（金）

延べ 8 回　延べ528名

体力づくり指導者講習会

5 月23日（火）、6 月21日（水）、7 月 7 日（金）、8 月23日（水）、9 月14日（木）

延べ 5 回　延べ252名

５　野外活動施設整備と運営

ハイキングコース等の維持管理

新居浜市指定のハイキングコース及び登山道については、登山者が安全に登山できるよう維持管理を行った。

６　体育施設の充実

体育施設の充実を図るために、多喜浜体育館や東雲市民プール・山根公園屋内プール、市営野球場等の改修を行った。また、(公財)新居浜市文化体育振興事業団及び別子校区連合自治会を指定管理者とし、体育施設の管理運営や文化及び体育に関する事業を行うことによって、施設の利用促進や効率的な管理運営を図り、体育の振興に努めた。

７　体育施設建設基金

平成 30 年３月 31 日現在の体育施設建設基金積立金額　693,395,908 円

８　総合型地域スポーツクラブ設立

総合型地域スポーツクラブとして、平成 20 年６月に金子地域文化スポーツクラブ、平成 26 年２月に楽ＳＰＯ船木の２クラブを設立し、活動を行っている。

９　市制施行８０周年記念事業の開催

（１）わんぱく相撲にいはま場所（６月４日、６月 18 日）参加申込者数：71 人
（２）“宝くじスポーツフェア”ドリーム・ベースボール（９月 10 日）参加者数：5,226 人
（３）ウエイトリフティング三宅義行・三宅宏実親子講演会（１月８日）参加者数：350 人
（４）第１回あかがねマラソン（１月 14 日）参加申込者数：1,607 人

10　銅山の里自然の家利用状況

（単位：人）

年度／月	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
4	155	12	278	137	0
5	306	711	479	237	0
6	42	22	62	169	0
7	350	350	261	414	0
8	1,255	448	593	964	0
9	17	115	223	106	0
10	41	137	193	400	0
11	54	83	19	14	0
12	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0
3	12	64	136	0	0
合計（延人数）	2,232	1,942	2,244	2,441	0

使用料納付者のみの利用者数であり、短時間の見学的利用者は含まない。

利用者の平均形態　１泊２日

平成 28 年度　３月（平成 29 年３月１日）から休館中

11　体育施設年度別利用状況

（単位：人）

施設名＼年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
市民体育館	54,581	76,733	99,922
山根総合体育館	67,708	63,025	62,289
多喜浜体育館	19,281	18,849	16,818
東雲市民プール	43,273	43,124	45,943
山根公園屋内プール	21,993	28,134	26,911
別子山市民プール	207	342	372
市営野球場	16,592	19,298	28,431
武徳殿	28,300	26,700	29,100
弓道場	4,310	5,200	4,400
重量挙練習場	10,150	9,200	10,630
文化振興会館	19,625	13,844	14,894
山根市民グラウンド	83,560	82,442	82,758
別子山市民グラウンド	57	35	195
市民テニスコート	55,122	54,338	46,597
山根公園テニスコート	42,077	40,783	37,318
東雲競技場	27,170	24,667	27,745
市営サッカー場	40,775	32,301	39,661
合計	534,781	539,015	573,984

12　平成 29 年度　体育施設月別利用状況

施設名 / 月	市　民 体育館	東雲市民 プ ー ル	市　民 テニスコート	山根公園 テニスコート	山根公園 屋内プール	山根市民 グラウンド	山根総合 体育館	市　営 野球場	東　雲 競技場
4	7,379	0	4,902	3,900	1,972	4,630	4,701	1,350	2,155
5	11,722	0	5,679	3,416	2,091	7,818	6,034	4,047	2,624
6	8,591	1,775	3,821	2,870	2,776	3,045	6,008	1,260	1,963
7	9,360	23,880	5,403	3,710	4,096	4,385	5,496	1,632	1,957
8	7,740	20,288	4,343	3,197	3,575	4,950	3,940	5,900	2,015
9	7,964	0	4,096	2,917	2,269	5,845	5,078	6,628	1,465
10	8,543	0	2,630	2,881	2,155	33,370	5,463	4,460	2,427
11	8,305	0	2,602	2,936	1,872	4,465	4,912	940	4,283
12	7,691	0	3,110	2,600	1,541	4,100	4,095	450	2,566
1	6,411	0	2,988	2,563	1,675	3,660	6,082	100	3,048
2	8,267	0	2,873	2,747	1,566	3,270	4,815	0	1,622
3	7,949	0	4,150	3,581	1,323	3,220	5,665	1,664	1,620
小　計	99,922	45,943	46,597	37,318	26,911	82,758	62,289	28,431	27,745

（山根市民グラウンドは、公式大会参加者のみ）

第１回あかがねマラソン



“宝くじスポーツフェア”ドリーム・ベースボール



（単位：人）

武徳殿	弓道場	重量挙 練習場	銅山の里 自然の家	市　営 サッカー場	多喜浜 体育館	別子山市民 グラウンド	別子山市民 プール	文　化 振興会館	計
2,400	350	800	0	0	1,438	0	0	1,973	37,950
2,600	350	880	0	1,377	1,544	0	0	1,383	51,565
2,300	350	750	0	3,367	1,513	0	0	1,297	41,686
2,700	400	850	0	3,875	1,701	20	99	1,965	71,529
2,300	300	850	0	3,375	552	15	273	762	64,375
2,400	350	900	0	0	1,002	160	0	606	41,680
3,000	450	1,500	0	15,410	1,218	0	0	1,368	84,875
2,400	450	800	0	3,505	1,822	0	0	1,520	40,812
2,400	350	800	0	3,602	1,323	0	0	1,014	35,642
2,300	300	800	0	2,765	1,253	0	0	1,126	35,071
2,100	300	800	0	2,000	1,499	0	0	757	32,616
2,200	450	900	0	385	1,953	0	0	1,123	36,183
29,100	4,400	10,630	0	39,661	16,818	195	372	14,894	573,984

えひめ国体“セーリング”



えひめ国体”ウエイトリフティング“



文化振興課の主な施策と実績

１　芸術文化活動

地域の芸術文化の水準向上と、すそ野の拡大を課題とし、市民の自由な芸術・文化活動の促進を図るため新居浜文化協会を中心にして春の市民文化祭、秋の芸術祭、市美術展を開催するなど、地域住民が積極的に各種の芸術文化活動に参加し、創作や表現の喜びを味わえる機会の拡大を図った。

また、市内の小中学生に学校施設において優れた芸術に触れる機会を提供する「芸術文化キャラバン隊」や、市制施行 80 周年記念事業「10 才のわたしとぼく」を行うとともに、宮田翁輔氏を講師に招き静物のデッサンを通して絵を描く楽しさに触れる「子ども絵画教室」を実施した。

２　文化財の保存活用

郷土に残された優れた文化財に対する正しい理解と認識を深め、その保存活用を図るための調査、文化財めぐり等を実施した。また、市民文化センター本館１階内に開設している郷土資料室「ふるさとラボ」において、正光寺山古墳群出土品展を開催した。

市指定天然記念物「アッケシソウ」保存保護事業補助、市指定史跡「久貢屋敷」保全事業補助

文化財めぐりの実施　41 名　宇和島市（伊達 10 万石の城下町　宇和島伊達家ゆかりの史跡めぐり）

３　文化施設の充実

文化施設の充実を図るために、市民文化センター中ホール外壁改修工事や本館衛生設備等の改修を行った。また、(公財)新居浜市文化体育振興事業団及び別子校区連合自治会を指定管理者とし、文化施設の管理運営や文化に関する事業を行うことによって、施設の利用促進や効率的な管理運営を図り、文化の振興に努めた。

４　文化振興基金

平成 30 年 3 月 31 日現在の文化振興基金積立金額　820,695,974 円

５　(公財)新居浜市文化体育振興事業団

新居浜市の文化及び体育施設の管理運営を受託するとともに、文化及び体育に関する事業を行うことによって、施設の利用促進及び効率的な管理運営を図り、もって文化及び体育の振興に寄与することを目的に、昭和 61 年８月１日に設立され、平成 18 年４月からは各施設の指定管理者となっている。平成 26 年１月６日、公益財団法人に認可された。

○　所 在 地　　繁本町８番 65 号
○　Ｔ Ｅ Ｌ　　33－2180
○　組　　織　　理事９人、監事２人、評議員９人
○　事業内容　（１）文化体育施設の指定管理

市民文化センター、市民体育館、山根総合体育館、多喜浜体育館、市営野球場、山根市民グラウンド、市民テニスコート、山根公園テニスコート、東雲市民プール、山根公園屋内プール、武徳殿、弓道場、重量挙練習場、東雲競技場、市営サッカー場、銅山の里自然の家、文化振興会館、女性総合センター

（２）文化事業の企画及び実施に関すること

健康食の料理教室、演劇鑑賞教室、市民茶会、市民音楽祭、美術実技講習会ほか７教室

（３）体育事業の企画及び実施に関すること

市民軽スポーツ大会（７種目)、硬式テニス講習会、バトミントン教室（女性・親子・ジュニア)、テニス教室（女性)、水中ウォーキング教室ほか 16 教室

（４）女性センター事業の企画及び実施に関すること

1）再就職支援事業　　11 講座
2）社会参加促進事業　４講座
3）生活・教養事業　　９講座
4）子育て支援事業　　４講座
5）健康増進事業　　６講座

6　文化施設年度別利用状況

（単位：人）

施設名＼年度・項目		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		回 数(回)	利用者数	回 数(回)	利用者数	回 数(回)	利用者数
市民文化センター	大ホール	286	65,074	297	56,723	310	73,902
	中ホール	263	33,498	260	32,339	290	34,613
	別館　会議室等	3,208	65,614	3,555	65,970	3,631	62,609
小　　計		3,757	164,186	4,112	155,032	4,231	171,124
ふ　る　さ　と　館			1,906		3,221		2,252
合　　計		3,757	166,092	4,112	158,253	4,231	173,376

郷土資料室「ふるさとラボ」



7　平成 29 年度　月別利用状況（市民文化センター・ふるさと館）

施設名／月	大ホール	大・ロビー	中ホール	大会議室	中会議室	小会議室	和 室
4	4,736	0	2,349	1,065	2,184	488	25
	(24)	(0)	(20)	(24)	(148)	(62)	(16)
5	3,536	0	3,553	878	2,659	450	55
	(25)	(0)	(23)	(20)	(152)	(53)	(14)
6	6,843	10	4,449	1,345	3,251	588	20
	(28)	(1)	(27)	(24)	(152)	(67)	(18)
7	6,772	0	3,645	1,119	2,484	516	27
	(37)	(0)	(30)	(24)	(146)	(53)	(14)
8	8,976	0	1,413	1,648	2,129	342	67
	(29)	(0)	(21)	(28)	(136)	(50)	(24)
9	2,424	0	2,911	868	1,976	339	20
	(23)	(0)	(27)	(24)	(161)	(55)	(26)
10	12,630	0	1,351	946	4,294	184	20
	(27)	(0)	(23)	(25)	(158)	(52)	(40)
11	8,181	0	3,764	707	2,465	462	50
	(34)	(0)	(30)	(17)	(149)	(60)	(20)
12	4,963	0	3,502	526	2,455	299	30
	(23)	(0)	(22)	(18)	(139)	(51)	(22)
1	4,471	0	3,022	575	2,319	414	30
	(19)	(0)	(29)	(14)	(122)	(49)	(14)
2	4,743	0	2,478	940	2,603	454	60
	(18)	(0)	(19)	(17)	(127)	(52)	(14)
3	5,627	0	2,176	1,030	2,383	553	20
	(23)	(0)	(19)	(16)	(106)	(54)	(4)
累計	73,902	10	34,613	11,647	31,202	5,089	424
	(310)	(1)	(290)	(251)	(1,696)	(658)	(226)

上段：人数

下段：回数

視聴覚教室	料理教室	茶華教室	展示室	プラネタリウム	ふるさと館	月 計	累 計
910	70	26	236	0	231	12,320	12,320
(21)	(9)	(8)	(24)	(0)		(356)	(356)
670	58	44	219	0	229	12,351	24,671
(17)	(6)	(7)	(19)	(0)		(336)	(692)
810	85	26	120	163	156	17,866	42,537
(21)	(10)	(9)	(19)	(20)		(396)	(1,088)
984	81	76	100	108	231	16,143	58,680
(25)	(10)	(12)	(15)	(26)		(392)	(1,480)
1,015	65	66	172	242	321	16,456	75,136
(22)	(9)	(10)	(16)	(32)		(377)	(1,857)
710	30	46	145	0	185	9,654	84,790
(25)	(13)	(14)	(22)	(0)		(390)	(2,247)
808	27	507	50	0	215	21,032	105,822
(24)	(19)	(20)	(23)	(0)		(411)	(2,658)
1,180	112	75	185	0	190	17,371	123,193
(24)	(13)	(13)	(22)	(0)		(382)	(3,040)
490	89	67	101	0	143	12,665	135,858
(19)	(14)	(13)	(19)	(0)		(340)	(3,380)
570	7	76	152	0	78	11,714	147,572
(14)	(5)	(6)	(18)	(0)		(290)	(3,670)
880	66	67	274	0	90	12,655	160,227
(18)	(7)	(6)	(24)	(0)		(302)	(3,972)
930	47	7	203	0	183	13,159	173,386
(16)	(2)	(1)	(19)	(0)		(260)	(4,232)
9,957	737	1,083	1,957	513	2,252	173,386	173,386
(246)	(117)	(119)	(240)	(78)		(4,232)	(4,232)

広瀬歴史記念館の主な施策と実績

1　展示内容等

（１）展示館の内容

広瀬宰平の一生を、テーマごとに映像や実物資料、パネルを用いて紹介する。別子銅山の経営維持に奔走し、採鉱・精錬・陸運の近代化を推進するなど、わが国の殖産興業に尽力した宰平の姿をみることができる。

（２）旧広瀬邸（国指定重要文化財・国指定名勝）の内容

母屋は明治 10 年建築、明治 20 年に現在地に移築、新座敷と内庭は明治 22 年に建築・造園された。伝統的な日本建築様式を持ちながらも、開国により西洋から輸入されたマントルピース、洋式便器、板ガラス、避雷針といった新しい文化が取り入れられており、そのふたつが見事に調和している。庭園は、内庭（迎賓空間）、亀池（祝祭空間）、南庭（顕彰空間）からなり、庭園文化の発展をよく示している。

2　資料の収集状況

広瀬家所蔵品、古文書など約 3,740 点（平成３年５月７日現調）

3　平成 29 年度事業実績

（１）特別企画展

ア　市制施行 80 周年記念事業・新居浜市広瀬歴史記念館開館 20 周年特別企画展
「広瀬邸と庭園のなりたち」

○　日　時　　平成 29 年 10 月 28 日（土）～12 月 3 日（日）

イ　記念講演会「広瀬邸と庭園」

○　日　時　　平成 29 年 11 月 26 日(日)

○　講　師　　末岡照啓（住友史料館副館長・新居浜市広瀬歴史記念館特別顧問）
尼﨑博正（京都造形芸術大学教授）
矢ヶ崎善太郎（京都工芸繊維大学准教授）

○　参加人数　120 人

（２）市制施行 80 周年記念事業・新居浜市広瀬歴史記念館開館 20 周年特別企画展関連事業「広瀬のもてなし」

○　日　時　　平成 29 年 11 月 3 日（金）～5 日（日）

（３）旧広瀬邸庭園整備

平成 27 年から平成 29 年の３ヵ年で、旧広瀬邸内庭の樹木の高木化による景観の変化や根の成長による灯篭の傾斜、園路の破損等を修復するための整備を行った。

4　平成 29 年度月別観覧者内訳

年　月	開館日数	観覧人数（人）							
		一般					小　計①	中学生以下②	人数①＋②
		個人	個人減額	団体	観覧料後納	免除			
平成 29 年 4 月	26	531	80	115	52	16	794	330	1,124
5 月	26	417	31	178	82	302	1,010	287	1,297
6 月	26	291	29	47	70	53	490	29	519
7 月	25	226	21	27	13	22	309	204	513
8 月	26	288	24	20	49	48	429	85	514
9 月	25	262	11	139	77	82	571	19	590
10 月	25	244	11	78	58	343	734	17	751
11 月	26	317	41	75	255	2,746	3,434	127	3,561
12 月	24	202	5	26	0	534	767	21	788
平成 30 年 1 月	23	175	21	0	0	183	379	88	467
2 月	24	172	14	130	0	151	467	186	653
3 月	26	512	69	0	0	228	809	87	896
計	302	3,637	357	835	656	4,708	10,193	1,480	11,673

総合文化施設（あかがねミュージアム）の主な施策と実績

１　月別入館者数

	平成 28 年度	平成 29 年度
４月	18,475	15,770
５月	18,296	23,492
６月	12,474	31,969
７月	26,095	17,790
８月	27,199	26,556
９月	21,340	16,788
10 月	24,779	11,565
11 月	20,358	23,793
12 月	9,708	16,613
１月	17,846	16,080
２月	16,909	15,156
３月	13,913	16,516
計	227,392	232,088

東京富士美術コレクション
展覧会



講演会



２　平成 29 年度　美術館展覧会開催実績

展覧会名	会期	入場者数（人）
第 50 回 にいはま春の市民文化祭 美術の部	4 月 8 日（土）～4 月 16 日（日）	3,388
新居浜市市制施行 80 周年記念事業 東京富士美術館コレクション －美の東西―	4 月 29 日（土）～6 月 25 日（日）	24,981
新居浜市市制施行 80 周年記念事業 風とあそぶ　榎木孝明水彩画展	4 月 29 日（土）～6 月 25 日（日）	24,072
新居浜市市制施行 80 周年記念事業 新居浜が生んだジブリの動画家　近藤勝也展	7 月 8 日（土）～9 月 10 日（日）	16,927
新居浜市市制施行 80 周年記念事業 文化庁新進芸術家海外研修制度 50 周年記念展 －美術部門―「洋画」「日本画」「版画」	9 月 20 日（水）～10 月 29 日（日）	1,577
第 67 回 新居浜市美術展覧会	11 月 3 日（金）～11 月 12 日（日）	3,513
第 66 回 愛媛県展新居浜移動展	11 月 15 日（水）～11 月 26 日（日）	4,218
新居浜市市制施行 80 周年記念事業 新居浜美術の新時代と住友 小磯良平・オリゾン洋画研究所再考	12 月 9 日（土）～1 月 21 日（日）	5,087
東予地区高校美術展	1 月 27 日（土）～2 月 12 日（月）	7,765
新居浜の美術　昨日・今日・明日 Ⅴ 残響－オリゾンを越えて	2 月 10 日（土）～3 月 18 日（日）	2,528
第 37 回 新居浜こども美術展	2 月 15 日（木）～2 月 25 日（日）	8,000
あかがね教室シリーズ 成果発表会	3 月 6 日（火）～3 月 18 日（日）	778

3　平成 29 年度の主なイベント

（１）　太鼓台展示

３月 27 日（日）～６月　３日（土）　松の木太鼓台
６月　４日（日）～８月 12 日（土）　庄内太鼓台
８月 13 日（日）～10 月　８日（土）　長野太鼓台
10 月 19 日（木）～１月 14 日（日）　萩生西太鼓台
２月　４日（日）～５月 19 日（土）　本町太鼓台

近藤勝也氏によるワークショップ
「アニメーションを書いてみよう！」



（２）展覧会関連イベント

４月 28 日(金)～６月 11 日(日)	東京富士美術館コレクション―美の東西―	開会式 記念講演会「東西の美が出会うとき－東京富士美術コレクションの魅力」 学芸員によるギャラリートーク
５月３日(水)	風とあそぶ 榎木孝明 水彩画展	ミニトークショー＆サイン会
７月７日(金)～８月 27 日(日)	新居浜が生んだジブリの動画家　近藤勝也展	開会式 オープニング・スペシャル対談 ミュージアムコンサート「スタジオジブリを聞こう！」 スペシャルワークショップ「アニメーションを描いてみよう！」 作品上映会（コクリコ坂から・海がきこえる・崖の上のポニョ・魔女の宅急便）
９月　23　日(土祝)～10 月 28 日(土)	文化庁新進芸術家海外研修制度 50 周年記念展	出品作家によるギャラリートーク
12 月９日(土)～１月 21 日（日）	新居浜美術の新時代と住友－小磯良平・オリゾン洋画研究所再考	記念講演会「小磯良平の画業と西洋」 学芸員によるギャラリートーク
２月 25 日(日)～３月 18 日(日)	新居浜の美術　昨日・今日・明日　Ⅴ	学芸員によるギャラリートーク

（３）ホールイベント

期日	事業名	人数（人）
４月２日(日)	鈴木大ソロコンサート「VICTORIA と共に」	155
12 月 23 日(土・祝)・24 日(日)	青年団第 77 回公演　子ども参加型演劇「サンタクロース会議」	334（２回公演）
２月 10 日(土)・11 日(日)	虚構の劇団「もうひとつの地球の歩き方」	495（３回公演）

4　教育普及事業、ワークショップ

９月 15 日(金)～17 日(土) ２月 12 日(月・祝)～３月 11 日(日)	文化庁支度事業　平成 29 年度戦略的芸術文化創造推進事業「文化庁芸術アソシエイツ」戦略的育成プロジェクト
４月～３月	はじめての教室シリーズ　４教室
４月～３月	ぼくたちわたしたちの壁プロジェクト　他 16 件
４月～３月	アート工房　15 団体展示

5　新居浜市美術品購入基金

平成 30 年３月 31 日現在の残高　112,539,995 円（美術品 66,600,000 円　　現金 45,939,995 円）

図書館の主な施策と実績

1　図書館の利用状況

（1）貸出図書　　（29．4．1～30．3．31）

開館日数 294 日

ア　本　館　　（単位：冊）

分類／区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出点数	6,650	10,726	26,886	21,709	34,567	46,031	10,518	42,906	3,958	190,152	6,346	113,810	292	33,175	547,726

イ　移動図書館　　（単位：冊）

分類／区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出点数	839	944	1,845	894	3,103	4,018	573	7,479	252	14,728	644	11,393	4	229	46,945

ウ　角野分館　　（単位：冊）

分類／区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出点数	550	1,054	2,694	1,549	3,743	4,090	575	4,783	447	20,536	554	12,803	25	2,668	56,071

エ　合　計　　（単位：冊）

分類／区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出点数	8,039	12,724	31,425	24,152	41,413	54,139	11,666	55,168	4,657	225,416	7,544	138,006	321	36,072	650,742

オ　ＡＶ資料

	館　内	館　外	計
Ｃ　Ｔ（本）（カセットテープ）		16	16
Ｖ　Ｔ（本）（ビデオテープ）	82	142	224
Ｃ　Ｄ（枚）		12,625	12,625
ＤＶＤ（枚）	1,461	17,642	19,103
計	1,543	30,425	31,968

（2）登録者数　　（単位：人）

区　分	児　童（小学生以下）	一　般（中学生以上）	団　体	計
登　録　者	9,557	52,122	250	61,929

（3）団体貸出

市内の幼稚園、学校、福祉施設、読書会等に貸出をしている。

貸出冊数 100 冊以内、貸出期間は４週間。

平成 29 年度貸出冊数　21,498 冊

（４）心身障害者に対する図書退出

市内に在住する心身障害者（身体障害者の場合は１級～３級の手帳を有する者）が、貸出希望を申し出た場合、郵送による貸出及び連絡車による配送を実施している。（郵送に要する費用は図書館が負担している。）

貸出冊数５冊以内、貸出期間は 30 日間。

（５）開架図書冊数　（30．３．31 現在）

（単位：冊）

区分／館別	一　般	児　童	計
本　館	113,869	36,621	150,490
移動図書館	3,605	6,644	10,249
角野分館	9,043	9,395	18,438
計	126,517	52,660	179,177

（６）　リクエスト　（28．４．１～29．３．31）

（単位：件）

区分／館別	窓　口	館内ＯＰＡＣ	ＷｅｂＯＰＡＣ	携帯ＯＰＡＣ	リクエスト	合　計
本　館	2,882	2,529	20,088	67	1,635	27,201
移動図書館	517					517
角野分館	1,023	255			70	1,348
計	4,422	2,784	20,088	67	1,705	29,066

（７）相互貸借

予約された資料などが自館で手に入らない場合、他館から借用することがある。

（国立国会図書館総合目録ネットワークに参加）

（29．４．１～30．３．31）

（単位：件）

借　受		貸　出	
県内図書館	県外図書館	県内図書館	県外図書館
269	61	186	28

２　主な事業

（１）ふるさと学習及び生涯学習活動の支援、推進と機会の提供

市民の自主的、自発的な学習活動を支援するため、資料・情報提供の推進及び学習機会・場所の提供に努める。図書館企画事業の工夫と蔵書リストの作成配布。展示コーナーの充実。ホール・会議室等における文化集会事業の利用促進。

・「コミュニケーションボード」設置

図書館のバリアフリー化推進のために、コミュニケーションボードを設置。

・「子ども読書通帳マラソン」

平成 29 年４月 23 日から８月 20 日まで子ども読書通帳マラソンを実施し、上位者を表彰。期間中参加者 115 名のうち各部門上位３名計 15 名表彰。最高冊数は 645 冊（幼児部門）平成 29 年８月 26 日（土）表彰式

・図書館まつり

平成 29 年 11 月 26 日（日）9:00～17:00

日頃、図書館を支えてくれる市民の皆さんに感謝し、楽しんでもらうため開催

「ブックリサイクル」　9:00～

図書館での役割を終えた本や雑誌、市民からの寄贈本（重複及び図書館において資料的価値のないもの）約 6700 冊を市民に無償で提供した。参加者（来場者約 500 人）　「図書館見学」　13:00～13:30

図書館の概要、書庫、郷土資料室等施設の見学。（参加者７名）

「時代小説作家　井川香四郎講演会」14:00～16:00

新居浜出身の時代小説家井川香四郎先生が「『別子太平記』とこれからの時代小説」というテーマで創作秘話などを語ってくださった。（参加者 77 名）

・「図書館（ライブラリー）＆来（らい）ぶらり」

郷土の歴史をたどりながら散策することで、歴史を学びさらには郷土への誇りと愛着を深めることを目的に開催　新居浜駅から別子銅山記念図書館までの史跡めぐり

平成 29 年７月 23 日（日）9:00～12：00（参加者６名）

・定例おはなし会

本館　　毎月第１木曜日（乳幼児０～３歳対象・毎月第２・４水曜日（幼児対象）・毎月第３土曜日（小学生対象）

角野分館　毎月第１・３水曜日（幼児対象）

「紙芝居 、絵本の読みきかせ、パネルシアター、エプロンシアター、ストーリーテリング」等を行う。

協力（ボランテイア）回転木馬､民話の里すみの

（参加者　子ども 1,196 名、 大人 690 名）

・文部科学省委託事業「読書との出会い提供事業」実施

文部科学省の平成 29 年度「地域の教育資源を活用した教育格差解消プラン」として各種の行事を実施。

「おはなし屋えっちゃんのおはなし会」（参加者 150 名）

「人形げきやおたこぐみの人形劇公演」（参加者 134 名）

「子ども食堂等でのおはなし会」計５回実施

ブックリスト『本のたからばこ』発行配布

（２）地域資料の保存と情報発信

郷土の歴史や文化を次世代に継承するために、郷土・行政資料を積極的に収集・保存し、郷土出身者や郷土の産業遺産等についての情報発信を行う。

・愛媛新聞公開データベースの閲覧

・別子銅山コーナー・住友関連コーナー等の充実

・別子銅山に関する本の解説講座「別子銅山を読む」

あかがねの町新居浜市を紐解く別子銅山に関する本の解説講座。

第１回「別子鉱山史の留意点」平成 29 年４月 16 日（日）（参加者大人 45 名）

第２回「鼓銅図録」平成 29 年６月 25 日（日）　（参加者大人 45 名）

第３回「別子銅山の写真を読む」平成 29 年８月６日（日）（参加者大人 57 名）

第４回「とっておきの新居浜検定」平成 29 年 10 月 29 日（日）（参加者大人 26 名）

第５回「地名考」平成 29 年 12 月 10 日（土）（参加者大人 48 名）

（３）関係機関との連携による地域の情報拠点化の推進

市民の読書活動の推進及び地域課題の解決を支援するため、公共図書館相互の連携のみならず、他の関係機関との資料や情報の相互利用等の協力活動の積極的な実施に努める。

本市子育て支援施策との連携、健康支援、ビジネス支援、就業支援、行政支援の実施、地域等関連情報

等の提供と調査を行う。

・ブックスタート事業

毎月第１火・水曜日、保健センターの５か月児健康相談（対象 935 名）において司書が説明の言葉を添えて絵本等の入ったブックスタートパックを手渡す。（920 名　配布率 98.3％）

・健康医療情報講演会

「日常生活における女性の健康管理」愛媛労災病院院長　宮内文久先生

平成 29 年６月 10 日（土）10：30～12：00（参加者 61 名）

・健康講座

市民の多様な健康情報へのニーズにこたえるため、医療機関と連携して健康講座を行い、所蔵する健康関係の図書リストを作成し、配布。（健康支援図書コーナーを設置）

「糖尿病と眼の病気」平成 29 年６月 21 日（水）

・伊予銀行タイアップセミナー

「あなたにも今すぐできる詐欺対策」平成 29 年７月６日（木）新居浜警察署協力　（参加者大人 25 名）

児童対象講座「図書館で学ぼう！お金のこと」平成 29 年８月 25 日（金）（参加者子ども 30 名）

「図書館で学ぼう！体験しよう！お手玉あそび」日本お手玉の会協力平成 29 年 11 月 11 日（土）

（参加者大人 27 名、子ども 31 名）

・ロビー展

「昭和レトロ展」「ピンクシャツデーを日本に広めよう」「日和佐初太郎が見た昭和 28 年の四国国体」等計 22 回

・出前講座

放課後児童クラブ、保育園、高齢者福祉施設等へ出かけ「お話会」等を行い、本やお話を親しんでもらい、図書館のＰＲも行う。 計 18 回　（参加者子ども 644 名、大人 137 名）

・図書館ネットワーク

・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスのよる資料提供

・愛媛県立図書館図書の遠隔地返却サービス協力

（４）学校図書館との連携

子どもの読書活動・学習活動を推進していくため、学校や学校図書館との連携を行う。

・団体貸出、図書館見学・職場体験の受入、図書購入時や調べ学習の図書リストの作成・情報提供、リサイクル図書等の活用

（５）図書館 PR 活動の充実

図書館の活動を市民によく知ってもらい、図書館の利用促進につなげるため、PR 活動の改善を図る。

・夏休みは図書館へいこう！

第１弾「夏休み子ども探検隊＆オリジナル万華鏡を作ろう」平成 29 年７月 28 日（金）

図書館子ども探検隊 9:30～10:00　万華鏡を作ろう　10:00～12:00

書庫等の見学、本が書架にならぶまでのしくみや便利な図書館サービスの紹介。

県総合科学博物館の学芸員の先生に万華鏡の実験や工作を教えてもらった。

（参加者小学生親子 30 組）

第２弾「夏休み体験！子ども一日図書館員」読書感想文にちょうせん！

１回目　平成 29 年７月 27 日（木）13:00～15:00

付箋メモを使って組み立てを考える

２回目　平成 29 年８月 10 日（木）13：00～15：00

付箋メモからワークシートへ、下書きへのアドバイス
（参加者小学生 16 名）

第３弾「夏の夜のちょっと怖いお話会と夜の図書館探検」平成 29 年８月４日（金）
子どもと大人対象の怖いお話と語り。19:15～20:00
（参加者子ども 44 名、大人 31 名）
夜の図書館探検 20:00～20:30　　（参加者子ども 30 名）

・館長の我楽多講座
当館館長によるサブカルチャー講座
第１回「封印されたブラックジャック」平成 30 年１月 14 日（日）（参加者 22 名）
第２回「全米ヒットチャートの歴史　そのゼロ」平成 30 年３月 11 日（日）
（参加者 12 名）

・講談社ブックキャラバン全国訪問おはなし隊　平成 30 年２月４日（日）
講談社のキャラバンカーの見学とお話会
（参加者子ども 40 名大人 40 名）

（６）移動図書館の利用促進
学校の昼休み乗り入れや、高齢者福祉施設、病院、幼稚園等へのステーション設置により、利用促進を図る。市内 33 ステーションを運行（うち小学校 13 校、中学校２校)。

（７）資料の収集、除籍の計画的な実施
図書館資料の収集、除籍を迅速・計画的に行い、資料の有効活用を図る。

・雑誌スポンサー制度の実施　平成 24 年７月１日より開始
「雑誌スポンサー制度」とは、雑誌そのものを寄贈してもらうのではなく、雑誌の購入代金を負担してもらう制度。雑誌は、図書館の中でも回転率の高い資料で、多くの人が毎日利用しているので、高い広告価値がある。(雑誌 205 タイトル中 24 タイトル)

・寄贈図書「生物多様性の本箱」受入
日本自然保護協会より、環境教育図書「生物多様性の本箱」全 105 冊を寄贈される。
寄贈式は平成 29 年 11 月 16 日当館にて実施。
寄贈された自然環境に関する児童図書は多くの利用者に利用されている。

夏休み子ども探検隊＆万華鏡づくり



図書館まつり（井川香四郎講演会）



新 居 浜 市 の 教 育

平成３０年度版

平成３０年７月発行

編集
発行　新 居 浜 市 教 育 委 員 会

〒792-8585
新居浜市一宮町一丁目５番１号
ＴＥＬ（０８９７）６５－１３００
ＦＡＸ（０８９７）６５－１３０６